

地域におけるMSMの HIV感染・薬物使用予防策と 支援策の研究

令和5年度 総括・分担研究報告書

令和6(2024)年3月31日

研究代表者：樽井 正義 生島 嗣



地域におけるMSMの HIV感染・薬物使用予防策と 支援策の研究 (21HB1004)

令和5年度 総括・分担研究報告書

令和6(2024)年3月31日

研究代表者：樽井 正義 生島 嗣

もくじ

令和5年度 総括研究報告書	1
研究代表者：樽井 正義 生島 嗣	
(1)MSMを対象としたメンタルヘルスと性行動に関するWEB調査	5
研究分担者：生島 嗣	
(2)ゲイコミュニティにおける性行動および 予防啓発に関する動向の把握と効果評価	13
研究分担者：塩野 徳史	
(3)MSMを対象とした健康のための コミュニケーション支援ツールの開発と評価	61
研究分担者：野坂 祐子	
(4)薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための 精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討	65
研究分担者：大木 幸子	
(5)HIV陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討	73
研究分担者：樽井 正義 (資料)知っていただきたい感染症があります。	
研究成果の刊行に関する一覧表	79

厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)
地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究
(21HB1004)

令和5年度 総括研究報告書

研究代表者：樽井 正義 (特定非営利活動法人ふれいす東京 理事)
令和6(2024)年3月31日

■ 研究代表者：樽井 正義 (特定非営利活動法人ふれいす東京 理事)

生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京 代表)

■ 研究分担者：大木 幸子 (杏林大学保健学部 教授)

野坂 祐子 (大阪大学大学院人間科学研究科 教授)

塩野 徳史 (大阪青山大学健康科学部 教授)

研究要旨

3か年計画の3年目にあたる本年は、MSMのHIV感染・薬物使用の予防策と支援策の具体化を目的に、以下の調査研究を実施した。

「MSMを対象としたメンタルヘルスと性行動に関するWeb調査」では、自己回答式インターネット調査「第2回LASH調査」の回答から、小児期逆境体験と現在の性行動の関連など解析した。結果、小児期逆境体験がHIV感染リスクの高い性行動、過去6ヶ月間の物質使用、薬物依存の重症度に関連している傾向が示された。

「ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する動向の把握と効果評価」では、対面とWebでコミュニティセンターにつながっている人を分けてインターネット調査を実施した。その結果、それぞれの層では経済状況や健康状態のほか、啓発の浸透度が異なっている可能性が明らかになった。

「MSMを対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価」では、MSMのHIV感染と薬物使用の予防を目的に開発したセルフスタディ用の支援ツールを用いた3タイプの研修を実施した。MSMなどの多様な当事者、支援者それぞれから有用性が挙げられた。

「薬物使用の問題を抱えるHIV陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討」では、精神保健福祉センターの薬物相談担当者に対して、利用者を支援する姿勢や方法等について、また同センターにおいて相談と回復プログラムを利用した経験をもつHIV陽性のMSMに対して、利用動機と継続の理由等について、インタビューを行った。これを分析し、利用者が要請することと支援者が配慮することとの関連を抽出した。またセンターとHIV診療機関、陽性者支援組織、保健所の相談担当者による事例検討会を実施した。

「HIV陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討」では、薬物使用の予防および使用に関連する感染症予防のために求められる情報を整理し、保護観察対象者ら、必要としている集団へ提供した。

以上の調査研究からMSMの多様な背景が示唆され、感染予防と薬物使用予防の啓発活動において、継続して取り組むべき課題が明らかにされた。

A 研究目的

(1) MSM を対象としたメンタルヘルスと性行動に関する Web 調査(生島嗣)

2016 年実施の「第 1 回 LASH 調査」を拡充して「第 2 回 LASH 調査」を行い、日本の MSM の小児期逆境体験と現在の性行動の関連、薬物依存の重症度に影響を与える因子を探索することを研究目的とした。

(2) ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する動向の把握と効果評価(塩野徳史)

2020 年から続く新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、対面でコミュニティセンターを利用する人と Web でコミュニティセンターの活動につながる人の両方の実態を捉えることを目的とした質問紙調査を実施することとした。

(3) MSM を対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価(野坂祐子)

MSM の HIV 感染や薬物使用の予防には、リスク行動を避け、安全で健康な関係性を作るコミュニケーションスキルの向上が求められる。とりわけトラウマや逆境体験の影響で感情表出や安定した対人関係の構築が苦手な傾向のある若年 MSM を考慮し、セルフスタディ用の支援ツールを開発し、評価を行うこととした。

(4) 薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討(大木幸子)

薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援にあたって、HIV 診療機関や陽性者支援組織と精神保健福祉センターとの連携方策を明らかにし、ネットワークモデルを提示することを目的とした。

(5) HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討(樽井正義)

薬物使用に関わる生活上、医療上の問題を明らかにし、薬物使用者の感染症予防に必要とされる情報の整理・提供に資することを目的とした。

B 研究方法

(1) 2022 年 11 月～2023 年 1 月に実施した自己回答式インターネット調査「第 2 回 LASH 調査」に寄せられた 6,071 人の回答のうち、対象質問の全問回答者の回答を解析した。

(2) コミュニティセンターにおける HIV 感染予防啓発活動予防意識・行動(コンドーム使用、PrEP、U=U、検査行動等)に加え、経済的困難さやメンタルヘルスに関わる設問を含めた質問紙を作成し、全国にある計 7 のセンターを基点にインターネット調査を実施した。調査期間は 2023 年 12 月～2024 年 1 月の 1 ヶ月半とした。

(3) 1～2 年目に作成した自己学習ツール・動画教材をもとに、MSM などを対象としたオンライン講座(各 90 分 4 回)、および支援者を対象にした研修会(各 150 分 2 回)を実施した。プログラム中の発話とアンケート結果から、現場のニーズと課題を把握した。

(4) 精神保健福祉センターの薬物相談担当者(5 名)に対して、利用者を支援する姿勢や方法等について、また同センターにおいて相談と回復プログラムを利用した経験をもつ HIV 陽性の MSM (4 名)に対して、利用動機と継続の理由等について、インタビューを行った。これを分析し、利用者が要請することと支援者が配慮することとの関連を指摘した。またセンターと HIV 診療機関、陽性者支援組織、保健所の相談担当者による事例検討会を実施し、これらの連携の方策を検討した。

(5) HIV 陽性者と薬物使用者に関する先行研究の調査と、薬物使用の経験を持つ HIV 陽性の MSM、使用者と陽性者の支援者への面接調査を行い、これを踏まえて、薬物使用の予防および使用に関連する感染予防のために求められる情報を整理し、それを必要としている集団への提供方法を策定した。

(倫理面への配慮)

各研究分担者が所属する機関の倫理委員会に審査を申請した。質問紙調査は無記名であり、回答をもって参加への同意とみなした。面接調査に際しては、説明の上同意書を取得し、個人情報保護を徹底した。

C 研究結果

(1) 解析対象者 4,364 人のうち、小児期逆境体験 (ACEs) の得点が 4 点以上の回答者の割合は 14.5% (634/4364) で、HIV ステータス別で比較すると有意な差が見られた。ACEs 得点と物質使用との関連を多変量ロジスティック回帰で分析したところ、「過去 6 ヶ月間の薬物使用経験あり」(aOR : 1.79、95% 信頼区間 : 1.22-2.62)、「過去 6 ヶ月間の市販薬・処方薬の乱用あり」(aOR : 2.06、95% 信頼区間 : 1.68-2.53)、「DAST-20 が 6 点以上」(aOR : 3.20、95% 信頼区間 : 1.68-6.11) が ACEs 得点と関連している傾向が見られた。薬物依存の重症度を測る DAST-20 に影響を与える因子としては、年齢(aOR : 0.96、95% 信頼区間 : 0.93-0.99)、教育レベル(aOR : 0.38、95% 信頼区間 : 0.20-0.73)、過去 6 ヶ月間のセックスの相手の人数(aOR : 0.41、95% 信頼区間 : 0.20-0.81)、HIV ステータス(aOR : 5.18、95% 信頼区間 : 2.52-10.64)、PrEP 使用経験(aOR : 2.82、95% 信頼区間 : 1.15-6.92)、過去 6 ヶ月間の薬物使用経験(aOR : 6.07、95% 信頼区間 : 3.10-11.88) がそれぞれ有意に関連していた。

(2) 回収された 1,701 件のデータのうち、重複回答および 18 歳未満であった 105 人の回答を除き 1,596 人を有効回答(93.9%)とし、分析対象とした。過去 1 年間のうちに「普段の生活において経済的なことや生活で困ること」が 6 回以上あった割合が、対面でコミュニティセンターにつながっている人は 14.8%、Web でつながっている人は 6.9% であり、「医療費の支払いに不安を感じたこと」が 6 回以上あった割合は対面 7.0%、Web 1.9% であった。メンタルヘルスに関しては、過去 1 年間に精神科や心療内科を受診したと回答した人の割合は対面で 34.7%、Web で 17.8% であった。

男性とのアナルセックスにおいてコンドームを使わない(あるいは使えない)理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「相手次第で、どちらでもよい」(23.1%)、「コンドームをつけない方が気持ちよいから」(16.0%)、「コンドームを使うのがめんどろうだと思うから」(11.3%) であったが、対面と Web で異なり、対面では「コンドームをつけない方が気持ちよいから」(22.6%)、「コンドームを使うのがめんどろうだ

と思うから」(14.2%)、「コンドームをつけない方が一体感があるから」(11.0%) であり、Web では「相手次第で、どちらでもよい」(27.7%)、「コンドームをつけない方が気持ちよいから」(14.1%)、「コンドームをつけない方が一体感があるから」(10.5%)、「相手につけてって言えないから」(10.4%) であった。

(3) 教材の利用者からは、自分の感情と表出の傾向を自覚して、アサーティブなコミュニケーションについて理解する機会が得られたとの感想が聞かれた。教材の個人での視聴より、講座等のグループで話し合う資料としての活用可能性が示唆された。支援者を対象とした研修でも満足度が高く、動画教材は MSM のみならず支援者の自己学習へも活用できる可能性が示された。

(4) 薬物使用者の相談利用の動機で肝心な「通報されない安心感」は、相談担当者の支援の姿勢でも重視されており、また個別の伴走支援とグループによる回復プログラムの両方が、利用者にも担当者にも評価されていた。

(5) 薬物使用と感染症(HIV、HBV、HCV)に関する基本的情報をまとめたパンフレットを作成し、裏面に薬物使用と感染症の相談窓口と情報サイトを掲載した。これを、「声の架け橋プロジェクト(Voice Bridges Project)」の協力を得て転帰調査への参加案内とともに、保護観察対象者に配布した。

D 考察

HIV 陽性の MSM は、そうでない集団(HIV 陰性 / 不明)と比べて小児期逆境体験が多い傾向が見られた。また、小児期逆境体験はセックス相手の数やセックスワークの経験と有意に関連しており、薬物使用の傾向も高める可能性が本調査から示唆された。小児期逆境体験を多く持つ MSM が HIV 感染リスクの高い行動を取る背景や、その保護要因についてさらなる研究が求められる。

コミュニティセンターの啓発は感染リスクの高い層にリーチしており、検査に関してはコロナ禍であってもその効果が示されたと言えるが、コンドームや PrEP に関しては十分な効果があるとは言えない。コミュニティセンターの啓発はコロナ禍の影響に対応してきたが、対面と Web でコミュニティセンターにつ

ながっている人では、啓発の浸透度や経済状況、メンタルヘルスの状況は異なっている可能性があり、啓発対象や手法に応じて複数のパターンで啓発を継続していくことが必要であるといえる。

MSM の感染と薬物使用の予防に必要なコミュニケーションスキルの向上、精神保健福祉センター等における HIV 陽性者支援の促進、薬物使用者への感染予防・支援情報の提供の実践的方策も継続した取り組みが求められていると考えられた。

E 結論

3 か年に渡り、MSM の HIV 感染と薬物使用に関わる現状の調査と予防策の具体化が試みられた。トラウマインフォームドケアやハームリダクションのアプローチなど、感染予防と薬物使用予防の啓発活動において、コミュニティセンター等を始めとする MSM コミュニティに近い支援者と、精神保健福祉センター等の援助機関それぞれにおいて取り組むべき課題が明らかにされた。

今後も HIV と薬物使用のある MSM への支援のために、MSM がもつ背景や行動の特徴を踏まえ、多様なニーズに即した啓発や支援の提供を行う必要がある。

F 健康危険情報

なし

G 研究発表

1. 論文発表

- 1) 生島嗣. HIV/AIDS の予防とケアに係る NGO のあり方. 別冊・医学のあゆみ. 147-152, 2024.
- 2) 塩野徳史. コロナ禍を経た MSM・ゲイコミュニティにおける HIV 感染症の予防—その影響と有効な対策—. 保健医療科学. 72(2): 110-118, 2023.
- 3) Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Oshima, G., Wakabayashi, C., Nosaka, S., Hayashi, K., Ikushima, Y., and Tarui, M. Associations between drug use and sexual risk behaviours among men who have sex

with men in Japan: Results from the cross-sectional LASH Study. International Journal of Environmental Research and Public Health, 20(13): 6275, 2023.

4) Hayashi, K., Wakabayashi, C., Ikushima, Y., and Tarui, M. Characterizing changes in drug use behaviour following supply shortages of 5-MeO-DIPT, alkyl nitrites and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan. International Journal of Drug Policy. August 2023. <https://doi.org/10.1016/j.drugpo.2023.104080>

2. 学会発表

- 1) 三輪岳史, 生島嗣, 山口正純, 大槻知子, 若林チヒロ, 野坂祐子, 樽井正義. 逆境的小児期体験と性行動と物質使用の関連性—第 2 回 LASH 調査の結果から—. 日本エイズ学会, 2023 年.
- 2) 山口正純, 三輪岳史, 大槻知子, 若林チヒロ, 野坂祐子, 生島嗣, 樽井正義. 薬物を使用する MSM における薬物依存重症度スコア(DAST-20)と、性行動、HIV ステータス、PrEP 使用経験との関連について—MSM を対象とした全国 Web 調査(第 2 回 LASH 調査)から—. 日本エイズ学会, 2023 年.
- 3) 生島嗣, 三輪岳史, 山口正純, 大槻知子, 樽井正義. MSM を対象にした LASH 調査から HIV 陽性者の性行動と人的なネットワークについての考察. 日本エイズ学会, 2023 年.

H 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(1) MSMを対象としたメンタルヘルスと性行動に関するWEB調査

- 研究分担者：生島 嗣(特定非営利活動法人ぶれいす東京)
■ 研究協力者：三輪 岳史(特定非営利活動法人ぶれいす東京)
山口 正純(博慈会長寿リハビリセンター病院)
大槻 知子(特定非営利活動法人ぶれいす東京)
野坂 祐子(大阪大学大学院人間科学研究科)
坂東 希(大阪大学大学院人間科学研究科)
若林 チヒロ(埼玉県立大学健康開発学科)

研究要旨

薬物使用に影響を与え得る因子として小児期逆境体験(ACEs)が知られているが、日本のMSM(男性とセックスを行う男性/Men who have Sex with Men)におけるデータは限られている。また、MSMは全体像として薬物に必ずしも強く依存していない可能性が示唆されている。そのため、薬物依存の重症度と関連する要因を特定することも、当集団の健康を守る効果的な対策を検討する上で重要と考えられる。そこで本研究では、日本のMSMのACEsと現在の性行動の関連を調べ、薬物依存の重症度に影響を与える因子を探索した。MSMのメンタルヘルスや性行動に関する自己回答式アンケート調査「第2回 LASH (Love Life and Sexual Health)」の結果から得られたデータを分析した。解析対象者4,364人の内、ACEsの得点が4点以上の回答者の割合は14.5%(634/4364)で、HIVステータス別で比較すると有意な差が見られた。ACEs得点と物質使用との関連を多変量ロジスティック回帰で分析したところ、「過去6か月間の薬物使用経験あり」(aOR:1.79、95%信頼区間:1.22-2.62)、「過去6か月間の市販薬・処方薬の乱用あり」(aOR:2.06、95%信頼区間:1.68-2.53)、「DAST-20が6点以上」(aOR:3.20、95%信頼区間:1.68-6.11)がACEs得点と関連している傾向が見られた。薬物依存の重症度を測るDAST-20に影響を与える因子としては、年齢(aOR:0.96、95%信頼区間:0.93-0.99)、教育レベル(aOR:0.38、95%信頼区間:0.20-0.73)、過去6か月間のセックス相手の数(aOR:0.41、95%信頼区間:0.20-0.81)、HIVステータス(aOR:5.18、95%信頼区間:2.52-10.64)、PrEP使用経験(aOR:2.82、95%信頼区間:1.15-6.92)、過去6か月間の薬物使用経験(aOR:6.07、95%信頼区間:3.10-11.88)がそれぞれ有意に関連していた。小児期逆境体験を多く持つMSMがHIV感染リスクの高い行動を取る背景や、その保護要因についてさらなる研究が求められる。また、薬物依存の重症度が高い傾向にあるHIV陽性者には、ハームリダクションを含めた包括的な介入支援が必要と考えられる。

A 研究目的

日本のMSM(男性とセックスを行う男性/Men who have Sex with Men)の間では、薬物使用が重要な関心事となっている。欧米諸国の研究では、

MSMは一般集団と比べて薬物使用の割合が高いことが示されている(Hunter et al. 2014; Heiligenberg et al. 2012)。2016年に実施された日本在住のMSMの薬物使用や性生活等に関する自己回答式インターネット調査(LASH: Love Life and Sexual

Health)でも、11.3%の回答者が過去6か月間に何らかの薬物を使用しており、彼らはそうでない回答者と比べてHIV感染リスクの高い性行動を取る傾向が示唆された(Miwa et al. 2023)。一方、薬物使用に影響を及ぼす因子として、小児期逆境体験(ACEs: Adverse Childhood Experiences)が過去の研究で報告されているが(Felitti et al. 1998, 板橋ら, 2020)、日本のMSMに関するデータは限られている。また、薬物を使用するMSMはそうでないMSMと比べてゲイの友人が多いことが示されていることから(Wei et al. 2012)、MSMはコミュニティ内の娯楽の一環として薬物を使用しており、必ずしも依存度が高くない可能性が示唆されている。そのため、薬物依存の重症度と関連する要因を特定することも、治療・支援が必要な集団を特定し、効果的な対策を検討する上で重要と考えられる。そこで本研究では、日本のMSMの小児期逆境体験と現在の性行動の関連を調べ、薬物依存の重症度に影響を与える因子を探索した。

B 研究方法

2022年11月21日～2023年1月5日に、MSMのメンタルヘルスや性行動に関する自己回答式アンケート調査「第2回LASH (Love Life and Sexual Health)」を実施した(詳細は昨年度研究報告書参照)。データクリーニング後の6,071人のうち、対象質問の全問回答者を解析対象とした。小児期逆境体験と物質使用等との関連における解析対象者は4,364人であった。また、薬物依存の重症度に影響を与える因子の探索にあたっては、生涯薬物使用経験があり、かつ該当質問に全問回答している747名を対象に分析を行った。

独立変数である小児期逆境体験のデータを収集するにあたっては、ACEs Awareのホームページで公表されている、10項目の日本語版質問票(State of California Department of Health Care Services 2024)を活用した。本研究ではMSM特有の逆境体験として、「18歳までにホモ、オカマ、おとこ女など、自分のセクシュアリティやジェンダーに関連したいじめをうけたことがあるか」という質問を追加し、合計11項目の質問に対する「はい」の回答数を合

計してACEs得点を算出した(0-11点)。カットオフ値は先行研究を参考に「4点未満/4点以上」を採用した(Alhowaymel et al. 2023)。物質使用尺度としては、アルコール(問題飲酒)にはAUDIT-C(尾崎ら2012)、薬物依存の重症度にはDAST-20(Skinner 1982)の尺度を活用した。DAST-20の質問紙の中にある「配偶者」という表現は、MSMの背景を踏まえて「パートナー」へと変更した。

ACEs、性行動、物質使用との関連については多変量ロジスティック回帰分析を行った。薬物依存の重症度に影響を与える因子の探索にあたっては、DAST-20を従属変数とし、年齢と教育レベルを含めた性行動や物質使用に関わる説明変数候補を全て投入した。その後、変数減少法を用いてAIC(赤池の情報量規準)が最も小さいモデルを選択した。

C 研究結果

解析対象者4,364人の属性は昨年度の報告書に掲載されている単純集計結果と大きくは変わらず、年齢の中央値は37歳であった。18歳までの被いじめ経験については、セクシュアリティやジェンダーに関連した被いじめ経験が50.1%(2186/4364)、それ以外の被いじめ経験が48.4%(2113/4364)、両方あるいはいずれかの被いじめ経験が67.4%(2943/4364)であった。ACEsの各質問に対して「はい」と回答した人の割合は図1.1に示す。

ACEsの得点が4点以上の回答者の割合は14.5%(634/4364)でHIVステータス別で比較すると有意な差が見られた(図1.2参照)。

ACEs得点と過去6か月間の性行動との関連を図1.3に示す。年齢、教育レベル(大卒未満/大卒以上)、HIVステータスで調整した多変量ロジスティック回帰分析の結果、「セックスパートナーの数が6人以上」(調整オッズ比[aOR]:1.26、95%信頼区間:1.05-1.51)と「セックスワークの経験あり」(aOR:1.87、95%信頼区間:1.27-2.74)がACEs得点と関連している傾向が見られた(表1.1参照)。

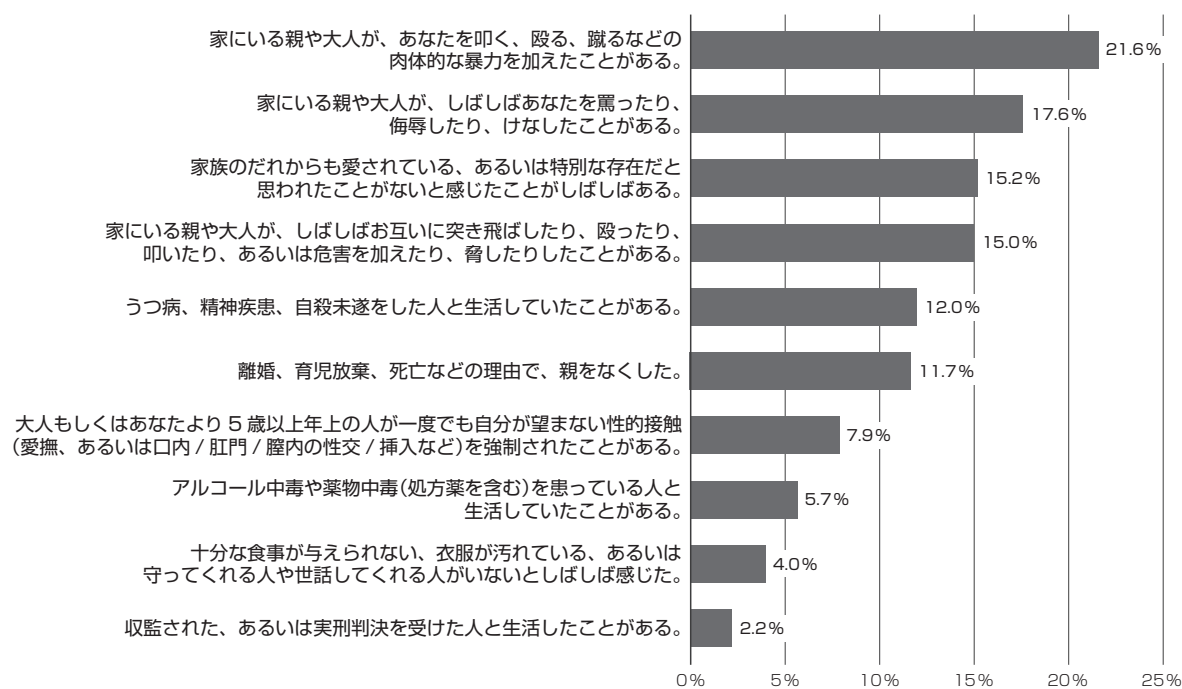


図 1.1 ACEs（小児期逆境体験）の各質問に「はい」と回答した人の割合（n=4,364）

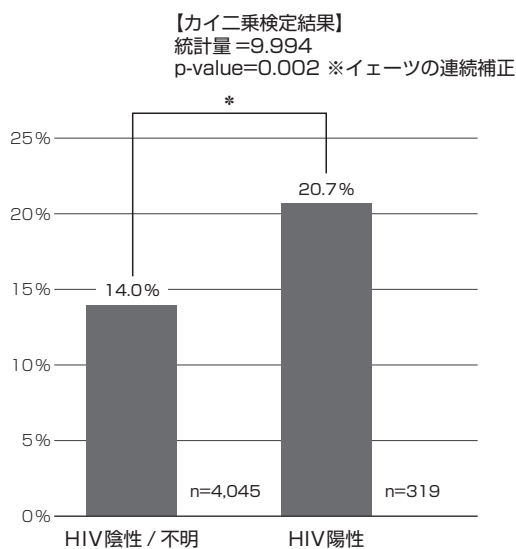


図 1.2 HIVステータス別の ACEs 得点 4 点以上の割合

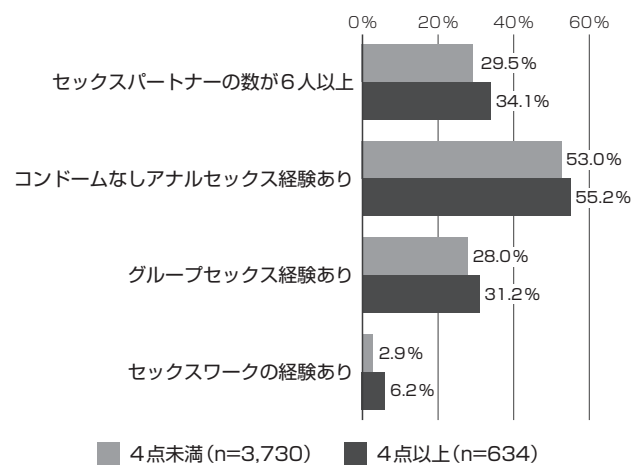


図 1.3 ACEsと性行動（過去6か月間）との関連

表 1.1 ACEsスコア（4点未満 / 4点以上）を独立変数としたロジスティック回帰分析結果（n=4,364）

従属変数		aOR	95% 信頼区間	p-value
セックスパートナーの数 (0: 6人未満, 1: 6人以上)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.26	1.05 - 1.51	0.014 *
コンドームなしアナルセックス経験 (0: なし, 1: あり)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.07	0.90 - 1.27	0.470
グループセックス経 (0: なし, 1: あり)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.17	0.97 - 1.41	0.101
セックスワークの経験 (0: なし, 1: あり)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.87	1.27 - 2.74	0.002 **

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

aOR は年齢、教育レベル(大卒未満 / 大卒以上)、HIV ステータスで調整

ACEs 得点と物質使用との関連を図 1.4 に示す。年齢、教育レベル(大卒未満 / 大卒以上)、HIV ステータスで調整した多変量ロジスティック回帰分析の結果、「過去 6 か月間の薬物使用経験あり」(aOR:1.79、95% 信頼区間:1.22-2.62)、「過去 6 か月間の市販薬・処方薬の乱用あり」(aOR:2.06、95% 信頼区間:1.68-2.53)、「DAST-20 が 6 点以上」(aOR:3.20、95% 信頼区間:1.68-6.11)が ACEs 得点と関連している傾向が見られた(表 1. 2 参照)。一方、AUDIT-C との関連は有意ではなかった。

DAST-20 に影響を与える因子としては、年齢(aOR:0.96、95% 信頼区間:0.93-0.99)、教育レベル(aOR:0.38、95% 信頼区間:0.20-0.73)、過去 6 か月間のセックス相手の数(aOR:0.41、95% 信頼区間:0.20-0.81)、HIV ステータス(aOR:5.18、95% 信頼区間:2.52-10.64)、PrEP 使用経験(aOR:

2.82、95% 信頼区間:1.15-6.92)、過去 6 か月間の薬物使用経験(aOR:6.07、95% 信頼区間:3.10-11.88)がそれぞれ有意に関連していた(表 1.3)。

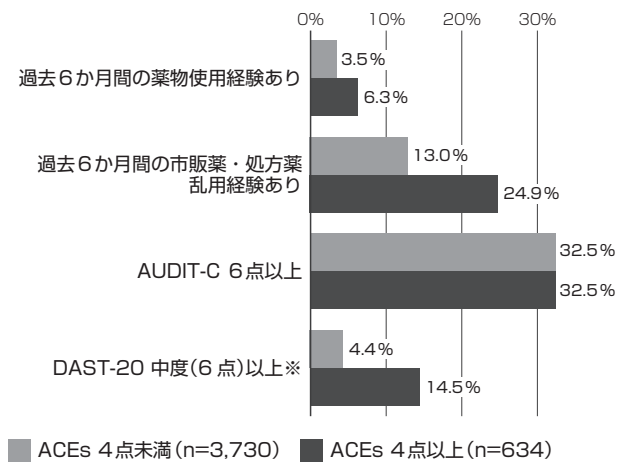


図 1.4 ACEs と物質使用との関連
(※ DAST-20 は生涯薬物使用経験がある回答者のみ
(4 点未満: n=590、4 点以上: n=138))

表 1.2 ACEs スコア(4 点未満 / 4 点以上)を独立変数としたロジスティック回帰分析結果(n=4,364)
(DAST-20 は生涯薬物使用経験がある回答者のみ(n=728))

従属変数		aOR	95%信頼区間	p-value
過去6か月間の薬物使用経験 (0:なし、1:あり)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.79	1.22 - 2.62	0.003 **
過去6か月間の市販薬・処方薬乱用 (0:なし、1:あり)	4点未満	Ref		
	4点以上	2.06	1.68 - 2.53	< 0.001 ***
AUDIT-C (0:6点未満、1:6点以上)	4点未満	Ref		
	4点以上	1.03	0.86 - 1.24	0.738
DAST-20 ※ (0:6点未満、1:6点以上)	4点未満	Ref		
	4点以上	3.20	1.68 - 6.11	< 0.001 ***

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

aOR は年齢、教育レベル(大卒未満 / 大卒以上)、HIV ステータスで調整

表 1.3 DAST-20 (6 点未満 / 6 点以上)を従属変数としたロジスティック回帰分析結果 (n=747)

独立変数			%	aOR	95%CI	p-value
年齢				0.96	0.93 - 0.99	0.024 *
教育レベル	大卒未満	29 / 313	9.3%	Ref		
	大卒以上	19 / 434	4.4%	0.38	0.20 - 0.73	0.004 **
セックス相手の数 (過去 6 か月)	6 人未満	30 / 428	7.0%	Ref		
	6 人以上	18 / 319	5.6%	0.41	0.20 - 0.81	0.011 *
HIV ステータス	HIV 陰性 / 不明	24 / 596	4.0%	Ref		
	HIV 陽性	24 / 151	15.9%	5.18	2.52 - 10.64	<0.001 ***
PrEP 使用経験	なし	38 / 615	6.2%	Ref		
	あり(過去 / 現在)	10 / 132	7.6%	2.82	1.15 - 6.92	0.023 *
薬物使用 (過去 6 か月)	なし	19 / 577	3.3%	Ref		
	あり	29 / 170	17.1%	6.07	3.10 - 11.88	<0.001 ***

*p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

D 考察

HIV 陽性の MSM は、そうでない集団(HIV 陰性 / 不明)と比べて小児期逆境体験が多い傾向が見られた。また、小児期逆境体験はセックス相手の数やセックスワークの経験と有意に関連しており、薬物使用の傾向も高める可能性が本調査から示唆された。小児期逆境体験を多く持つ MSM が HIV 感染リスクの高い行動を取る背景や、その保護要因についてさらなる研究が求められる。尚、小児期逆境体験はあらゆる物質使用との関連が報告されているが、本調査において問題飲酒の傾向との関連は認められなかった。これは、本調査の対象となった MSM は、一般集団と比較して問題飲酒者の割合が元々高いため、小児期逆境体験の影響が大きく表れなかったと推測される。小児期逆境体験に関わらず問題飲酒者の割合が MSM において高いことは依然として課題であり、効果的な介入の検討が求められるだろう。

また、本調査の MSM では、薬物依存の重度は「軽度」に該当する者が大多数を占めていた。これらの依存性が軽度な MSM による薬物使用の多くは、セックスなどの時にのみ薬物を使用するいわゆる機会的薬物使用が中心であると考えられる。よって、幻覚・妄想等の精神症状や、薬物使用に伴う問題も顕在化していない場合も多いと考えられる。こうした依存性が軽度な MSM に対しては、従来の司法モデルや治療モデルによる薬物乱用防止プログラムが適合しない場合も多く、プログラムを継続することへ動機付けが難しいと推測される。

MSM の場合はセクシュアリティに関するスティグマや小児期逆境体験など複雑な背景を有する薬物使用者も多い。また前年度の報告で掲載した通り、MSM の多くは精神科・心療内科で自身のセクシュアリティや性自認について医療従事者に開示できていないと推測される。そのため、まずは薬物使用について安心して話してもらうことのできる信頼関係を築くことが重要と考えられる。

E 結論

MSM のメンタルヘルスや性行動に関する自己回答式アンケート調査「第2回 LASH (Love Life and Sexual Health)」のデータを解析した結果、小児期逆境体験は HIV 感染リスクの高い性行動、過去6か月間の物質使用、薬物依存の重症度に関連している傾向が示された。小児期逆境体験を多く持つ MSM が薬物に依存する背景や、その保護要因についてさらなる研究が求められる。一方、薬物を使用する MSM の殆どが依存性が「軽度」であることを考えると、セックス時など、機会的薬物使用が中心であると考えられる。今後は性感染症予防やPrEPに関する情報提供等、ハームリダクション的なサービス提供体制の整備が取り組むべき喫緊の課題であると考えられる。

なお、本調査結果はインフォグラフィックスを用いた冊子にまとめ、当事者や関係機関等に配布した。

また、e-book へのリンクを記載した以下のカードも作成し、同様に配布した。



<参考文献>

1. 板橋登子, 小林桜児, 黒澤文貴, 福生泰久, 吉松尚彦, 西村康平, & 岩井一正. 2020. 小児期逆境体験が物質使用障害の重症度に及ぼす影響. 精神神経学雑誌. 第 122 巻 第 5 号. 357-369 頁.
2. 尾崎米厚. 2012. 問題飲酒の簡易スクリーニング方法の開発に関する研究 飲酒関連問題を発生させないような、節度ある適度な飲酒量の検討. 我が国における飲酒の実態把握およびアルコールに関する生活習慣病とその対策に関する総合的研究平成 24 年度総括研究報告書(研究代表者樋口進). 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業.
3. 嶋根卓也、今村顕史、池田和子、山本政弘、辻麻理子、長与由紀子、大久保猛、太田実男、神田博之、岡崎重人、大江昌夫、松本俊彦. 2015. DAST-20 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 50(6): 310-324.
4. Alhowaymel, F. M., Kalmakis, K. A., Chiodo, L. M., Kent, N. M., & Almuneef, M. (2023). Adverse Childhood Experiences and Chronic Diseases: Identifying a Cut-Point for ACE Scores. International journal of environmental research and public health, 20(2), 1651.
5. Felitti, V. J., Anda, R. F., Nordenberg, D., Williamson, D. F., Spitz, A. M., Edwards, V., & Marks, J. S. (1998). Relationship of childhood abuse and household dysfunction to many of the leading causes of death in adults: The Adverse Childhood Experiences (ACE) Study. American journal of preventive medicine, 14(4), 245-258.
6. Heiligenberg, M., Wermeling, P.R., van Rooijen, M.S., Urbanus, A.T., Speksnijder, A.G., Heijman, T., Prins, M., Coutinho, R.A. and van der Loeff, M.F.S. (2012). Recreational drug use during sex and sexually transmitted infections among clients of a city sexually transmitted infections clinic in Amsterdam, the Netherlands. Sexually transmitted diseases, 39(7), 518-527.
7. Hill AO, Bavinton BR, Armstrong G. (2018). Prevalence and factors associated with inconsistent condom use among men who have sex with men (MSM) who use mobile geo-social networking applications in Greater Tokyo. International journal of environmental research and public health, 15(12), 2815.
8. Hunter, L.J., Dargan, P.I., Benzie, A., White, J.A. and Wood, D.M., (2014). Recreational drug use in men who have sex with men (MSM) attending UK sexual health services is significantly higher than in non-MSM. Postgraduate medical journal, 90(1061), 133-138.
9. Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Oshima, G., Wakabayashi, C., Nosaka, S., Hayashi, K., Ikushima, Y., & Tarui, T. (2023). Associations between Drug Use and Sexual Risk Behaviours among Men Who Have Sex with Men in Japan: Results from the Cross-Sectional LASH Study. International journal of environmental research and public health, 20(13), 6275.
10. Skinner, H. A. (1982). The drug abuse screening test. Addictive behaviors, 7(4), 363-371.
11. State of California Department of Health Care Services. (2024). 逆境の小児期体験 質問票改訂版. <https://www.acesaware.org/wp-content/uploads/2020/06/ACE-Questionnaire-for-Adults-De-Identified-Japanese.pdf>
12. Wei, C.; Guadamuz, T.E.; Lim, S.H.; Huang, Y.; & Koe, S. (2012). Patterns and levels of illicit drug use among men who have sex with men in Asia. Drug and alcohol dependence, 120, 246-249.

F 研究発表

1. 論文・著書

- 1) Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Oshima, G., Wakabayashi, C., Nosaka, S.,

Hayashi, K., Ikushima, Y., and Tarui, M. (2023). Associations between drug use and sexual risk behaviours among men who have sex with men in Japan: Results from the cross-sectional LASH Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 20(13), 6275.

2) 生島嗣. HIV の新たな予防方法 PrEP の登場と様々な動き. 季刊セクシュアリティ. 107: 96-103, 2022.

2. 学会発表

1) 生島嗣、三輪岳史、山口正純、大槻知子、樽井正義. MSM を対象にした LASH 調査から HIV 陽性者の性行動と人的なネットワークについての考察. 日本エイズ学会、2023 年.

2) 山口正純、三輪岳史、大槻知子、若林チヒロ、野坂祐子、生島嗣、樽井正義. 薬物を使用する MSM における薬物依存重症度スコア(DAST-20)と、性行動、HIV ステータス、PrEP 使用経験との関連について—MSM を対象にした全国 Web 調査(第2回 LASH 調査)から. 日本エイズ学会、2023 年.

3) 三輪岳史、生島嗣、山口正純、大槻知子、若林チヒロ、野坂祐子、樽井正義. 逆境的小児期体験と性行動と物質使用の関連性—第2回 LASH 調査の結果から一. 日本エイズ学会、2023 年.

4) M. Yamaguchi, T. Miwa, T. Ohtsuki, C. Wakabayashi, S. Nosaka, Y. Ikushima, M. Tarui. Drug Abuse Severity Score (DAST-20) and Its Associations with Sexual Behavior, HIV Status, and PrEP Use Among MSM Who Use Drugs in Japan: Results from a Cross-Sectional Online MSM Survey (2nd LASH Study). 5th Asia-Pacific Chemsex Symposium. Taipei, Taiwan. October 26, 2023

5) 生島嗣、村崎美和、牧原信也. NPO による HIV 陽性者／勾留者への手紙による相談・支援“お手紙プロジェクト”～報告と考察. 日本エイズ学会、2022 年.

6) 生島嗣、三輪岳史、山口正純、大槻知子、水島大輔、高野操、岡慎一. GPS 機能付き出会い系アプリを利用する MSM の PrEP 利用に関する実態調査

2021. 日本エイズ学会、2021 年.

7) 山口正純. 日本エイズ学会シンポジウム「エイズ予防指針に生かす新たな予防戦略とは？」—薬物使用者に対する HIV 予防戦略とエイズ予防指針における課題. 日本エイズ学会、2021 年.

8) 山口正純. 日本精神神経学会学術総会 シンポジウム ハームリダクションの理念とわが国における可能性と課題～ HIV/AIDS 支援と薬物依存症臨床から考える～ HIV 陽性者における薬物使用～薬物を使用したセックス“Chemsex”に対するハームリダクションの可能性. 日本精神神経学会、2021 年

9) 生島嗣、三輪岳史、大槻知子、山口正純、大木幸子、若林チヒロ、樽井正義. HIV 検査と告知時期に関する考察—「HIV 陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から一. 日本エイズ学会、2020 年.

10) 生島嗣. 地域における HIV 検査—「HIV 陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から(第2報). 日本公衆衛生学会総会、2020 年.

11) Ikushima, Y. Patterns of PrEP use among men who have sex with men in Japan. Asia Pacific AIDS & Co-infections Conference (APACC) 2020, October 15-17, 2020.

12) Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Wakabayashi, C., Nosaka, S., Ikushima, Y., and Tarui, M. Associations of recreational drug use with HIV-related sexual risk behaviours among men who have sex with men in Japan: results from the cross-sectional LASH study. The 23rd International AIDS Conference. July 6-10, 2020.

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(2)ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する 動向の把握と効果評価

- 研究分担者：塩野 徳史(大阪青山大学健康科学部看護学科)
■ 研究協力者：金子 典代(名古屋市立大学大学院看護学研究科)
岩橋 恒太(特定非営利活動法人akta)

研究要旨

コミュニティセンターの啓発はコロナ禍における商業施設の変容やWEB利用の試みもあり、その方法は大きく分けて対面とWEBがある。そのため、最終年度(2023年)の調査では対面とWEBでコミュニティセンターにつながっている人を分けて調査を実施した。方法は、初年度と同様に、専用の調査サイトを作成し、インターネットでの回答とし、①コミュニティセンターのHPやX(Twitter)で回答、②CBOが対面で依頼し回答する2種類の基点を設定して実施した。重複回答および18歳未満であった105人を除き1,596人を有効回答(93.9%)とし分析した、

暮らしの状況について、現在の職業は常勤(正規雇用)が対面39.5%、WEB51.4%であり、主な収入源は勤労による収入は対面75.3%、WEB91.8%、対面の方がやや低く、その他の収入源では実家、親族からの援助、年金、生活保護の活用をしている人が多かった。この1年間の状況について「普段の生活において経済的なことや生活で困ること」や「医療費の支払いに不安を感じたこと」が6回以上あった割合は対面の方が高く、厳しい状況であることが示唆される。メンタルヘルスに関してこれまでに、精神科や心療内科を受診した経験があると回答した人の割合は対面54.6%、WEB33.5%であり、過去1年間では対面34.7%、WEB17.8%であった。一方でセクシュアリティについて、親にカミングアウトした経験は両親ともにしていたのは対面21.9%、WEB10.2%であり、K6得点も平均は平均 8.0 ± 5.1 であり対面とWEBで差は顕著ではないことから、コミュニティセンターの存在がメンタルヘルスにも一定の影響を与えている可能性も考えられる。

HIV抗体検査受検経験では、これまでにあったと回答した人の割合は全体で対面64.2%、WEB42.7%、過去1年間では対面39.0%、WEB13.1%と対面の方が高い割合であった。受検経験をもつ人のうち、受検場所は保健所の即日検査37.1%、クリニック・医院・診療所30.2%、郵送検査28.7%であり、2021年よりやや高く、各地域でコロナ禍に配布した郵送検査や継続しているクリニック検査の取組の効果が示された。

過去6ヵ月間の男性とのアナルセックスにおけるコンドーム使用状況は、全体では23.1%、相手別に彼氏や恋人18.3%、友達やセクフレ27.0%、(その場限りの相手26.2%)であり横這いであった。コンドームを使わない(あるいは使えない)理由は、最も多かったのは対面とWEBで異なり、対面では「コンドームをつけない方が気持ちよいから(22.6%)」「コンドームを使うのがめんどうだと思っから(14.2%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(11.0%)」であり、WEBでは「相手次第で、どちらでもよい(27.7%)」「コンドームをつけない方が気持ちよいから(14.1%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(10.5%)」「相手につけてって言えないから(10.4%)」であったため、検査行動の促進と同様に、啓発対象や方法により、その方向性を再検討する必要がある。

PrEPでは、知っている人の割合は全体で15.0%(対面30.9%、WEB10.2%)、希望がある人は35.5%(対面52.1%、WEB30.6%)、過去6ヵ月間の利用経験は全体で4.6%(対面9.1%、WEB3.3%)であり、対面でつながっている人の間ではやや上昇しており、対面での支援体制の整備が望まれる。

3年間の研究結果から、コミュニティセンターの啓発は感染リスクの高い層にリーチしており、検査に関してはコロナ禍であってもその効果が示されたと言えるが、コンドームやPrEPに関しては十分な効果があるとは言えない。コミュニティセンターの啓発はコロナ禍の影響に対応してきたが、対面とWEBでコミュニティセンターにつながっている人では、啓発の浸透度や経済状況、メンタルヘルスの状況は異なっている可能性があり、啓発対象や手法に応じて複数のパターンで啓発を継続していくことが必要である。

A 研究目的

これまでに各地域のゲイコミュニティはオールジャパンで予防啓発に関するネットワークを構築し、啓発活動の共有基盤を築いた。一方で2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ゲイコミュニティの活動にも大きな影響を及ぼしていることが実体験として報告されており、性行動やHIV感染症や性感染症に関する予防行動も変容している可能性がある。そのため、コミュニティセンターのない地域も含め、性行動と予防啓発の浸透度を可視化し、効果評価を継続する必要がある。

本研究ではインターネットのモニター登録者を対象に2段階化抽出法を用いて同様の質問項目で調査を実施(2022年)し、MSMの全体像を把握した。ゲイバー・クラブ・ショップのいずれかを利用している人の割合は全体で35.2%、ハッテン場みの利用は5.2%、売り専のみの利用は2.5%であり、ネットのみの利用者は14.9%であり、商業施設利用者と重なることが示された。いずれも利用なしが43.3%と最も多く、次いでいずれも利用が28.3%であり、いずれも利用が最も感染リスクの高い層であることが示された。コミュニティセンター利用率は全体で18.1%であるが、啓発対象となっている地域居住者でかつ、商業施設およびネットのいずれも利用者ではZEL28.0%、akta31.3%、rise26.1%、dista26.1%、HACO25.7%、mabui25.0%となり概ね3人から4人に1人が利用していることが示唆された。

そしてコミュニティセンターにおけるHIV感染予防啓発活動の効果測定の指標として利用者の予防意識・行動を、全国の6センター、センターのない3地域のNPO及びSNSで質問紙調査を実施(2021年)した。HIV抗体検査受検行動は生涯68.7%、過去1年間28.9%と横這いであり、コロナ禍で検査機会が減少しているにも関わらず、東京都、沖縄県、北陸、

近畿では3割以上の受検割合を維持している可能性があった。一方でコロナ禍により利用を控えた人の割合は26.5%であり、MSMの受検行動が抑制されていた。過去6ヵ月間コンドーム使用状況は、相手別に彼氏や恋人20.3%、友達やセクフレ20.1%、その場限りの相手25.8%であった。コンドーム使用状況は2010年以降低下傾向であり、全体的にコンドームの使用行動が低下していた。またPrEPの情報認知割合は全体で25.9%に留まっているが、服薬を希望の割合は服薬したい・どちらかといえば服薬したいと合わせて64.7%であり、過去6ヵ月間の服薬経験は全体で6.7%と上昇傾向であることが示された。この調査ではコミュニティセンターも基点としているが、SNSのバナー広告も基点としており、対象層者には予防啓発活動から遠い層も含まれている。

そこで最終年度は全国の7センターのNPOで同様の質問紙調査を実施(2023年)し、実際にコミュニティセンターを利用する人の特性を把握した。コロナ禍による行動の自粛や商業施設の変容に伴い、各地域のコミュニティセンターは来場者が減少し、WEBでの予防啓発も行っている。一方で来場者の経済的背景やメンタルヘルスも悪化している可能性もある。本研究では対面でコミュニティセンターを利用する人とWEBでコミュニティセンターの活動につながる人の両方の実態を捉えることを目的とした。

B 研究方法

コミュニティセンターにおける HIV 感染予防啓発活動の効果測定の指標として利用者あるいはつながる人の予防意識・行動(コンドーム使用、PrEP、U=U、検査行動等)に加え経済的困難さやメンタルヘルスに関わる質問紙を作成し、全国の 7 センターの NPO で調査を実施した。

調査方法は、これまでと同様に専用の調査サイトを作成し、インターネットでの回答とし、①コミュニティセンターの HP や X(Twitter) で回答、② CBO が対面で依頼し回答する 2 種類の基点を設定した。

回答に伴って謝礼の形式は、1,000 円分のデジタル謝礼を抽選で 1,000 人に配信した。調査期間は 2023 年 12 月~1 月の 1 ヶ月半とした。

本調査の質問項目は経済的困難さや精神科や心療内科への通院歴、K 6、HIV や性感染症に関する意識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、性感染症既往歴、性行動などを尋ねた。

回収された 1,701 件のデータのうち、重複回答および 18 歳未満であった 105 人を除き 1,596 人を有効回答(93.9%)とし分析対象とした。基点①は 372 件(23.3%)、基点②では 1,224 件(76.7%)の回答があった。分析対象となった 1,596 人を配布基点となった CBO により分類し集計した。内訳は、東北(コミュニティセンター ZEL) 306 人(19.2%)、東京(コミュニティセンター akta) 205 人(12.8%)、横浜(SHIP) 253 人(15.9%)、名古屋(コミュニティセンター rise) 80 人(5.0%)、大阪(コミュニティセンター dista) 268 人(16.8%)、福岡(コミュニティセンター HACO) 346 人(21.7%)、沖縄(コミュニティセンター mabui) 138 人(8.6%)であった。なおコミュニティスペース「SHIP にじいろキャビン」は特定非営利活動法人 SHIP が運営しており、セクシュアルマイノリティを対象に情報と支援を届けるための活動を多く行っている。本研究では他の 6 センターと協働している実態を踏まえ、同様の方法で調査を依頼し参加の協力を得た。

分析では各地域の活動につながる人の特を比較し、さらに各地域で対面とWEBでの回答者を比較した。統計的有意差はカイ 2 乗検定を用いて検討した。有意水準を 5%未満とした。データの集計および統計処

理には IBM SPSS Statistics 23 (Windows)を用いた。

(倫理面への配慮)

本研究実施については名古屋市立大学研究倫理審査委員会より実施の承認を得た。

C 研究結果

1. 基本属性(表 2.1-1、表 2.2-1、表 2.3-1)

分析対象となった 1,596 人は、男性が 86.7% (対面 81.2%、WEB88.4%)、女性として生まれたが男性が 3.6% (対面 2.4%、WEB3.9%)、男性として生まれたが女性が 5.9% (対面 6.2%、WEB 5.8%)、女性が 2.9% (対面 7.8%、WEB1.4%)、その他が 0.9% (対面 2.4%、WEB0.5%) であり、各地域で差異がみられた($p<0.01$)。セクシュアリティをゲイと回答している人の割合は 64.5% (対面 63.2%、WEB64.9%) で、バイセクシュアルが 23.1% (対面 14.8%、WEB25.7%)、わからない・決めたくない・その他が 7.2% (対面 12.6%、WEB5.4%)、ヘテロセクシュアルが 4.6% (対面 7.8%、WEB3.7%) であった。各地域で差異がみられ($p<0.01$)、ゲイ・バイセクシュアルの割合は東北(ZEL)は 91.8% (対面 96.9%、WEB91.3%)、東京(akta)は 80.0% (対面 73.1%、WEB84.2%)、横浜(SHIP)は 85.8% (対面 51.2%、WEB92.5%)、名古屋(rise)は 95.0% (対面 94.5%、WEB95.2%)、大阪(dista)は 81.0% (対面 77.2%、WEB83.8%)、福岡(HACO)は 92.8% (対面 82.2%、WEB94.4%)、沖縄(mabui)は 88.4% (対面 88.6%、WEB88.3%) であった。

年齢層は全体で 18-19 歳 3.9%、20-29 歳 18.2%、30-39 歳 36.1%、40-49 歳 27.3%、50-59 歳 12.1%、60 歳以上 2.4% であり、平均年齢は 37.6 歳 $\pm$ 10.5 歳、18 歳 -79 歳 であった。対面では 18-19 歳 3.5%、20-29 歳 26.9%、30-39 歳 34.1%、40-49 歳 15.9%、50-59 歳 14.0%、60 歳以上 5.6%、WEB では 18-19 歳 4.0%、20-29 歳 15.5%、30-39 歳 36.7%、40-49 歳 30.8%、50-59 歳 11.5%、60 歳以上 1.5% であった。各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 40-49 歳が最も多く 38.7%、東京(akta)は 30-39 歳で 35.4%、横浜(SHIP)も 30-39 歳で 39.6%、名古屋(rise)も 30-39 歳で 29.0%、大阪(dista)は 40-49 歳で 33.8%、福岡(HACO)は 30-39 歳で 44.9%、沖縄(mabui)も 30-39 歳で 36.1% であった。

居住地について中心市街地に住んでいる人は 36.1% (対面 51.1%、WEB31.5%)、郊外住宅地に住んでいる人は 55.6% (対面 44.1%、WEB59.1%)

で、農村・漁村・山間部・離島は 8.3% (対面 4.9%、WEB9.4%) であった。

コミュニティセンターがある該当地域に住んでいる人の割合は、東北(ZEL)は北海道・東北在住が 36.6% (対面 90.6%、WEB30.3%)、東京(akta)は東京都内住が 37.6% (対面 60.3%、WEB23.6%)、横浜(SHIP)は神奈川県内住が 16.2% (対面 61.0%、WEB7.5%)、名古屋(rise)は東海内住が 46.3% (対面 100.0%、WEB30.6%)、大阪(dista)は近畿内住が 59.7% (対面 90.4%、WEB37.0%)、福岡(HACO)は沖縄県を除く九州内住が 36.7% (対面 95.6%、WEB27.9%)、沖縄(mabui)は沖縄県内住が 55.8% (対面 90.9%、WEB39.4%) であった。

ゲイ向け商業施設の利用について、過去 6 ヶ月間にゲイバーを利用したと回答した人の割合は全体で 29.7% (対面 46.0%、WEB24.8%) で、各地域別に東北(ZEL)は 23.9% (対面 59.4%、WEB19.7%)、東京(akta)は 43.9% (対面 56.4%、WEB36.2%)、横浜(SHIP)は 19.4% (対面 22.0%、WEB18.9%)、名古屋(rise)は 41.3% (対面 50.0%、WEB38.7%)、大阪(dista)は 31.7% (対面 36.0%、WEB28.6%)、福岡(HACO)は 24.9% (対面 57.8%、WEB19.9%)、沖縄(mabui)は 42.0% (対面 52.3%、WEB37.2%) であった。また有料のハッテン場を利用したと回答した人の割合は全体で 13.3% (対面 28.8%、WEB8.6%) で、各地域別に東北(ZEL)は 13.1% (対面 56.3%、WEB8.0%)、東京(akta)は 19.5% (対面 29.5%、WEB13.4%)、横浜(SHIP)は 4.0% (対面 9.8%、WEB2.8%)、名古屋(rise)は 10.0% (対面 16.7%、WEB8.1%)、大阪(dista)は 24.6% (対面 32.5%、WEB18.8%)、福岡(HACO)は 7.8% (対面 40.0%、WEB3.0%)、沖縄(mabui)は 15.2% (対面 9.1%、WEB18.1%) であった。

2. 暮らしの状況(表 2.1-2、表 2.2-2、表 2.3-2)

暮らしの状況について、主な収入源、この1年間の状況、セクシュアリティの開示状況について伺った。回答者における現在の職業について常勤(正規雇用)が48.6% (対面 39.5%、WEB51.4%)、非正規雇用が17.2% (対面 10.5%、WEB19.3%)、パート・アルバイトが18.8% (対面 24.8%、WEB17.1%)、無職が8.0% (対面 11.8%、WEB6.9%)であった。年収で最も多かったのは300万円～400万円が28.6%、次いで200万円～300万円20.7%、100万円～200万円16.3%であった。

主な収入源は勤労による収入が88.0% (対面 75.3%、WEB91.8%)が最も多く各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は93.5% (対面 84.4%、WEB94.5%)、東京(akta)は81.5% (対面 74.4%、WEB85.8%)、横浜(SHIP)は88.5% (対面 63.4%、WEB93.4%)、名古屋(rise)は82.5% (対面 66.7%、WEB87.1%)、大阪(dista)は82.5% (対面 78.1%、WEB85.7%)、福岡(HACO)は95.4% (対面 82.2%、WEB97.3%)、沖縄(mabui)は79.7% (対面 70.5%、WEB84.0%)であった。次いで実家、親族からの援助18.0% (対面 20.2%、WEB17.3%)で各地域では差異はみられず($p=0.18$)、東北(ZEL)は18.0% (対面 15.6%、WEB18.2%)、東京(akta)は21.0% (対面 25.6%、WEB18.1%)、横浜(SHIP)は19.4% (対面 26.8%、WEB17.9%)、名古屋(rise)は15.0% (対面 11.1%、WEB16.1%)、大阪(dista)は13.8% (対面 13.2%、WEB14.3%)、福岡(HACO)は16.8% (対面 13.3%、WEB17.3%)、沖縄(mabui)は23.9% (対面 36.4%、WEB18.1%)であった。

この1年間の状況について「普段の生活において経済的なことや生活で困ること」が6回以上あった割合は8.8% (対面 14.8%、WEB6.9%)であり、各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は3.6% (対面 12.5%、WEB2.6%)、東京(akta)は10.7% (対面 10.3%、WEB11.0%)、横浜(SHIP)は8.7% (対面 36.6%、WEB3.3%)、名古屋(rise)は20.0% (対面 11.1%、WEB22.6%)、大阪(dista)は11.6% (対面 12.3%、WEB11.0%)、福岡(HACO)は4.0% (対面 11.1%、WEB3.0%)、沖縄(mabui)は17.4% (対面 15.9%、WEB18.1%)であった。また「給与や年金の支給前に、暮らしに困ること」が6回以上あった

割合は5.3% (対面 10.8%、WEB3.6%)であり、各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は3.3% (対面 6.3%、WEB2.9%)、東京(akta)は4.9% (対面 5.1%、WEB4.7%)、横浜(SHIP)は5.5% (対面 26.8%、WEB1.4%)、名古屋(rise)は5.0% (対面 5.6%、WEB4.8%)、大阪(dista)は6.0% (対面 7.9%、WEB4.5%)、福岡(HACO)は2.0% (対面 6.7%、WEB1.3%)、沖縄(mabui)は16.7% (対面 22.7%、WEB13.8%)であった。さらに「医療費の支払いに不安を感じたこと」が6回以上あった割合は3.1% (対面 7.0%、WEB1.9%)であり、各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は1.3% (対面 6.3%、WEB0.7%)、東京(akta)は3.9% (対面 3.8%、WEB3.9%)、横浜(SHIP)は4.0% (対面 19.5%、WEB0.5%)、名古屋(rise)は0.0%、大阪(dista)は6.3% (対面 7.9%、WEB5.2%)、福岡(HACO)は1.7% (対面 4.4%、WEB1.3%)、沖縄(mabui)は2.9% (対面 4.5%、WEB2.1%)であった。「医療費の支払いに不安を感じたこと」はいずれの地域でも対面とWEBで差異がみられ、対面での割合が高かった。

ヘテロセクシュアルであると回答した人を除き($n=1,522$)、親にカミングアウトした経験は両親ともにしたのが12.8% (対面 21.9%、WEB10.2%)、父親のみが4.5% (対面 1.2%、WEB5.5%)、母親のみが12.9% (対面 18.4%、WEB11.4%)であった。また職場や学校でのカミングアウトは広くしている人が9.7% (対面 17.5%、WEB7.5%)、信頼できる人のみにしている人が28.9% (対面 37.3%、WEB26.5%)、全くしていない人が38.2% (対面 31.8%、WEB40.0%)であった。

3. メンタルヘルス(表 2.1-3、表 2.2-3、表 2.3-3)

メンタルヘルスについては先行研究(以下、K6)を参考に過去 30 日の間に「経過敏に感じましたか・望的だと感じましたか・わそわ、落ち着かなく感じましたか・気分が落ち込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか・何をするのも骨折りだと感じましたか・分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度を 5 段階で伺った。集計では点数化して 4 区分(0-4 点、5-9 点、10-12 点、13 点以上)で集計した。

K6 の得点の平均は平均 8.0 ± 5.1 であり、13 点以上であった割合は 19.4% (対面 18.3%、WEB19.8%) であり、各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 9.8% (対面 9.4%、WEB9.9%)、東京(akta)は 23.4% (対面 19.2%、WEB26.0%)、横浜(SHIP)は 14.2% (対面 29.3%、WEB11.3%)、名古屋(rise)は 52.5% (対面 16.7%、WEB62.9%)、大阪(dista)は 23.5% (対面 14.9%、WEB29.9%)、福岡(HACO)は 15.3% (対面 17.8%、WEB15.0%)、沖縄(mabui)は 27.5% (対面 22.7%、WEB29.8%)であった。

これまでに、精神科や心療内科を受診した経験があると回答した人の割合は 38.4% (対面 54.6%、WEB33.5%) であり、過去 1 年間では 21.7% (対面 34.7%、WEB17.8%) であった。各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 12.7% (対面 21.9%、WEB11.7%)、東京(akta)は 33.2% (対面 39.7%、WEB29.1%)、横浜(SHIP)は 20.2% (対面 48.8%、WEB14.6%)、名古屋(rise)は 38.8% (対面 55.6%、WEB33.9%)、大阪(dista)は 27.2% (対面 32.5%、WEB23.4%)、福岡(HACO)は 15.6% (対面 35.6%、WEB12.8%)、沖縄(mabui)は 22.5% (対面 18.2%、WEB24.5%)であった。

4. 知識・対話経験(表 2.1-3、表 2.2-3、表 2.3-3)

U=U について「よく知っている」「少し知っている」と回答した人は全体で 37.9% (対面 65.1%、WEB29.6%) であり、地域別に差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 30.4% (対面 78.2%、WEB24.8%)、東京(akta)は 50.3% (対面 65.4%、WEB40.9%)、横浜(SHIP)は 20.9% (対面 39.1%、WEB17.4%)、名古屋(rise)は 55.0% (対面 72.3%、WEB50.0%)、大阪(dista)は 62.3% (対面 72.8%、

WEB54.6%)、福岡(HACO)は 21.9% (対面 71.1%、WEB14.7%)、沖縄(mabui)は 50.0% (対面 50.0%、WEB50.0%)であった。

友達や知り合いに HIV に感染している人がいるかという身近さについて「いる」「いると思う」と回答した人は全体で 31.3% (対面 50.8%、WEB25.5%) であり、地域別に差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 24.2% (対面 56.2%、WEB20.4%)、東京(akta)は 47.3% (対面 46.2%、WEB48.0%)、横浜(SHIP)は 19.3% (対面 34.2%、WEB16.6%)、名古屋(rise)は 38.8% (対面 61.1%、WEB32.3%)、大阪(dista)は 51.5% (対面 61.4%、WEB44.2%)、福岡(HACO)は 19.7% (対面 66.7%、WEB12.6%)、沖縄(mabui)は 31.9% (対面 22.7%、WEB36.2%)であった。

過去 6 ヶ月間に HIV やエイズについて対話した経験では、両親・兄弟姉妹とは全体で 3.5% (対面 8.1%、WEB2.1%)、恋人とは 10.7% (対面 25.3%、WEB6.2%) であり、友達とは 18.5% (対面 44.6%、WEB10.6%) であり、いずれも地域別に差異がみられ($p<0.01$)、(以下、両親・兄弟姉妹、恋人、友達の順)東北(ZEL)は 1.3%、5.6%、11.4% (対面 3.1%、18.8%、50.0%、WEB1.1%、4.0%、6.9%)、東京(akta)は 4.9%、20.5%、29.8% (対面 9.0%、35.9%、51.3%、WEB2.4%、11.0%、16.5%)、横浜(SHIP)は 0.8%、4.0%、6.7% (対面 4.9%、14.6%、26.8%、WEB0.0%、1.9%、2.8%)、名古屋(rise)は 1.3%、7.5%、20.0% (対面 5.6%、16.7%、50.0%、WEB0.0%、4.8%、11.3%)、大阪(dista)は 10.1%、18.3%、33.6% (対面 12.3%、22.8%、43.9%、WEB8.4%、14.9%、26.0%)、福岡(HACO)は 0.9%、6.1%、9.0% (対面 6.7%、35.6%、51.1%、WEB0.0%、1.7%、2.7%)、沖縄(mabui)は 6.5%、18.1%、33.3% (対面 4.5%、20.5%、38.6%、WEB7.4%、17.0%、30.9%)であった。

5. 受検経験(表 2.1-3、表 2.2-3、表 2.3-3)

HIV 抗体検査受検経験についてこれまでにあと回答した人の割合は全体で 47.7% (対面 64.2%、WEB42.7%)であり、地域別に差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 47.4% (対面 78.1%、WEB43.8%)、東京(akta)は 51.2% (対面 60.3%、WEB45.7%)、横浜(SHIP)は 37.5% (対面 31.1%、WEB38.7%)、名古屋(rise)は 47.5% (対面 77.8%、WEB38.7%)、大阪(dista)は 64.2% (対面 78.1%、WEB53.9%)、福岡(HACO)は 39.6% (対面 75.6%、WEB34.2%)、沖縄(mabui)は 50.7% (対面 38.6%、WEB56.4%)であった。

過去 1 年間にあと回答した人の割合は全体で 19.1% (対面 39.0%、WEB13.1%)であり、地域別に差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 16.7% (対面 56.3%、WEB12.0%)、東京(akta)は 26.3% (対面 39.7%、WEB18.1%)、横浜(SHIP)は 9.5% (対面 17.1%、WEB8.0%)、名古屋(rise)は 22.5% (対面 44.4%、WEB16.1%)、大阪(dista)は 27.6% (対面 37.7%、WEB20.1%)、福岡(HACO)は 14.5% (対面 64.4%、WEB7.0%)、沖縄(mabui)は 24.6% (対面 20.5%、WEB26.6%)であった。

受検経験をもつ人のうち、受検場所は保健所の即日検査が最も多く 37.1% (対面 46.4%、WEB32.9%)、次いでクリニック・医院・診療所 30.2% (対面 24.3%、WEB32.9%)、郵送検査 28.7% (対面 24.3%、WEB30.8%)、病院 17.8% (対面 18.8%、WEB17.4%)であった。

これまでに未受検であった理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「機会(時間や場所など)がなかったから(34.8%)」「ゲイ・バイセクシュアルであると説明するのが面倒だから(24.5%)」「HIV に感染する行為はしていないから(16.7%)」「お金がかかるから(14.9%)」であったが、対面と WEB で異なり、対面では「HIV に感染する行為はしていないから(41.4%)」「機会(時間や場所など)がなかったから(24.1%)」「HIV に感染している可能性がないから(17.3%)」「どこで検査を受けたら良いかわからないから(15.0%)」であり、WEB では「機会(時間や場所など)がなかったから(36.8%)」「ゲイ・バイセクシュアルであると説明するのが面倒だから(28.1%)」「お金がかかるから(15.3%)」であった。

6. 性行動(表 2.1-4、表 2.2-4、表 2.3-4)

過去 6 カ月間に男性とセックスしたことがある人の割合は全体で 49.8% (対面 62.1%、WEB46.1%)、このうち過去 6 カ月間に、インターネットや SNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがある割合は全体で 63.8% (対面 68.0%、WEB62.1%)であり、地域差はみられなかった($p=0.12$)。過去 6 カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがある割合は 28.8% (対面 45.5%、WEB22.0%)、複数人(3人以上)で同時にセックスをしたことがある割合は 21.3% (対面 23.4%、WEB28.6%)、相手からお金をもらってセックスをしたことがある割合は 11.8% (対面 6.1%、WEB14.2%)であった。また、セックスのときにドラッグ(ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ)を使用した割合は 2.1% (対面 4.3%、WEB1.5%)であった。また、アナルセックスをしたことがある人は 81.3% (対面 67.1%、WEB87.1%)であった。

過去 6 カ月間の男性とのアナルセックスにおけるコンドーム使用状況は、相手別に彼氏や恋人との場合が 15.5% (対面 25.0%、WEB12.8%)、友達やセフレとの場合が 18.8% (対面 23.1%、WEB16.8%)、その場限りの相手との場合が 21.4% (対面 25.5%、WEB19.8%)であった。その場限りの相手との場合のみ地域別に差異がみられ($p=0.02$)、(以下、彼氏や恋人、友達、その場限りの相手の順)東北(ZEL)は 19.4%、20.8%、38.0% (対面 0.0%、36.4%、36.4%、WEB20.7%、16.7%、38.5%)、東京(akta)は 8.0%、22.5%、15.5% (対面 18.2%、23.8%、19.0%、WEB0.0%、21.1%、13.5%)、横浜(SHIP)は 18.2%、16.2%、5.4% (対面 100.0%、0.0%、0.0%、WEB14.3%、17.6%、5.9%)、名古屋(rise)は 0.0%、17.4%、17.6% (対面 0.0%、20.0%、100.0%、WEB0.0%、16.7%、6.7%)、大阪(dista)は 11.8%、16.9%、24.1% (対面 40.0%、25.0%、27.3%、WEB0.0%、11.4%、21.7%)、福岡(HACO)は 22.9%、16.3%、21.2% (対面 14.3%、18.8%、25.0%、WEB25.0%、15.2%、20.0%)、沖縄(mabui)は 19.0%、21.9%、20.5% (対面 33.3%、18.2%、12.5%、WEB13.3%、23.8%、22.6%)であった。また啓発対象となる地域に居住する MSM を対象にした場合、コンドームの常用率は(以下、コンドーム

常用率、彼氏や恋人、友達、その場限りの相手の順) 東北(ZEL) 25.5%、14.3%、36.0%、35.7%、東京(akta) 22.2%、13.3%、25.0%、22.0%、横浜(SHIP) 23.8%、20.0%、36.4%、9.1%、名古屋(rise) 20.0%、0.0%、22.2%、50.0%、大阪(dista) 28.8%、26.7%、25.8%、29.4%、福岡(HACO) 11.9%、20.0%、18.5%、15.8%、沖縄(mabui) 28.6%、21.4%、29.4%、37.5%であった。全体では23.1%、18.3%、27.0%、26.2%であった。

コンドームを使わない(あるいは使えない)理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「相手次第で、どちらでもよい(23.1%)」「コンドームをつけない方が気持ちよいから(16.0%)」「コンドームを使うのがめんどうだと思ふから(11.3%)」であったが、対面とWEBで異なり、対面では「コンドームをつけない方が気持ちよいから(22.6%)」「コンドームを使うのがめんどうだと思ふから(14.2%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(11.0%)」であり、WEBでは「相手次第で、どちらでもよい(27.7%)」「コンドームをつけない方が気持ちよいから(14.1%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(10.5%)」「相手につけてって言えないから(10.4%)」であった。

7. PrEP (表 2.1-5、表 2.2-5、表 2.3-5)

「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP, プレップ)」について情報をとてもよく知っているという回答した人の割合は全体で 15.0% (対面 30.9%、WEB10.2%)であり、服薬の希望がある人は服薬したい・どちらかといえば服薬したいをあわせて 35.5% (対面 52.1%、WEB30.6%)であった。各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 32.0% (対面 65.6%、WEB29.2%)、東京(akta)は 34.6% (対面 50.0%、WEB25.2%)、横浜(SHIP)は 27.3% (対面 39.1%、WEB25.0%)、名古屋(rise)は 26.3% (対面 61.1%、WEB16.1%)、大阪(dista)は 51.5% (対面 50.8%、WEB52.0%)、福岡(HACO)は 27.7% (対面 61.2%、WEB22.6%)、沖縄(mabui)は 52.2% (対面 47.8%、WEB54.2%)であった。

過去 6 ヶ月間の服薬経験について尋ねたところ、全体で 4.6% (対面 9.1%、WEB3.3%)であり、各地域で差異がみられ($p<0.01$)、東北(ZEL)は 3.9%

(対面 15.6%、WEB2.6%)、東京(akta)は 6.8% (対面 11.5%、WEB3.9%)、横浜(SHIP)は 1.2% (対面 0.0%、WEB1.4%)、名古屋(rise)は 5.0% (対面 5.6%、WEB4.8%)、大阪(dista)は 9.0% (対面 9.6%、WEB8.4%)、福岡(HACO)は 2.9% (対面 17.8%、WEB0.7%)、沖縄(mabui)は 5.1% (対面 0.0%、WEB7.4%)であった。

また啓発対象となる地域に居住する MSM を対象にした場合、過去 6 ヶ月間の PrEP 利用率は東北(ZEL) 8.0%、東京(akta) 9.4%、横浜(SHIP) 0.0%、名古屋(rise) 5.4%、大阪(dista) 8.1%、福岡(HACO) 7.1%、沖縄(mabui) 2.6%であった。

過去 6 ヶ月間に服薬経験のある人($n=74$)のうち、入手先ではインターネットでの購入が最も多く 56.8% (対面 61.8%、WEB52.5%)、次いで国内の医療機関 29.7% (対面 23.5%、WEB35.0%)であった。フォローアップについて定期的に医師の診察を受けている人は 44.6% (対面 47.1%、WEB42.5%)、全く受けていない・場所がない人は 28.4% (対面 41.2%、WEB17.5%)であった。

D 考察

2022 年度に行ったインターネットのモニター登録者を対象に 2 段階化抽出法を用いた調査では、MSM の全体像として、ゲイバー・クラブ・ショップのいずれかを利用している人の割合は全体で 35.2% であり、この層が最も感染リスク行動の割合が高い層であることを示した。

初年度(2021 年)に実施した調査は属性の状況を見ると商業施設利用の割合は高く、感染リスクの高い層が対象となったと考えられるが、その結果よりコロナ禍で受検機会を喪失した可能性のある人の割合は 26.5% であった一方で、HIV 抗体検査受検行動は、生涯には 68.7% 過去 1 年間の受検割合も全体で 28.9% であり、過去の同様の調査結果と比較して横這いであった。過去 6 ヶ月間のコンドーム常用率は 20% 台であり、2010 年以降低下傾向である。特徴として相手別の使用状況も同程度の割合となっており、コンドーム使用に関する啓発の必要性が示唆された。過去 6 ヶ月間の PrEP の利用経験は地域別に有意差がみられるが全体で 6.7% と上昇傾向であることが示された。また、コミュニティセンターの認知率は、啓発対象となっている地域では上昇しており全体で 45.4% であった。2022 年度のインターネット調査の結果では、コミュニティセンター利用率は全体で 18.1%、啓発対象となっている地域居住者でかつ、商業施設およびネットのいずれも利用者では 25.0%~31.3% であり、2021 年の調査対象者がコミュニティセンターに近い層であったことが示唆される。

これらの結果から、コミュニティセンターの啓発は感染リスクの高い層にリーチしており、検査に関してはコロナ禍であってもその効果が示されたと言えるが、コンドームや PrEP に関しては十分な効果があるとは言えない。コミュニティセンターの啓発はコロナ禍における商業施設の変容や WEB 利用の試みもあり、その方法は大きく分けて対面と WEB がある。そのため、最終年度(2023 年)の調査では対面と WEB でコミュニティセンターにつながっている人を分けて調査を実施し、分析、比較検討した。

暮らしの状況について、現在の職業は常勤(正規雇用)が対面 39.5%、WEB51.4% であり、各地域で差異があるものの、主な収入源は勤労による収入

は対面 75.3%、WEB91.8% と、対面の方がやや低く、その他の収入源では実家、親族からの援助、年金、生活保護の活用をしている人が多かった。この 1 年間の状況について「普段の生活において経済的なことや生活で困ること」が 6 回以上あった割合が対面 14.8%、WEB6.9% であり、「医療費の支払いに不安を感じたこと」が 6 回以上あった割合は対面 7.0%、WEB1.9% と対面でつながっている人の方が、厳しい状況であることが示唆される。

またメンタルヘルスに関してこれまでに、精神科や心療内科を受診した経験があると回答した人の割合は対面 54.6%、WEB33.5% であり、過去 1 年間では対面 34.7%、WEB17.8% であった。一方でセクシュアリティについて、親にカミングアウトした経験は両親ともにしていたのは対面 21.9%、WEB10.2% であり、K6 得点も平均は平均 8.0 ± 5.1 であり対面と WEB で差は顕著ではないことから、コミュニティセンターの存在がメンタルヘルスにも一定の影響を与えている可能性も考えられる。

地域別に差異がみられるが、友達や知り合いに HIV に感染している人がいるかという身近さについて「いる」「いると思う」と回答した人は全体で対面 50.8%、WEB25.5%、U=U について「よく知っている」「少し知っている」と回答した人は全体で対面 65.1%、WEB29.6% であり、対面の啓発効果が高いことが考えられる。

HIV 抗体検査受検経験も地域別に差はあるものの、これまでにあったと回答した人の割合は全体で対面 64.2%、WEB42.7%、過去 1 年間では対面 39.0%、WEB13.1% と対面の方が高い割合であった。受検経験をもつ人のうち、受検場所は保健所の即日検査 37.1% (2021 年: 24.6%) が最も多く、次いでクリニック・医院・診療所 30.2% (2021 年: 22.4%)、郵送検査 28.7% (2021 年: 23.8%) であり、各地域でコロナ禍に配布した郵送検査や継続しているクリニック検査の取組の効果が示された。これまでに未受検であった理由では対面と WEB で異なり、対面では「HIV に感染する行為はしていないから(41.4%)」「機会(時間や場所など)がなかったから(24.1%)」「HIV に感染している可能性がないから(17.3%)」「どこで検査を受けたら良いか分からないから(15.0%)」であり、WEB では「機会(時間や場所など)がなかったか

ら(36.8%)」「ゲイ・バイセクシュアルであると説明するのが面倒だから(28.1%)」「お金がかかるから(15.3%)」であったため、啓発対象や方法により、その方向性を再検討する必要があるだろう。

過去6ヵ月間の男性とのアナルセックスにおけるコンドーム使用状況は、全体では23.1% (2021年：19.2%)、であった。相手別に彼氏や恋人18.3% (2021年：20.3%)、友達やセクフレ27.0% (2021年：20.1%)、その場限りの相手26.2% (2021年：25.8%)であり横這いであった。

コンドームを使わない(あるいは使えない)理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「相手次第で、どちらでもよい(23.1%)」「コンドームをつけない方が気持ちよいから(16.0%)」「コンドームを使うのがめんどうだと思ふから(11.3%)」であったが、対面とWEBで異なり、対面では「コンドームをつけない方が気持ちよいから(22.6%)」「コンドームを使うのがめんどうだと思ふから(14.2%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(11.0%)」であり、WEBでは「相手次第で、どちらでもよい(27.7%)」「コンドームをつけない方が気持ちよいから(14.1%)」「コンドームをつけない方が一体感があるから(10.5%)」「相手につけてって言えないから(10.4%)」であったため、検査行動の促進と同様に、啓発対象や方法により、その方向性を再検討する必要があるだろう。

PrEPの利用について知っていると回答した人の割合は全体で15.0% (対面30.9%、WEB10.2%) (2021年：25.9%)、服薬の希望がある人は35.5% (対面52.1%、WEB30.6%) (2021年：64.7%)、過去6ヵ月間の服薬経験について尋ねたところ、全体で4.6% (対面9.1%、WEB3.3%) (2021年：6.7%)であり、対面でつながっている人の間ではやや上昇しており、対面での支援体制の整備が望まれる。

E 結論

3年間の研究結果から、コミュニティセンターの啓発は感染リスクの高い層にリーチしており、検査に関してはコロナ禍であってもその効果が示されたと言えるが、コンドームやPrEPに関しては十分な効果があるとは言えない。コミュニティセンターの啓発はコロナ禍の影響に対応してきたが、対面とWEBでコミュニティセンターにつながっている人では、啓発の浸透度や経済状況、メンタルヘルスの状況は異なっている可能性があり、啓発対象や手法に応じて複数のパターンで啓発を継続していくことが必要である。

F 研究発表

1. 論文発表

- 1) 澤田 華世, 香月 富士日, 金子 典代, ○塩野 徳史 : ゲイ・バイセクシュアル男性の人生の満足度に影響を与える心理的要因の探索, 日本精神保健看護学会誌, 2023年32巻1号 p. 10-18, 2023.
- 2) ○塩野徳史 : コロナ禍を経たMSM・ゲイコミュニティにおけるHIV感染症の予防 - その影響と有効な対策 -, 保健医療科学 第72巻(2), PP110-118, 2023.
- 3) 宮田りりい, ○塩野徳史, 金子典代. MSM(Men who have sex with men)に割り当てられるトランスジェンダーを対象とするHIV/AIDS予防啓発に向けた一考察 - ハッテン場利用経験のある女装者2名の事例から. 日本エイズ学会誌. 23(1): 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, ○塩野徳史 : コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性のHIV・エイズの最新情報の認知度とHIV検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 78-86, 2021.
- 5) 金子典代, ○塩野徳史. MSMを対象にした当事者主体のHIV検査の取り組みと意義. 日本エイズ学会誌, 22(3): 136-146, 2021.

2. 学会発表

- 1) ○塩野徳史. ポストコロナのHIV感染予防. 日本エイズ学会. 2023年. 京都.

- 2) 赤嶺友紀, 玉城祐貴, ○塩野徳史. 若年層 MSM をコミュニティセンターに繋げた事例, 日本エイズ学会 .2023 年 . 京都 .
- 3) 澤田華世, 町登志雄, 陰山朋久, 宮階真紀, 森田眞子, 山中京子, 古谷野淳子, ○塩野徳史. 当事者スタッフと専門職員が連携した相談活動の実践と効果, 日本エイズ学会 .2023 年 . 京都 .
- 4) ○塩野徳史 . 日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 - 社会が担う役割 -. 日本エイズ学会 2022 年 浜松
- 5) ○塩野徳史 . コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用 . 日本エイズ学会 2022 年 浜松
- 6) ○塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京
- 7) ○塩野徳史 . HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 2.1-1 GCQ2023 配布基点別分析 性別・年齢・居住地・就業形態
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
回答方法												
対面	32	10.5%			78	38.0%			41	16.2%		
WEB	274	89.5%			127	62.0%			212	83.8%		
あなたの性別を教えてください。												
男性	280	91.5%	100%	90.5%	163	79.5%	79.5%	79.5% **	209	82.6%	46.3%	89.6% **
女性として生まれたが男性(FtM)	10	3.3%	0.0%	3.6%	10	4.9%	2.6%	6.3%	10	4.0%	7.3%	3.3%
男性として生まれたが女性(MtF)	6	2.0%	0.0%	2.2%	15	7.3%	0.0%	11.8%	23	9.1%	24.4%	6.1%
女性	9	2.9%	0.0%	3.3%	14	6.8%	15.4%	1.6%	11	4.3%	22.0%	0.9%
その他	1	0.3%	0.0%	0.4%	3	1.5%	2.6%	0.8%	0	0.0%		
あなたは以下のどれにあてはまりますか。												
ゲイ(男性同性愛者)	209	68.3%	81.3%	66.8%	125	61.0%	60.3%	61.4%	146	57.7%	34.1%	62.3% **
レズビアン(女性同性愛者)	1	0.3%	0.0%	0.4%	2	1.0%	1.3%	0.8%	5	2.0%	7.3%	0.9%
バイセクシュアル(両性愛者)	72	23.5%	15.6%	24.5%	39	19.0%	12.8%	22.8%	71	28.1%	17.1%	30.2%
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	7	2.3%	0.0%	2.6%	23	11.2%	16.7%	7.9%	12	4.7%	14.6%	2.8%
わからない	6	2.0%	3.1%	1.8%	5	2.4%	1.3%	3.1%	9	3.6%	12.2%	1.9%
決めたくない	10	3.3%	0.0%	3.6%	7	3.4%	3.8%	3.1%	6	2.4%	7.3%	1.4%
その他	1	0.3%	0.0%	0.4%	4	2.0%	3.8%	0.8%	4	1.6%	7.3%	0.5%
親にカミングアウトした経験はありますか。 ¹⁾												
両親ともにした	16	5.4%	12.5%	4.5%	44	24.2%	33.8%	18.8%	22	9.1%	17.1%	7.8% **
父親のみにした	6	2.0%	0.0%	2.2%	12	6.6%	3.1%	8.5%	11	4.6%	5.7%	4.4%
母親のみにした	19	6.4%	0.0%	7.1%	35	19.2%	21.5%	17.9%	28	11.6%	37.1%	7.3%
両親ともにしていない / しなかった	142	47.5%	40.6%	48.3%	49	26.9%	23.1%	29.1%	110	45.6%	22.9%	49.5%
伝えていないが、父親／母親／ 両親は知っている	25	8.4%	12.5%	7.9%	16	8.8%	7.7%	9.4%	16	6.6%	2.9%	7.3%
親はいない	14	4.7%	12.5%	3.7%	4	2.2%	1.5%	2.6%	5	2.1%	2.9%	1.9%
カミングアウトする必要はない	77	25.8%	21.9%	26.2%	22	12.1%	9.2%	13.7%	49	20.3%	11.4%	21.8%
職場や学校でカミングアウトはしていますか。 ¹⁾												
広くしている(隠していない)	10	3.3%	9.4%	2.6%	31	17.0%	29.2%	10.3% **	15	6.2%	22.9%	3.4% **
信頼できる人だけにしている	59	19.7%	25.0%	19.1%	76	41.8%	41.5%	41.9%	70	29.0%	37.1%	27.7%
全くしていない	136	45.5%	40.6%	46.1%	48	26.4%	21.5%	29.1%	100	41.5%	20.0%	45.1%
カミングアウトする必要はない	94	31.4%	25.0%	32.2%	27	14.8%	7.7%	18.8%	56	23.2%	20.0%	23.8%
年齢層												
平均年齢± SD			40.0 ± 9.6				35.7 ± 11.0				39.5 ± 10.6	
18 歳 - 19 歳	7	2.3%	3.1%	2.2%	10	4.9%	1.3%	7.1% *	5	2.0%	0.0%	2.4% **
20 歳 - 29 歳	29	9.5%	9.4%	9.5%	49	23.9%	32.1%	18.9%	40	15.8%	17.1%	15.6%
30 歳 - 39 歳	106	34.6%	31.3%	35.0%	75	36.6%	38.5%	35.4%	93	36.8%	22.0%	39.6%
40 歳 - 49 歳	115	37.6%	28.1%	38.7%	45	22.0%	12.8%	27.6%	65	25.7%	14.6%	27.8%
50 歳 - 59 歳	38	12.4%	18.8%	11.7%	23	11.2%	12.8%	10.2%	39	15.4%	24.4%	13.7%
60 歳以上	11	3.6%	9.4%	2.9%	3	1.5%	2.6%	0.8%	11	4.3%	22.0%	0.9%
出生年												
1950 年以前	6	2.0%	9.4%	1.1%	1	0.5%	0.0%	0.8%	3	1.2%	4.9%	0.5% **
1960 年代	19	6.2%	6.3%	6.2%	15	7.3%	12.8%	3.9%	24	9.5%	26.8%	6.1%
1970 年代	75	24.5%	28.1%	24.1%	30	14.6%	9.0%	18.1%	55	21.7%	24.4%	21.2%
1980 年代	133	43.5%	34.4%	44.5%	71	34.6%	30.8%	37.0%	96	37.9%	22.0%	41.0%
1990 年代	59	19.3%	18.8%	19.3%	53	25.9%	26.9%	25.2%	63	24.9%	19.5%	25.9%
2000 年代	14	4.6%	3.1%	4.7%	35	17.1%	20.5%	15.0%	12	4.7%	2.4%	5.2%

次頁へ続く

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
あなたの出身国はどこですか。												
日本	306	100%	100%	100%	200	97.6%	94.9%	99.2%	253	100%	100%	100%
海外	0	0.0%			5	2.4%	5.1%	0.8%	0	0.0%		
居住地域												
北海道東北	112	36.6%	90.6%	30.3% **	15	7.3%	0.0%	11.8% **	21	8.3%	0.0%	9.9% **
関東 (東京除く)	42	13.7%	6.3%	14.6%	62	30.2%	33.3%	28.3%	71	28.1%	65.9%	20.8%
東京都	23	7.5%	0.0%	8.4%	77	37.6%	60.3%	23.6%	25	9.9%	31.7%	5.7%
甲信越	10	3.3%	0.0%	3.6%	10	4.9%	0.0%	7.9%	18	7.1%	0.0%	8.5%
北陸	4	1.3%	0.0%	1.5%	5	2.4%	0.0%	3.9%	9	3.6%	0.0%	4.2%
東海	11	3.6%	0.0%	4.0%	10	4.9%	0.0%	7.9%	17	6.7%	0.0%	8.0%
近畿	43	14.1%	0.0%	15.7%	11	5.4%	2.6%	7.1%	43	17.0%	2.4%	19.8%
中国四国	39	12.7%	3.1%	13.9%	7	3.4%	0.0%	5.5%	28	11.1%	0.0%	13.2%
九州 (沖縄除く)	22	7.2%	0.0%	8.0%	6	2.9%	2.6%	3.1%	18	7.1%	0.0%	8.5%
沖縄県	0	0.0%			1	0.5%	0.0%	0.8%	2	0.8%	0.0%	0.9%
海外	0	0.0%			1	0.5%	1.3%	0.0%	1	0.4%	0.0%	0.5%
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。												
中心市街地	93	30.4%	43.8%	28.8%	98	47.8%	57.7%	41.7% *	78	30.8%	61.0%	25.0% **
郊外住宅地	188	61.4%	43.8%	63.5%	91	44.4%	39.7%	47.2%	162	64.0%	34.1%	69.8%
農村地域・漁村地域	19	6.2%	12.5%	5.5%	13	6.3%	2.6%	8.7%	9	3.6%	2.4%	3.8%
山間部	6	2.0%	0.0%	2.2%	3	1.5%	0.0%	2.4%	4	1.6%	2.4%	1.4%
離島	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
あなたは、現在だけかと一緒に暮らしていますか。												
はい	155	50.7%	46.9%	51.1%	99	48.3%	43.6%	51.2%	127	50.2%	41.5%	51.9%
いいえ (一人暮らし)	151	49.3%	53.1%	48.9%	106	51.7%	56.4%	48.8%	126	49.8%	58.5%	48.1%
定住している家はない	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
あなたの最終学歴を教えてください。												
中学校	2	0.7%	0.0%	0.7% *	6	2.9%	5.1%	1.6% **	8	3.2%	19.5%	0.0% **
高等学校	95	31.0%	40.6%	29.9%	46	22.4%	10.3%	29.9%	74	29.2%	9.8%	33.0%
短大・高専	14	4.6%	6.3%	4.4%	13	6.3%	1.3%	9.4%	13	5.1%	4.9%	5.2%
専門学校	77	25.2%	15.6%	26.3%	29	14.1%	7.7%	18.1%	75	29.6%	26.8%	30.2%
大学	103	33.7%	21.9%	35.0%	81	39.5%	55.1%	29.9%	73	28.9%	22.0%	30.2%
大学院	14	4.6%	12.5%	3.6%	29	14.1%	19.2%	11.0%	10	4.0%	17.1%	1.4%
その他	1	0.3%	3.1%	0.0%	1	0.5%	1.3%	0.0%	0	0.0%		
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか。												
常勤 (正規雇用)	175	57.2%	53.1%	57.7%	87	42.4%	41.0%	43.3% *	124	49.0%	36.6%	51.4% **
常勤 (非正規雇用)	64	20.9%	9.4%	22.3%	26	12.7%	7.7%	15.7%	59	23.3%	7.3%	26.4%
パートタイマー	17	5.6%	3.1%	5.8%	9	4.4%	5.1%	3.9%	23	9.1%	22.0%	6.6%
アルバイト	20	6.5%	18.8%	5.1%	35	17.1%	17.9%	16.5%	23	9.1%	9.8%	9.0%
経営者	8	2.6%	3.1%	2.6%	11	5.4%	3.8%	6.3%	3	1.2%	2.4%	0.9%
その他	6	2.0%	3.1%	1.8%	14	6.8%	14.1%	2.4%	3	1.2%	7.3%	0.0%
働いていない	16	5.2%	9.4%	4.7%	23	11.2%	10.3%	11.8%	18	7.1%	14.6%	5.7%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) ヘテロセクシュアルと回答した人を除いて集計したため、総数は異なる。

表 2.1-2 GCQ2023 配布基点別分析 年収・この 1 年間の暮らしの状況・過去 6 ヶ月間の利用施設
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
この 1 年間の年収(税込みの総額)は、およそどのくらいですか？												
100 万円未満	31	10.1%	6.3%	10.6% *	46	22.4%	29.5%	18.1%	26	10.3%	31.7%	6.1% **
100 万円～200 万円未満	26	8.5%	18.8%	7.3%	37	18.0%	14.1%	20.5%	41	16.2%	29.3%	13.7%
200 万円～300 万円未満	66	21.6%	37.5%	19.7%	36	17.6%	15.4%	18.9%	57	22.5%	17.1%	23.6%
300 万円～400 万円未満	119	38.9%	18.8%	41.2%	27	13.2%	11.5%	14.2%	97	38.3%	9.8%	43.9%
400 万円～500 万円未満	40	13.1%	6.3%	13.9%	22	10.7%	9.0%	11.8%	17	6.7%	0.0%	8.0%
500 万円～600 万円未満	10	3.3%	3.1%	3.3%	16	7.8%	10.3%	6.3%	9	3.6%	2.4%	3.8%
600 万円～700 万円未満	8	2.6%	6.3%	2.2%	7	3.4%	2.6%	3.9%	3	1.2%	4.9%	0.5%
700 万円～800 万円未満	5	1.6%	3.1%	1.5%	3	1.5%	2.6%	0.8%	0	0.0%		
800 万円～900 万円未満	1	0.3%	0.0%	0.4%	3	1.5%	1.3%	1.6%	0	0.0%		
900 万円～1000 万円未満	0	0.0%			0	0.0%			2	0.8%	4.9%	0.0%
1000 万円以上	0	0.0%			8	3.9%	3.8%	3.9%	1	0.4%	0.0%	0.5%
現在、生活費はどのようにまかっていますか。(複数回答)												
就労による収入	286	93.5%	84.4%	94.5% *	167	81.5%	74.4%	85.8% *	224	88.5%	63.4%	93.4% **
生活保護	1	0.3%	3.1%	0.0% **	7	3.4%	3.8%	3.1%	7	2.8%	14.6%	0.5% **
児童扶養手当	1	0.3%	0.0%	0.4%	1	0.5%	1.3%	0.0%	0	0.0%		
失業手当	2	0.7%	0.0%	0.7%	1	0.5%	1.3%	0.0%	4	1.6%	0.0%	1.9%
年金	9	2.9%	12.5%	1.8% **	10	4.9%	7.7%	3.1%	8	3.2%	12.2%	1.4% **
貯蓄の切り崩し	33	10.8%	9.4%	10.9%	20	9.8%	3.8%	13.4% *	27	10.7%	7.3%	11.3%
子どもの親から送られる養育費	0	0.0%			3	1.5%	2.6%	0.8%	2	0.8%	0.0%	0.9%
実家、親族等からの援助	55	18.0%	15.6%	18.2%	43	21.0%	25.6%	18.1%	49	19.4%	26.8%	17.9%
その他	1	0.3%	0.0%	0.4%	6	2.9%	3.8%	2.4%	3	1.2%	2.4%	0.9%
この 1 年間、普段の生活において経済的なことや生活で困ることがありましたか。												
ない	156	51.0%	62.5%	49.6% **	105	51.2%	66.7%	41.7% *	117	46.2%	48.8%	45.8% **
1 回あった	26	8.5%	12.5%	8.0%	15	7.3%	6.4%	7.9%	16	6.3%	0.0%	7.5%
2 回～3 回あった	93	30.4%	6.3%	33.2%	40	19.5%	11.5%	24.4%	79	31.2%	12.2%	34.9%
4 回～5 回あった	20	6.5%	6.3%	6.6%	23	11.2%	5.1%	15.0%	19	7.5%	2.4%	8.5%
6 回以上あった	11	3.6%	12.5%	2.6%	22	10.7%	10.3%	11.0%	22	8.7%	36.6%	3.3%
この 1 年間、医療費の支払いに不安を感じたことがありましたか。												
ない	189	61.8%	75.0%	60.2% *	124	60.5%	78.2%	49.6% **	137	54.2%	63.4%	52.4% **
1 回あった	28	9.2%	9.4%	9.1%	20	9.8%	5.1%	12.6%	28	11.1%	4.9%	12.3%
2 回～3 回あった	71	23.2%	9.4%	24.8%	42	20.5%	12.8%	25.2%	65	25.7%	9.8%	28.8%
4 回～5 回あった	14	4.6%	0.0%	5.1%	11	5.4%	0.0%	8.7%	13	5.1%	2.4%	5.7%
6 回以上あった	4	1.3%	6.3%	0.7%	8	3.9%	3.8%	3.9%	10	4.0%	19.5%	0.9%
この 1 年間、給与や年金の支給前に、暮らしに困ることがありましたか。												
ない	169	55.2%	68.8%	53.6%	116	56.6%	76.9%	44.1% **	124	49.0%	56.1%	47.6% **
1 回あった	25	8.2%	6.3%	8.4%	22	10.7%	2.6%	15.7%	24	9.5%	4.9%	10.4%
2 回～3 回あった	85	27.8%	12.5%	29.6%	39	19.0%	11.5%	23.6%	77	30.4%	12.2%	34.0%
4 回～5 回あった	17	5.6%	6.3%	5.5%	18	8.8%	3.8%	11.8%	14	5.5%	0.0%	6.6%
6 回以上あった	10	3.3%	6.3%	2.9%	10	4.9%	5.1%	4.7%	14	5.5%	26.8%	1.4%
この 1 年間、家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったことがありましたか。												
ない	153	50.0%	68.8%	47.8% **	107	52.2%	70.5%	40.9% **	120	47.4%	56.1%	45.8% **
1 回あった	30	9.8%	6.3%	10.2%	27	13.2%	9.0%	15.7%	26	10.3%	2.4%	11.8%
2 回～3 回あった	95	31.0%	6.3%	33.9%	37	18.0%	11.5%	22.0%	76	30.0%	17.1%	32.5%
4 回～5 回あった	17	5.6%	6.3%	5.5%	21	10.2%	3.8%	14.2%	20	7.9%	4.9%	8.5%
6 回以上あった	11	3.6%	12.5%	2.6%	13	6.3%	5.1%	7.1%	11	4.3%	19.5%	1.4%

次頁へ続く

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
この 1 年間、食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かや自分自身が空腹な思いをしたことがありましたか。												
ない	196	64.1%	90.6%	60.9% *	126	61.5%	87.2%	45.7% **	149	58.9%	78.0%	55.2% **
1 回あった	16	5.2%	0.0%	5.8%	18	8.8%	2.6%	12.6%	18	7.1%	0.0%	8.5%
2 回 ~ 3 回あった	69	22.5%	3.1%	24.8%	34	16.6%	3.8%	24.4%	58	22.9%	2.4%	26.9%
4 回 ~ 5 回あった	21	6.9%	6.3%	6.9%	18	8.8%	2.6%	12.6%	14	5.5%	2.4%	6.1%
6 回以上あった	4	1.3%	0.0%	1.5%	9	4.4%	3.8%	4.7%	14	5.5%	17.1%	3.3%
この 1 年間、経済的な理由で衣類購入を控えたことがありましたか。												
ない	167	54.6%	59.4%	54.0%	93	45.4%	57.7%	37.8% *	122	48.2%	41.5%	49.5% **
1 回あった	22	7.2%	9.4%	6.9%	19	9.3%	9.0%	9.4%	11	4.3%	7.3%	3.8%
2 回 ~ 3 回あった	71	23.2%	12.5%	24.5%	55	26.8%	23.1%	29.1%	71	28.1%	19.5%	29.7%
4 回 ~ 5 回あった	32	10.5%	12.5%	10.2%	20	9.8%	2.6%	14.2%	33	13.0%	9.8%	13.7%
6 回以上あった	14	4.6%	6.3%	4.4%	18	8.8%	7.7%	9.4%	16	6.3%	22.0%	3.3%
K6(平均 8.0 ± 5.1、0 点 -24 点)												
0 点 -4 点	58	19.0%	62.5%	13.9% **	48	23.4%	35.9%	15.7% *	40	15.8%	26.8%	13.7% **
5 点 -9 点	190	62.1%	18.8%	67.2%	64	31.2%	29.5%	32.3%	142	56.1%	31.7%	60.8%
10 点 -12 点	28	9.2%	9.4%	9.1%	45	22.0%	15.4%	26.0%	35	13.8%	12.2%	14.2%
13 点以上	30	9.8%	9.4%	9.9%	48	23.4%	19.2%	26.0%	36	14.2%	29.3%	11.3%
過去 6 ヶ月間に、以下のゲイ向けの施設やサービスを利用しましたか。												
ゲイバー	73	23.9%	59.4%	19.7% **	90	43.9%	56.4%	36.2% **	49	19.4%	22.0%	18.9%
ゲイイベント	30	9.8%	37.5%	6.6% **	36	17.6%	24.4%	13.4% *	21	8.3%	19.5%	6.1% **
ゲイショップ	23	7.5%	28.1%	5.1% **	37	18.0%	16.7%	18.9%	15	5.9%	4.9%	6.1%
有料のハッテン場	40	13.1%	56.3%	8.0% **	40	19.5%	29.5%	13.4% **	10	4.0%	9.8%	2.8% *
野外のハッテン場	14	4.6%	28.1%	1.8% **	10	4.9%	1.3%	7.1%	3	1.2%	2.4%	0.9%
いずれもない	195	63.7%	6.3%	70.4% **	82	40.0%	35.9%	42.5%	180	71.1%	63.4%	72.6%
過去 6 ヶ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下の SNS や掲示板を利用しましたか。												
X (旧 Twitter)	126	41.2%	43.8%	40.9%	70	34.1%	23.1%	40.9% *	73	28.9%	9.8%	32.5% **
Instagram	68	22.2%	6.3%	24.1% *	35	17.1%	14.1%	18.9%	66	26.1%	7.3%	29.7% **
VERO	24	7.8%	18.8%	6.6% *	9	4.4%	1.3%	6.3%	9	3.6%	0.0%	4.2%
9monsters	66	21.6%	78.1%	15.0% **	66	32.2%	47.4%	22.8% **	31	12.3%	26.8%	9.4% **
Blued	10	3.3%	3.1%	3.3%	6	2.9%	1.3%	3.9%	12	4.7%	0.0%	5.7%
Men's Net Japan	13	4.2%	18.8%	2.6% **	21	10.2%	11.5%	9.4%	6	2.4%	4.9%	1.9%
KO - MENS'TV	10	3.3%	18.8%	1.5% **	4	2.0%	0.0%	3.1%	4	1.6%	0.0%	1.9%
爆サイ	47	15.4%	21.9%	14.6%	20	9.8%	3.8%	13.4% *	20	7.9%	2.4%	9.0%
SHIKOKU GAY WALKER	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
沖縄ゲイ情報裏掲示板	1	0.3%	0.0%	0.4%	1	0.5%	0.0%	0.8%	2	0.8%	0.0%	0.9%
AMBIRD	8	2.6%	12.5%	1.5% **	9	4.4%	6.4%	3.1%	15	5.9%	19.5%	3.3% **
その他	3	1.0%	0.0%	1.1%	9	4.4%	6.4%	3.1%	2	0.8%	2.4%	0.5%
SNS や掲示板は利用していない	116	37.9%	15.6%	40.5% *	58	28.3%	33.3%	25.2%	110	43.5%	61.0%	40.1% *
各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01												

表 2.1-3 GCQ2023 配布基点別分析 過去 6 ヶ月間の対話経験・U=U の認知・HIV 感染の身近さ、HIV 抗体検査受検経験
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=306					東京 (akta) n=205					横浜 (SHIP) n=253				
			対面 WEB					対面 WEB					対面 WEB		
	n	%	n=32	n=274		n	%	n=78	n=127		n	%	n=41	n=212	
過去 6 ヶ月間に、両親や兄弟姉妹と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	4	1.3%	3.1%	1.1%		10	4.9%	9.0%	2.4%	**	2	0.8%	4.9%	0.0%	**
ない	276	90.2%	81.3%	91.2%		168	82.0%	66.7%	91.3%		238	94.1%	70.7%	98.6%	
いない	26	8.5%	15.6%	7.7%		27	13.2%	24.4%	6.3%		13	5.1%	24.4%	1.4%	
過去 6 ヶ月間に、恋人や大切な人と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	17	5.6%	18.8%	4.0%	**	42	20.5%	35.9%	11.0%	**	10	4.0%	14.6%	1.9%	**
ない	212	69.3%	59.4%	70.4%		99	48.3%	32.1%	58.3%		175	69.2%	48.8%	73.1%	
いない	77	25.2%	21.9%	25.5%		64	31.2%	32.1%	30.7%		68	26.9%	36.6%	25.0%	
過去 6 ヶ月間に、友達や知り合いと HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	35	11.4%	50.0%	6.9%	**	61	29.8%	51.3%	16.5%	**	17	6.7%	26.8%	2.8%	**
ない	252	82.4%	43.8%	86.9%		127	62.0%	33.3%	79.5%		225	88.9%	58.5%	94.8%	
いない	19	6.2%	6.3%	6.2%		17	8.3%	15.4%	3.9%		11	4.3%	14.6%	2.4%	
過去 6 ヶ月間に、過去 6 ヶ月間にセックスした相手と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	33	10.8%	50.0%	6.2%	**	33	16.1%	28.2%	8.7%	**	16	6.3%	22.0%	3.3%	**
ない	144	47.1%	37.5%	48.2%		103	50.2%	43.6%	54.3%		127	50.2%	41.5%	51.9%	
いない	129	42.2%	12.5%	45.6%		69	33.7%	28.2%	37.0%		110	43.5%	36.6%	44.8%	
「U = U」のことを、あなたは知っていましたか。															
よく知っている	27	8.8%	21.9%	7.3%	**	52	25.4%	38.5%	17.3%	**	15	5.9%	22.0%	2.8%	**
少し知っている	66	21.6%	56.3%	17.5%		51	24.9%	26.9%	23.6%		38	15.0%	17.1%	14.6%	
あまり知らない	101	33.0%	12.5%	35.4%		24	11.7%	14.1%	10.2%		87	34.4%	26.8%	35.8%	
全く知らない	112	36.6%	9.4%	39.8%		78	38.0%	20.5%	48.8%		113	44.7%	34.1%	46.7%	
友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか。															
いる	32	10.5%	40.6%	6.9%	**	41	20.0%	32.1%	12.6%	**	14	5.5%	22.0%	2.4%	**
いると思う	42	13.7%	15.6%	13.5%		56	27.3%	14.1%	35.4%		35	13.8%	12.2%	14.2%	
いないと思う	97	31.7%	12.5%	33.9%		42	20.5%	16.7%	22.8%		88	34.8%	12.2%	39.2%	
いない	47	15.4%	6.3%	16.4%		21	10.2%	3.8%	14.2%		46	18.2%	22.0%	17.5%	
わからない	88	28.8%	25.0%	29.2%		45	22.0%	33.3%	15.0%		70	27.7%	31.7%	26.9%	
これまでに HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。															
ある	145	47.4%	78.1%	43.8%	**	105	51.2%	60.3%	45.7%	*	95	37.5%	31.7%	38.7%	
ない	161	52.6%	21.9%	56.2%		100	48.8%	39.7%	54.3%		158	62.5%	68.3%	61.3%	
これまでに受けた、HIV 抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。(複数回答) ¹⁾															
保健所の即日検査	56	38.6%	68.0%	32.5%	**	51	48.6%	46.8%	50.0%		27	28.4%	46.2%	25.6%	
保健所の夜間検査	21	14.5%	12.0%	15.0%		2	1.9%	2.1%	1.7%		12	12.6%	7.7%	13.4%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	6	4.1%	12.0%	2.5%	*	18	17.1%	19.1%	15.5%		3	3.2%	7.7%	2.4%	
病院	26	17.9%	16.0%	18.3%		23	21.9%	25.5%	19.0%		11	11.6%	7.7%	12.2%	
クリニック・医院・診療所	44	30.3%	24.0%	31.7%		33	31.4%	38.3%	25.9%		30	31.6%	0.0%	36.6%	*
郵送検査	48	33.1%	20.0%	35.8%		16	15.2%	14.9%	15.5%		28	29.5%	23.1%	30.5%	
新宿や大阪にある公的な検査機関	15	10.3%	16.0%	9.2%		25	23.8%	21.3%	25.9%		10	10.5%	15.4%	9.8%	
その他	0	0.0%				2	1.9%	0.0%	3.4%		3	3.2%	15.4%	1.2%	*
過去 1 年間に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。															
ある	51	16.7%	56.3%	12.0%	**	54	26.3%	39.7%	18.1%	**	24	9.5%	17.1%	8.0%	
ない	255	83.3%	43.8%	88.0%		151	73.7%	60.3%	81.9%		229	90.5%	82.9%	92.0%	

次頁へ続く

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けなかった理由はどれにあてはまりますか。(複数回答) ²⁾												
HIV に感染する行為はしていないから	18	11.2%	14.3%	11.0%	24	24.0%	45.2%	14.5% **	25	15.8%	46.4%	9.2% **
HIV に感染している可能性がないから	17	10.6%	28.6%	9.7%	15	15.0%	29.0%	8.7% *	11	7.0%	14.3%	5.4%
結果を知るのが怖いから	19	11.8%	42.9%	10.4% *	9	9.0%	3.2%	11.6%	13	8.2%	3.6%	9.2%
あいまいなままにしておきたいから	7	4.3%	0.0%	4.5%	5	5.0%	3.2%	5.8%	11	7.0%	3.6%	7.7%
感染していることがわかってもしリットがないから	14	8.7%	0.0%	9.1%	4	4.0%	0.0%	5.8%	16	10.1%	3.6%	11.5%
新型コロナウイルスの感染のため、利用を控えたから	8	5.0%	0.0%	5.2%	1	1.0%	3.2%	0.0%	4	2.5%	3.6%	2.3%
どこで検査を受けたら良いかわからないから	14	8.7%	14.3%	8.4%	8	8.0%	12.9%	5.8%	14	8.9%	10.7%	8.5%
保健所や検査場所が休止になったから	0	0.0%			1	1.0%	0.0%	1.4%	0	0.0%		
保健所や検査場所の都合で断られたから	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
検査場所で知り合いに会う可能性があるから	5	3.1%	0.0%	3.2%	6	6.0%	0.0%	8.7%	4	2.5%	0.0%	3.1%
機会(時間や場所など)がなかったから	72	44.7%	28.6%	45.5%	18	18.0%	12.9%	20.3%	56	35.4%	7.1%	41.5% **
HIV に感染しているのではないかと疑われるから	26	16.1%	0.0%	16.9%	9	9.0%	0.0%	13.0% *	17	10.8%	0.0%	13.1% *
ゲイ・バイセクシュアルであると説明するのが面倒だから	51	31.7%	14.3%	32.5%	7	7.0%	3.2%	8.7%	51	32.3%	0.0%	39.2% **
お金がかかるから	24	14.9%	0.0%	15.6%	11	11.0%	6.5%	13.0%	24	15.2%	14.3%	15.4%
その他	0	0.0%			0	0.0%			2	1.3%	7.1%	0.0% **
定期的に、HIV 検査を受けていますか。												
定期的に受けていない	229	74.8%	40.6%	78.8% **	122	59.5%	42.3%	70.1% **	203	80.2%	68.3%	82.5% **
3 ヶ月に 1 回以上は受けている	4	1.3%	6.3%	0.7%	19	9.3%	12.8%	7.1%	2	0.8%	4.9%	0.0%
6 ヶ月に 1 回は受けている	7	2.3%	12.5%	1.1%	12	5.9%	7.7%	4.7%	0	0.0%		
1 年に 1 回は受けている	23	7.5%	34.4%	4.4%	19	9.3%	16.7%	4.7%	10	4.0%	7.3%	3.3%
感染リスクのある行為の後に受けている	40	13.1%	6.3%	13.9%	25	12.2%	14.1%	11.0%	37	14.6%	17.1%	14.2%
その他	3	1.0%	0.0%	1.1%	8	3.9%	6.4%	2.4%	1	0.4%	2.4%	0.0%
いずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。(複数回答)												
A 型肝炎	11	3.6%	3.1%	3.6%	14	6.8%	7.7%	6.3%	11	4.3%	9.8%	3.3%
B 型肝炎	22	7.2%	15.6%	6.2%	30	14.6%	11.5%	16.5%	12	4.7%	12.2%	3.3% *
HPV (ヒトパピローマウィルス)	1	0.3%	0.0%	0.4%	14	6.8%	11.5%	3.9% *	3	1.2%	2.4%	0.9%
いずれもない	278	90.8%	84.4%	91.6%	164	80.0%	80.8%	79.5%	231	91.3%	85.4%	92.5%
これまでに、精神科や心療内科を受診したことはありますか。												
ある	79	25.8%	43.8%	23.7% *	113	55.1%	59.0%	52.8%	82	32.4%	68.3%	25.5% **
ない	227	74.2%	56.3%	76.3%	92	44.9%	41.0%	47.2%	171	67.6%	31.7%	74.5%
過去 1 年間に、精神科や心療内科を受診したことはありますか。												
ある	39	12.7%	21.9%	11.7%	68	33.2%	39.7%	29.1%	51	20.2%	48.8%	14.6% **
ない	267	87.3%	78.1%	88.3%	137	66.8%	60.3%	70.9%	202	79.8%	51.2%	85.4%
これまでに、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。												
ある	12	3.9%	9.4%	3.3%	14	6.8%	9.0%	5.5%	10	4.0%	17.1%	1.4% **
ない	294	96.1%	90.6%	96.7%	191	93.2%	91.0%	94.5%	243	96.0%	82.9%	98.6%
過去 1 年間に、医療機関で医療職者から、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。												
ある	5	1.6%	3.1%	1.5%	4	2.0%	2.6%	1.6%	2	0.8%	4.9%	0.0% **
ない	301	98.4%	96.9%	98.5%	201	98.0%	97.4%	98.4%	251	99.2%	95.1%	100%
過去 6 ヶ月間に男性とセックスをしたことがありますか。												
ある	127	41.5%	78.1%	37.2% **	123	60.0%	65.4%	56.7%	96	37.9%	26.8%	40.1%
ない	179	58.5%	21.9%	62.8%	82	40.0%	34.6%	43.3%	157	62.1%	73.2%	59.9%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) これまでに HIV 検査を受検したことがある人を対象として集計したため総数は異なる。

2) これまでに HIV 検査を受検したことがないと回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.1-4 GCQ2023 配布基点別分析 性行動①
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=127				東京 (akta) n=123				横浜 (SHIP) n=96			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=25	n=102	n	%	n=51	n=73	n	%	n=11	n=85
過去 6ヵ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。												
ある	79	62.2%	84.0%	56.9% *	85	69.1%	68.6%	69.4%	45	46.9%	45.5%	47.1%
ない	48	37.8%	16.0%	43.1%	38	30.9%	31.4%	30.6%	51	53.1%	54.5%	52.9%
過去 6ヵ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。												
ある	39	30.7%	64.0%	22.5% **	48	39.0%	52.9%	29.2% *	17	17.7%	45.5%	14.1% *
ない	88	69.3%	36.0%	77.5%	75	61.0%	47.1%	70.8%	79	82.3%	54.5%	85.9%
過去 6ヵ月間に、複数人(3人以上)で同時にセックスをしたことがありますか。												
ある	28	22.0%	40.0%	17.6% *	41	33.3%	37.3%	30.6%	13	13.5%	0.0%	15.3%
ない	99	78.0%	60.0%	82.4%	82	66.7%	62.7%	69.4%	83	86.5%	100%	84.7%
過去 6ヵ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身の HIV ステイタスを話しましたか。												
ほぼ全員に伝えた、あるいはすでに知っていた	20	15.7%	24.0%	13.7% *	17	13.8%	23.5%	6.9% *	25	26.0%	27.3%	25.9% **
一部に伝えた、あるいはすでに知っていた	12	9.4%	24.0%	5.9%	11	8.9%	11.8%	6.9%	6	6.3%	27.3%	3.5%
誰にも伝えなかった	47	37.0%	20.0%	41.2%	60	48.8%	37.3%	56.9%	29	30.2%	9.1%	32.9%
覚えていない	23	18.1%	12.0%	19.6%	14	11.4%	5.9%	15.3%	30	31.3%	9.1%	34.1%
自分自身の HIV ステイタスを知らない	25	19.7%	20.0%	19.6%	21	17.1%	21.6%	13.9%	6	6.3%	27.3%	3.5%
過去 6ヵ月間に男性とセックスしたとき、その相手の HIV ステイタスを知っていましたか。												
ほぼすべての相手が HIV 陰性であった	49	38.6%	52.0%	35.3%	31	25.2%	31.4%	20.8%	46	47.9%	36.4%	49.4%
一部の相手が HIV 陽性であった	4	3.1%	4.0%	2.9%	4	3.3%	3.9%	2.8%	0	0.0%		
ほぼすべての相手が HIV 陽性であった	0	0.0%			0	0.0%			1	1.0%	0.0%	1.2%
相手が HIV 陽性が陰性がまったくわからない	74	58.3%	44.0%	61.8%	88	71.5%	64.7%	76.4%	49	51.0%	63.6%	49.4%
過去 6ヵ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。												
ある	9	7.1%	4.0%	7.8%	20	16.3%	7.8%	22.2% *	12	12.5%	0.0%	14.1%
ない	118	92.9%	96.0%	92.2%	103	83.7%	92.2%	77.8%	84	87.5%	100%	85.9%
過去 6ヵ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。												
ある	12	9.4%	0.0%	11.8%	15	12.2%	7.8%	15.3%	11	11.5%	0.0%	12.9%
ない	115	90.6%	100%	88.2%	108	87.8%	92.2%	84.7%	85	88.5%	100%	87.1%
過去 6ヵ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。												
ある	102	80.3%	64.0%	84.3% *	92	74.8%	66.7%	80.6%	83	86.5%	45.5%	91.8% **
ない	25	19.7%	36.0%	15.7%	31	25.2%	33.3%	19.4%	13	13.5%	54.5%	8.2%
過去 6ヵ月間に、アナルセックスをした相手(複数回答) ¹⁾												
彼氏や恋人	31	30.4%	12.5%	33.7%	25	27.2%	32.4%	24.1%	22	26.5%	20.0%	26.9%
友達やセクフレ	53	52.0%	68.8%	48.8%	40	43.5%	61.8%	32.8% *	37	44.6%	60.0%	43.6%
その場限りの相手	50	49.0%	68.8%	45.3%	58	63.0%	61.8%	63.8%	37	44.6%	60.0%	43.6%
その他	0	0.0%			1	1.1%	0.0%	1.7%	0	0.0%		

次頁へ続く

前頁の続き(表 2.1-4)

	東北 (ZEL) n=127				東京 (akta) n=123				横浜 (SHIP) n=96			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=25	n=102	n	%	n=51	n=73	n	%	n=11	n=85
過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ²⁾												
常用	6	19.4%	0.0%	20.7%	2	8.0%	18.2%	0.0%	4	18.2%	100%	14.3% *
非常用	25	80.6%	100%	79.3%	23	92.0%	81.8%	100%	18	81.8%	0.0%	85.7%
過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックス時のコンドーム使用状況 ³⁾												
常用	11	20.8%	36.4%	16.7%	9	22.5%	23.8%	21.1%	6	16.2%	0.0%	17.6%
非常用	42	79.2%	63.6%	83.3%	31	77.5%	76.2%	78.9%	31	83.8%	100%	82.4%
過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ⁴⁾												
常用	19	38.0%	36.4%	38.5%	9	15.5%	19.0%	13.5%	2	5.4%	0.0%	5.9%
非常用	31	62.0%	63.6%	61.5%	49	84.5%	81.0%	86.5%	35	94.6%	100%	94.1%
過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況 ¹⁾												
常用	23	22.5%	31.3%	20.9%	15	16.3%	20.6%	13.8%	11	13.3%	20.0%	12.8%
非常用	79	77.5%	68.8%	79.1%	77	83.7%	79.4%	86.2%	72	86.7%	80.0%	87.2%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

- 1) 過去 6 ヶ月間に男性とアナルセックスがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。
- 2) 過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。
- 3) 過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。
- 4) 過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。

表 2.1-5 GCQ2023 配布基点別分析 性行動② PrEP に関する知識・意識・使用経験、性感染症既往
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
過去 6 か月間に、コンドームを身近に持っていましたか。												
いつも身近に持っていた／すぐ使える場所に置いていた	82	26.8%	59.4%	23.0% **	49	23.9%	29.5%	20.5%	53	20.9%	22.0%	20.8%
時々は身近に持っていた	75	24.5%	15.6%	25.5%	61	29.8%	34.6%	26.8%	64	25.3%	19.5%	26.4%
まったく身近にはなかった	149	48.7%	25.0%	51.5%	95	46.3%	35.9%	52.8%	136	53.8%	58.5%	52.8%
コンドームを使わないあるいは使えないと思う理由はどれにあてはまりますか。(複数回答)												
コンドームの使い方を知らないから	1	0.3%	0.0%	0.4%	4	2.0%	5.1%	0.0% *	4	1.6%	7.3%	0.5% **
コンドームを使ったことがないから	1	0.3%	0.0%	0.4%	5	2.4%	6.4%	0.0% **	7	2.8%	14.6%	0.5% **
コンドームを使うのがめんどうだと思ふから	27	8.8%	3.1%	9.5%	32	15.6%	23.1%	11.0% *	27	10.7%	2.4%	12.3%
コンドームをつけない方が体感があるから	24	7.8%	12.5%	7.3%	25	12.2%	11.5%	12.6%	23	9.1%	7.3%	9.4%
コンドームをつけない方が気持ちよいから	37	12.1%	21.9%	10.9%	47	22.9%	24.4%	22.0%	32	12.6%	17.1%	11.8%
コンドームを使うとイケないから	13	4.2%	18.8%	2.6% **	14	6.8%	2.6%	9.4%	11	4.3%	7.3%	3.8%
タイプのひととできるならコンドームをつけなくてもいいと思う	27	8.8%	6.3%	9.1%	11	5.4%	5.1%	5.5%	13	5.1%	2.4%	5.7%
今まで大丈夫だったから、今後もきっと大丈夫だと思う	24	7.8%	3.1%	8.4%	12	5.9%	2.6%	7.9%	17	6.7%	0.0%	8.0%
相手につけてって言えないから	29	9.5%	3.1%	10.2%	16	7.8%	5.1%	9.4%	22	8.7%	4.9%	9.4%
相手は特定のひとと決めているから	25	8.2%	3.1%	8.8%	7	3.4%	2.6%	3.9%	17	6.7%	4.9%	7.1%
PrEP を服用しているから	10	3.3%	18.8%	1.5% **	13	6.3%	11.5%	3.1% *	1	0.4%	0.0%	0.5%
定期的に検査しているから	12	3.9%	21.9%	1.8% **	18	8.8%	11.5%	7.1%	2	0.8%	0.0%	0.9%
HIV に感染しても治療方法があるから	1	0.3%	0.0%	0.4%	2	1.0%	2.6%	0.0%	1	0.4%	0.0%	0.5%
HIV 陽性で、治療を継続しているから	4	1.3%	6.3%	0.7% *	8	3.9%	3.8%	3.9%	0	0.0%		
相手次第で、どちらでもよい	98	32.0%	15.6%	33.9% *	35	17.1%	9.0%	22.0% *	64	25.3%	2.4%	29.7% **
その他	2	0.7%	0.0%	0.7%	9	4.4%	9.0%	1.6% *	7	2.8%	9.8%	1.4% **
セックス / アナルセックスはしないから	35	11.4%	21.9%	10.2% *	27	13.2%	17.9%	10.2%	35	13.8%	26.8%	11.3% *
必ず使う	56	18.3%	25.0%	17.5%	40	19.5%	26.9%	15.0% *	49	19.4%	29.3%	17.5%
過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするとき同時に使用したものはありますか。(複数回答)												
うがい薬	41	13.4%	43.8%	9.9% **	43	21.0%	28.2%	16.5% *	28	11.1%	9.8%	11.3%
水溶性ローション(潤滑剤)	73	23.9%	50.0%	20.8% **	52	25.4%	37.2%	18.1% **	48	19.0%	14.6%	19.8%
ぼっき薬(バイアグラなど)	44	14.4%	34.4%	12.0% **	27	13.2%	12.8%	13.4%	29	11.5%	7.3%	12.3%
ラッシュ	1	0.3%	0.0%	0.4%	4	2.0%	2.6%	1.6%	2	0.8%	2.4%	0.5%
5MEO-DIPT	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
MDMA	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
GHB	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
覚せい剤	1	0.3%	0.0%	0.4%	0	0.0%			1	0.4%	2.4%	0.0% *
大麻	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
ヘロイン	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
コカイン	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
その他のセックスドラッグや危険ドラッグ・合成ドラッグ	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
いずれも使用していない	204	66.7%	28.1%	71.2% **	121	59.0%	51.3%	63.8%	179	70.8%	75.6%	69.8%
(再掲) 過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするときの薬物使用												
使用していない	262	85.6%	65.6%	88.0% **	175	85.4%	85.9%	85.0%	221	87.4%	87.8%	87.3% *
ぼっき薬のみ	42	13.7%	34.4%	11.3%	26	12.7%	11.5%	13.4%	29	11.5%	7.3%	12.3%
薬物併用	2	0.7%	0.0%	0.7%	4	2.0%	2.6%	1.6%	3	1.2%	4.9%	0.5%

次頁へ続く

	東北 (ZEL) n=306					東京 (akta) n=205					横浜 (SHIP) n=253				
			対面		WEB			対面		WEB			対面		WEB
	n	%	n=32	n=274		n	%	n=78	n=127		n	%	n=41	n=212	
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) を知っていますか。															
とてもよく知っている	24	7.8%	31.3%	5.1%	**	52	25.4%	34.6%	19.7%	**	17	6.7%	14.6%	5.2%	*
具体的には知らないが、聞いたことはある	76	24.8%	59.4%	20.8%		66	32.2%	43.6%	25.2%		43	17.0%	26.8%	15.1%	
まったく知らない	206	67.3%	9.4%	74.1%		87	42.4%	21.8%	55.1%		193	76.3%	58.5%	79.7%	
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたいと思いますか。															
服薬したい	30	9.8%	25.0%	8.0%	**	23	11.2%	20.5%	5.5%	**	22	8.7%	9.8%	8.5%	
どちらかといえば、服薬したい	71	23.2%	40.6%	21.2%		48	23.4%	29.5%	19.7%		47	18.6%	29.3%	16.5%	
どちらかといえば、服薬したくない	60	19.6%	9.4%	20.8%		47	22.9%	20.5%	24.4%		62	24.5%	19.5%	25.5%	
服薬したくない	138	45.1%	18.8%	48.2%		71	34.6%	19.2%	44.1%		121	47.8%	41.5%	49.1%	
現在、治療で抗 HIV 薬の服薬治療を続けている	7	2.3%	6.3%	1.8%		16	7.8%	10.3%	6.3%		1	0.4%	0.0%	0.5%	
過去 6 か月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがありますか。															
ある	12	3.9%	15.6%	2.6%	**	14	6.8%	11.5%	3.9%		3	1.2%	0.0%	1.4%	
ない	287	93.8%	78.1%	95.6%		175	85.4%	78.2%	89.8%		249	98.4%	100%	98.1%	
現在、治療で抗 HIV 薬の服薬治療を続けている	7	2.3%	6.3%	1.8%		16	7.8%	10.3%	6.3%		1	0.4%	0.0%	0.5%	
PrEP の薬はどこで入手していますか / していましたか？ ¹⁾															
インターネットで購入	7	58.3%	60.0%	57.1%		7	50.0%	55.6%	40.0%		1	33.3%		33.3%	
友人から譲渡・購入	2	16.7%	20.0%	14.3%		1	7.1%	0.0%	20.0%		1	33.3%		33.3%	
海外の医療機関	1	8.3%	0.0%	14.3%		2	14.3%	22.2%	0.0%		0	0.0%			
海外の NGO/NPO	0	0.0%				0	0.0%				0	0.0%			
国内の医療機関	2	16.7%	20.0%	14.3%		4	28.6%	22.2%	40.0%		1	33.3%		33.3%	
PrEP をするさいに、定期的な医師の診察は受けていますか。 ¹⁾															
定期的に受けている／受けていた	4	33.3%	20.0%	42.9%		7	50.0%	55.6%	40.0%		2	66.7%		66.7%	
定期的ではないが受けている／受けていた	3	25.0%	20.0%	28.6%		2	14.3%	0.0%	40.0%		0	0.0%			
初回のみ受けている／受けていた	1	8.3%	20.0%	0.0%		1	7.1%	11.1%	0.0%		1	33.3%		33.3%	
まったく受けていない／受けていなかった	3	25.0%	40.0%	14.3%		4	28.6%	33.3%	20.0%		0	0.0%			
場所が見つからない／見つからなかった／わからない	1	8.3%	0.0%	14.3%		0	0.0%				0	0.0%			
これまでに かかったことがある性感染症															
梅毒	16	5.2%	28.1%	2.6%	**	19	9.3%	14.1%	6.3%		5	2.0%	7.3%	0.9%	*
A 型肝炎	1	0.3%	3.1%	0.0%	**	1	0.5%	1.3%	0.0%		0	0.0%			
B 型肝炎	5	1.6%	6.3%	1.1%	*	10	4.9%	7.7%	3.1%		1	0.4%	0.0%	0.5%	
C 型肝炎	2	0.7%	6.3%	0.0%	**	0	0.0%				0	0.0%			
クラミジア	97	31.7%	12.5%	33.9%	*	31	15.1%	15.4%	15.0%		81	32.0%	7.3%	36.8%	**
尖圭コンジローマ	20	6.5%	12.5%	5.8%		10	4.9%	9.0%	2.4%	*	14	5.5%	9.8%	4.7%	
淋病	20	6.5%	12.5%	5.8%		19	9.3%	10.3%	8.7%		15	5.9%	4.9%	6.1%	
HIV 感染症	7	2.3%	6.3%	1.8%		16	7.8%	10.3%	6.3%		1	0.4%	0.0%	0.5%	
赤痢アメーバ	0	0.0%				1	0.5%	1.3%	0.0%		4	1.6%	0.0%	1.9%	
毛じらみ	40	13.1%	37.5%	10.2%	**	38	18.5%	16.7%	19.7%		22	8.7%	14.6%	7.5%	
性器ヘルペス	38	12.4%	3.1%	13.5%		13	6.3%	3.8%	7.9%		25	9.9%	0.0%	11.8%	*
その他	1	0.3%	0.0%	0.4%		2	1.0%	2.6%	0.0%		1	0.4%	2.4%	0.0%	*
いずれもない	145	47.4%	50.0%	47.1%		116	56.6%	61.5%	53.5%		130	51.4%	78.0%	46.2%	**

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) 過去 6 か月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.1-6 GCQ2023 配布基点別分析 地域別分析 過去 6 ヶ月間のコミュニティセンター・啓発活動の認知
【東北 /ZEL・東京 /akta・横浜 /SHIP】

	東北 (ZEL) n=306				東京 (akta) n=205				横浜 (SHIP) n=253			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=32	n=274	n	%	n=78	n=127	n	%	n=41	n=212
次の団体を知っていますか。(複数回答)												
にじいろほっかいどう	19	6.2%	12.5%	5.5%	14	6.8%	10.3%	4.7%	6	2.4%	2.4%	2.4%
やろっこ	50	16.3%	81.3%	8.8% **	9	4.4%	9.0%	1.6% *	4	1.6%	4.9%	0.9%
NPO 法人 akta	37	12.1%	43.8%	8.4% **	103	50.2%	79.5%	32.3% **	26	10.3%	36.6%	5.2% **
NPO 法人 SHIP	18	5.9%	18.8%	4.4% **	36	17.6%	24.4%	13.4% *	43	17.0%	68.3%	7.1% **
ANGEL LIFE NAGOYA	6	2.0%	6.3%	1.5%	10	4.9%	6.4%	3.9%	4	1.6%	4.9%	0.9%
MASH 大阪	11	3.6%	9.4%	2.9%	27	13.2%	17.9%	10.2%	13	5.1%	4.9%	5.2%
HaaT えひめ / BRIDGE プロジェクト	5	1.6%	6.3%	1.1% *	13	6.3%	11.5%	3.1% *	10	4.0%	4.9%	3.8%
HACO	12	3.9%	3.1%	4.0%	18	8.8%	14.1%	5.5% *	15	5.9%	4.9%	6.1%
nankr 沖縄	11	3.6%	9.4%	2.9%	11	5.4%	11.5%	1.6% **	12	4.7%	2.4%	5.2%
いずれも知らない	214	69.9%	15.6%	76.3% **	86	42.0%	19.2%	55.9% **	183	72.3%	24.4%	81.6% **
上記の団体が啓発活動をしていることを知っていますか。(いずれか知っている n=610)												
過去 6 ヶ月間に見たことある	51	55.4%	70.4%	49.2%	65	54.6%	63.5%	44.6%	35	50.0%	58.1%	43.6% *
知っているが、過去 6 ヶ月間には見たことはない	21	22.8%	14.8%	26.2%	32	26.9%	19.0%	35.7%	19	27.1%	9.7%	41.0%
知らない	20	21.7%	14.8%	24.6%	22	18.5%	17.5%	19.6%	16	22.9%	32.3%	15.4%
予防啓発をしている団体が商業施設やイベントで、無料で配布しているコンドームやローションを知っていますか。												
過去 6 ヶ月間に受け取ったことがある	26	8.5%	50.0%	3.6% **	45	22.0%	47.4%	6.3% **	11	4.3%	19.5%	1.4% **
過去 6 ヶ月より前に受け取ったことがある	25	8.2%	15.6%	7.3%	28	13.7%	12.8%	14.2%	17	6.7%	17.1%	4.7%
知っているが、受け取ったことはない	65	21.2%	25.0%	20.8%	58	28.3%	28.2%	28.3%	53	20.9%	26.8%	19.8%
知らない	190	62.1%	9.4%	68.2%	74	36.1%	11.5%	51.2%	172	68.0%	36.6%	74.1%
コミュニティセンター ZEL (宮城県仙台市)を知っていますか。												
知らない	247	80.7%	12.5%	88.7% **	192	93.7%	87.2%	97.6% *	248	98.0%	92.7%	99.1% *
知っている	24	7.8%	6.3%	8.0%	11	5.4%	11.5%	1.6%	4	1.6%	4.9%	0.9%
過去 6 ヶ月間に行った	35	11.4%	81.3%	3.3%	2	1.0%	1.3%	0.8%	1	0.4%	2.4%	0.0%
コミュニティセンター akta (東京都新宿区)を知っていますか。												
知らない	263	85.9%	53.1%	89.8% **	85	41.5%	0.0%	66.9% **	224	88.5%	58.5%	94.3% **
知っている	34	11.1%	34.4%	8.4%	33	16.1%	6.4%	22.0%	21	8.3%	36.6%	2.8%
過去 6 ヶ月間に行った	9	2.9%	12.5%	1.8%	87	42.4%	93.6%	11.0%	8	3.2%	4.9%	2.8%
コミュニティセンター SHIP にじいろキャビン (神奈川県横浜市)を知っていますか。												
知らない	287	93.8%	78.1%	95.6% **	167	81.5%	71.8%	87.4% **	197	77.9%	4.9%	92.0% **
知っている	18	5.9%	18.8%	4.4%	32	15.6%	26.9%	8.7%	11	4.3%	0.0%	5.2%
過去 6 ヶ月間に行った	1	0.3%	3.1%	0.0%	6	2.9%	1.3%	3.9%	45	17.8%	95.1%	2.8%
コミュニティセンター rise (愛知県名古屋市)を知っていますか。												
知らない	298	97.4%	87.5%	98.5% **	186	90.7%	83.3%	95.3% **	247	97.6%	87.8%	99.5% **
知っている	7	2.3%	12.5%	1.1%	19	9.3%	16.7%	4.7%	3	1.2%	4.9%	0.5%
過去 6 ヶ月間に行った	1	0.3%	0.0%	0.4%	0	0.0%			3	1.2%	7.3%	0.0%
コミュニティセンター dista (大阪府大阪市)を知っていますか。												
知らない	290	94.8%	75.0%	97.1% **	165	80.5%	67.9%	88.2% **	239	94.5%	90.2%	95.3%
知っている	15	4.9%	21.9%	2.9%	34	16.6%	26.9%	10.2%	13	5.1%	9.8%	4.2%
過去 6 ヶ月間に行った	1	0.3%	3.1%	0.0%	6	2.9%	5.1%	1.6%	1	0.4%	0.0%	0.5%
コミュニティセンター HACO (福岡県福岡市)を知っていますか。												
知らない	292	95.4%	93.8%	95.6%	182	88.8%	82.1%	92.9%	239	94.5%	95.1%	94.3%
知っている	13	4.2%	6.3%	4.0%	19	9.3%	15.4%	5.5%	12	4.7%	4.9%	4.7%
過去 6 ヶ月間に行った	1	0.3%	0.0%	0.4%	4	2.0%	2.6%	1.6%	2	0.8%	0.0%	0.9%

次頁へ続く

	東北 (ZEL) n=306					東京 (akta) n=205					横浜 (SHIP) n=253				
			対面		WEB			対面		WEB			対面		WEB
	n	%	n=32	n=274		n	%	n=78	n=127		n	%	n=41	n=212	
コミュニティセンター mabui (沖縄県那覇市)を知っていますか。															
知らない	299	97.7%	84.4%	99.3%	**	193	94.1%	87.2%	98.4%	**	246	97.2%	95.1%	97.6%	
知っている	5	1.6%	12.5%	0.4%		12	5.9%	12.8%	1.6%		7	2.8%	4.9%	2.4%	
過去6ヵ月間に行った	2	0.7%	3.1%	0.4%		0	0.0%				0	0.0%			
(再掲) コミュニティセンターを知っていますか。															
知らない	224	73.2%	12.5%	80.3%	**	74	36.1%	0.0%	58.3%	**	186	73.5%	2.4%	87.3%	**
知っている	41	13.4%	6.3%	14.2%		41	20.0%	6.4%	28.3%		15	5.9%	2.4%	6.6%	
過去6ヵ月間に行った	41	13.4%	81.3%	5.5%		90	43.9%	93.6%	13.4%		52	20.6%	95.1%	6.1%	
コミュニティペーパー ZEL Free paperを知っていますか。															
知らない	262	85.6%	18.8%	93.4%	**	197	96.1%	92.3%	98.4%		246	97.2%	90.2%	98.6%	**
知っている	15	4.9%	15.6%	3.6%		7	3.4%	6.4%	1.6%		4	1.6%	2.4%	1.4%	
過去6ヵ月間に読んだ	29	9.5%	65.6%	2.9%		1	0.5%	1.3%	0.0%		3	1.2%	7.3%	0.0%	
コミュニティペーパー akta community paperを知っていますか。															
知らない	283	92.5%	68.8%	95.3%	**	132	64.4%	39.7%	79.5%	**	233	92.1%	75.6%	95.3%	**
知っている	16	5.2%	21.9%	3.3%		29	14.1%	15.4%	13.4%		11	4.3%	12.2%	2.8%	
過去6ヵ月間に読んだ	7	2.3%	9.4%	1.5%		44	21.5%	44.9%	7.1%		9	3.6%	12.2%	1.9%	
コミュニティペーパー YOKOHAMA Gay Community Paper Crewを知っていますか。															
知らない	294	96.1%	81.3%	97.8%	**	188	91.7%	84.6%	96.1%	*	230	90.9%	58.5%	97.2%	**
知っている	9	2.9%	12.5%	1.8%		14	6.8%	12.8%	3.1%		11	4.3%	19.5%	1.4%	
過去6ヵ月間に読んだ	3	1.0%	6.3%	0.4%		3	1.5%	2.6%	0.8%		12	4.7%	22.0%	1.4%	
コミュニティペーパー HANAを知っていますか。															
知らない	301	98.4%	90.6%	99.3%	**	196	95.6%	93.6%	96.9%		241	95.3%	75.6%	99.1%	**
知っている	3	1.0%	6.3%	0.4%		7	3.4%	5.1%	2.4%		3	1.2%	7.3%	0.0%	
過去6ヵ月間に読んだ	2	0.7%	3.1%	0.4%		2	1.0%	1.3%	0.8%		9	3.6%	17.1%	0.9%	
季刊紙 南界堂通信を知っていますか。															
知らない	294	96.1%	84.4%	97.4%	**	191	93.2%	85.9%	97.6%	**	249	98.4%	95.1%	99.1%	
知っている	6	2.0%	9.4%	1.1%		10	4.9%	9.0%	2.4%		2	0.8%	2.4%	0.5%	
過去6ヵ月間に読んだ	6	2.0%	6.3%	1.5%		4	2.0%	5.1%	0.0%		2	0.8%	2.4%	0.5%	
ゲイコミュニティペーパー Fight!!を知っていますか。															
知らない	300	98.0%	93.8%	98.5%		198	96.6%	93.6%	98.4%		249	98.4%	95.1%	99.1%	
知っている	3	1.0%	3.1%	0.7%		6	2.9%	6.4%	0.8%		3	1.2%	2.4%	0.9%	
過去6ヵ月間に読んだ	3	1.0%	3.1%	0.7%		1	0.5%	0.0%	0.8%		1	0.4%	2.4%	0.0%	
コミュニティペーパー NEW SEASONを知っていますか。															
知らない	303	99.0%	93.8%	99.6%	**	199	97.1%	93.6%	99.2%	*	250	98.8%	95.1%	99.5%	*
知っている	3	1.0%	6.3%	0.4%		3	1.5%	3.8%	0.0%		0	0.0%			
過去6ヵ月間に読んだ	0	0.0%				3	1.5%	2.6%	0.8%		3	1.2%	4.9%	0.5%	
コミュニティペーパー nankrを知っていますか。															
知らない	300	98.0%	90.6%	98.9%	**	196	95.6%	88.5%	100%	**	248	98.0%	97.6%	98.1%	
知っている	3	1.0%	6.3%	0.4%		7	3.4%	9.0%	0.0%		1	0.4%	0.0%	0.5%	
過去6ヵ月間に読んだ	3	1.0%	3.1%	0.7%		2	1.0%	2.6%	0.0%		4	1.6%	2.4%	1.4%	
(再掲) コミュニティペーパーを知っていますか。															
知らない	243	79.4%	12.5%	87.2%	**	123	60.0%	35.9%	74.8%	**	211	83.4%	41.5%	91.5%	**
知っている	26	8.5%	18.8%	7.3%		35	17.1%	16.7%	17.3%		14	5.5%	14.6%	3.8%	
過去6ヵ月間に読んだ	37	12.1%	68.8%	5.5%		47	22.9%	47.4%	7.9%		28	11.1%	43.9%	4.7%	

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

表 2.2-1 GCQ2023 配布基点別分析 性別・年齢・居住地・就業形態
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
回答方法												
対面	18	22.5%			114	42.5%			45	13.0%		
WEB	62	77.5%			154	57.5%			301	87.0%		
あなたの性別を教えてください。												
男性	65	81.3%	77.8%	82.3%	227	84.7%	79.8%	88.3% *	316	91.3%	91.1%	91.4% **
女性として生まれたが男性(FtM)	5	6.3%	0.0%	8.1%	10	3.7%	1.8%	5.2%	9	2.6%	4.4%	2.3%
男性として生まれたが女性(MtF)	8	10.0%	16.7%	8.1%	18	6.7%	8.8%	5.2%	18	5.2%	0.0%	6.0%
女性	2	2.5%	5.6%	1.6%	8	3.0%	6.1%	0.6%	1	0.3%	0.0%	0.3%
その他	0	0.0%			5	1.9%	3.5%	0.6%	2	0.6%	4.4%	0.0%
あなたは以下のどれにあてはまりますか。												
ゲイ(男性同性愛者)	48	60.0%	66.7%	58.1%	179	66.8%	68.4%	65.6% *	230	66.5%	64.4%	66.8% **
レズビアン(女性同性愛者)	0	0.0%			3	1.1%	1.8%	0.6%	0	0.0%		
バイセクシュアル(両性愛者)	28	35.0%	27.8%	37.1%	38	14.2%	8.8%	18.2%	91	26.3%	17.8%	27.6%
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	1	1.3%	0.0%	1.6%	14	5.2%	7.0%	3.9%	13	3.8%	4.4%	3.7%
わからない	1	1.3%	0.0%	1.6%	16	6.0%	7.0%	5.2%	7	2.0%	8.9%	1.0%
決めたくない	1	1.3%	0.0%	1.6%	14	5.2%	3.5%	6.5%	3	0.9%	0.0%	1.0%
その他	1	1.3%	5.6%	0.0%	4	1.5%	3.5%	0.0%	2	0.6%	4.4%	0.0%
親にカミングアウトした経験はありますか。 ¹⁾												
両親ともにした	20	25.3%	33.3%	23.0%	46	18.1%	24.5%	13.5% *	27	8.1%	18.6%	6.6% **
父親のみにした	14	17.7%	0.0%	23.0%	10	3.9%	0.0%	6.8%	11	3.3%	0.0%	3.8%
母親のみにした	13	16.5%	16.7%	16.4%	41	16.1%	15.1%	16.9%	30	9.0%	20.9%	7.2%
両親ともにしていない / しなかった	15	19.0%	27.8%	16.4%	94	37.0%	34.0%	39.2%	149	44.7%	34.9%	46.2%
伝えていないが、父親 / 母親 / 両親は知っている	5	6.3%	11.1%	4.9%	24	9.4%	8.5%	10.1%	25	7.5%	2.3%	8.3%
親はいない	0	0.0%			10	3.9%	6.6%	2.0%	12	3.6%	4.7%	3.4%
カミングアウトする必要はない	12	15.2%	11.1%	16.4%	29	11.4%	11.3%	11.5%	79	23.7%	18.6%	24.5%
職場や学校でカミングアウトはしていますか。 ¹⁾												
広くしている(隠していない)	10	12.7%	5.6%	14.8%	34	13.4%	16.0%	11.5%	25	7.5%	16.3%	6.2% **
信頼できる人へのみにしている	34	43.0%	38.9%	44.3%	97	38.2%	40.6%	36.5%	56	16.8%	32.6%	14.5%
全くしていない	21	26.6%	38.9%	23.0%	91	35.8%	32.1%	38.5%	147	44.1%	37.2%	45.2%
カミングアウトする必要はない	14	17.7%	16.7%	18.0%	32	12.6%	11.3%	13.5%	105	31.5%	14.0%	34.1%
年齢層												
平均年齢 ± SD	34.4 ± 10.6				39.2 ± 10.7				37.3 ± 8.9			
18 歳 - 19 歳	8	10.0%	0.0%	12.9%	7	2.6%	0.9%	3.9% *	9	2.6%	4.4%	2.3% **
20 歳 - 29 歳	19	23.8%	11.1%	27.4%	42	15.7%	14.9%	16.2%	51	14.7%	48.9%	9.6%
30 歳 - 39 歳	27	33.8%	50.0%	29.0%	94	35.1%	42.1%	29.9%	148	42.8%	28.9%	44.9%
40 歳 - 49 歳	17	21.3%	16.7%	22.6%	76	28.4%	21.1%	33.8%	101	29.2%	11.1%	31.9%
50 歳 - 59 歳	9	11.3%	22.2%	8.1%	39	14.6%	14.9%	14.3%	35	10.1%	6.7%	10.6%
60 歳以上	0	0.0%			10	3.7%	6.1%	1.9%	2	0.6%	0.0%	0.7%
出生年												
1950 年以前	0	0.0%			6	2.2%	3.5%	1.3%	0	0.0%		**
1960 年代	2	2.5%	5.6%	1.6%	20	7.5%	9.6%	5.8%	13	3.8%	4.4%	3.7%
1970 年代	14	17.5%	27.8%	14.5%	57	21.3%	18.4%	23.4%	69	19.9%	8.9%	21.6%
1980 年代	24	30.0%	16.7%	33.9%	102	38.1%	36.8%	39.0%	150	43.4%	17.8%	47.2%
1990 年代	27	33.8%	38.9%	32.3%	69	25.7%	26.3%	25.3%	85	24.6%	42.2%	21.9%
2000 年代	13	16.3%	11.1%	17.7%	14	5.2%	5.3%	5.2%	29	8.4%	26.7%	5.6%

次頁へ続く

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
回答方法												
対面	18	22.5%			114	42.5%			45	13.0%		
WEB	62	77.5%			154	57.5%			301	87.0%		
あなたの出身国はどこですか。												
日本	80	100%	100%	100%	259	96.6%	98.2%	95.5%	345	99.7%	97.8%	100.0% *
海外	0	0.0%			9	3.4%	1.8%	4.5%	1	0.3%	2.2%	0.0%
居住地域												
北海道東北	2	2.5%	0.0%	3.2% **	12	4.5%	0.0%	7.8% **	50	14.5%	0.0%	16.6% **
関東(東京除く)	8	10.0%	0.0%	12.9%	25	9.3%	2.6%	14.3%	17	4.9%	0.0%	5.6%
東京都	0	0.0%			19	7.1%	1.8%	11.0%	18	5.2%	0.0%	6.0%
甲信越	7	8.8%	0.0%	11.3%	4	1.5%	0.0%	2.6%	5	1.4%	0.0%	1.7%
北陸	11	13.8%	0.0%	17.7%	4	1.5%	0.0%	2.6%	5	1.4%	0.0%	1.7%
東海	37	46.3%	100%	30.6%	17	6.3%	3.5%	8.4%	18	5.2%	0.0%	6.0%
近畿	10	12.5%	0.0%	16.1%	160	59.7%	90.4%	37.0%	43	12.4%	2.2%	14.0%
中国四国	5	6.3%	0.0%	8.1%	18	6.7%	1.8%	10.4%	59	17.1%	2.2%	19.3%
九州(沖縄除く)	0	0.0%			7	2.6%	0.0%	4.5%	127	36.7%	95.6%	27.9%
沖縄県	0	0.0%			0	0.0%			4	1.2%	0.0%	1.3%
海外	0	0.0%			2	0.7%	0.0%	1.3%	0	0.0%		
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。												
中心市街地	27	33.8%	27.8%	35.5%	115	42.9%	49.1%	38.3% *	102	29.5%	46.7%	26.9% *
郊外住宅地	44	55.0%	66.7%	51.6%	128	47.8%	49.1%	46.8%	221	63.9%	48.9%	66.1%
農村地域・漁村地域	8	10.0%	5.6%	11.3%	17	6.3%	0.9%	10.4%	17	4.9%	2.2%	5.3%
山間部	1	1.3%	0.0%	1.6%	7	2.6%	0.9%	3.9%	6	1.7%	2.2%	1.7%
離島	0	0.0%			1	0.4%	0.0%	0.6%	0	0.0%		
あなたは、現在だけかと一緒に暮らしていますか。												
はい	49	61.3%	77.8%	56.5%	137	51.1%	42.1%	57.8% *	163	47.1%	55.6%	45.8%
いいえ(一人暮らし)	31	38.8%	22.2%	43.5%	130	48.5%	57.9%	41.6%	180	52.0%	42.2%	53.5%
定住している家はない	0	0.0%			1	0.4%	0.0%	0.6%	3	0.9%	2.2%	0.7%
あなたの最終学歴を教えてください。												
中学校	2	2.5%	11.1%	0.0%	6	2.2%	2.6%	1.9% **	6	1.7%	2.2%	1.7% **
高等学校	22	27.5%	16.7%	30.6%	55	20.5%	11.4%	27.3%	132	38.2%	31.1%	39.2%
短大・高専	10	12.5%	5.6%	14.5%	19	7.1%	6.1%	7.8%	16	4.6%	2.2%	5.0%
専門学校	18	22.5%	27.8%	21.0%	43	16.0%	9.6%	20.8%	85	24.6%	15.6%	25.9%
大学	25	31.3%	33.3%	30.6%	109	40.7%	49.1%	34.4%	102	29.5%	40.0%	27.9%
大学院	3	3.8%	5.6%	3.2%	35	13.1%	20.2%	7.8%	5	1.4%	8.9%	0.3%
その他	0	0.0%			1	0.4%	0.9%	0.0%	0	0.0%		
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか。												
常勤(正規雇用)	33	41.3%	38.9%	41.9%	111	41.4%	41.2%	41.6%	198	57.2%	37.8%	60.1% **
常勤(非正規雇用)	2	2.5%	0.0%	3.2%	37	13.8%	14.9%	13.0%	72	20.8%	13.3%	21.9%
パートタイマー	9	11.3%	5.6%	12.9%	27	10.1%	7.9%	11.7%	15	4.3%	2.2%	4.7%
アルバイト	16	20.0%	11.1%	22.6%	30	11.2%	8.8%	13.0%	30	8.7%	20.0%	7.0%
経営者	6	7.5%	22.2%	3.2%	12	4.5%	4.4%	4.5%	11	3.2%	6.7%	2.7%
その他	4	5.0%	11.1%	3.2%	16	6.0%	7.0%	5.2%	6	1.7%	11.1%	0.3%
働いていない	10	12.5%	11.1%	12.9%	35	13.1%	15.8%	11.0%	14	4.0%	8.9%	3.3%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) ヘテロセクシュアルと回答した人を除いて集計したため、総数は異なる。

表 2.2-2 GCQ2023 配布基点別分析 年収・この 1 年間の暮らしの状況・過去 6 ヶ月間の利用施設
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
この 1 年間の年収(税込みの総額)は、およそどのくらいですか？												
100 万円未満	20	25.0%	22.2%	25.8%	51	19.0%	18.4%	19.5%	28	8.1%	24.4%	5.6% **
100 万円～200 万円未満	26	32.5%	33.3%	32.3%	60	22.4%	21.9%	22.7%	39	11.3%	17.8%	10.3%
200 万円～300 万円未満	23	28.8%	22.2%	30.6%	48	17.9%	14.0%	20.8%	73	21.1%	20.0%	21.3%
300 万円～400 万円未満	4	5.0%	5.6%	4.8%	36	13.4%	9.6%	16.2%	157	45.4%	22.2%	48.8%
400 万円～500 万円未満	3	3.8%	5.6%	3.2%	30	11.2%	14.9%	8.4%	30	8.7%	4.4%	9.3%
500 万円～600 万円未満	1	1.3%	0.0%	1.6%	17	6.3%	7.9%	5.2%	14	4.0%	4.4%	4.0%
600 万円～700 万円未満	1	1.3%	5.6%	0.0%	10	3.7%	6.1%	1.9%	3	0.9%	2.2%	0.7%
700 万円～800 万円未満	1	1.3%	0.0%	1.6%	9	3.4%	4.4%	2.6%	1	0.3%	2.2%	0.0%
800 万円～900 万円未満	0	0.0%			3	1.1%	0.9%	1.3%	0	0.0%		
900 万円～1000 万円未満	0	0.0%			2	0.7%	0.9%	0.6%	1	0.3%	2.2%	0.0%
1000 万円以上	1	1.3%	5.6%	0.0%	2	0.7%	0.9%	0.6%	0	0.0%		
現在、生活費はどのようにまかっていますか。(複数回答)												
就労による収入	66	82.5%	66.7%	87.1% *	221	82.5%	78.1%	85.7%	330	95.4%	82.2%	97.3% **
生活保護	4	5.0%	0.0%	6.5%	10	3.7%	6.1%	1.9%	5	1.4%	6.7%	0.7% **
児童扶養手当	0	0.0%			0	0.0%			1	0.3%	0.0%	0.3%
失業手当	0	0.0%			3	1.1%	0.9%	1.3%	0	0.0%		
年金	8	10.0%	33.3%	3.2% **	24	9.0%	13.2%	5.8% *	2	0.6%	4.4%	0.0% **
貯蓄の切り崩し	10	12.5%	5.6%	14.5%	41	15.3%	13.2%	16.9%	34	9.8%	2.2%	11.0%
子どもの親から送られる養育費	1	1.3%	5.6%	0.0%	1	0.4%	0.9%	0.0%	0	0.0%		
実家、親族等からの援助	12	15.0%	11.1%	16.1%	37	13.8%	13.2%	14.3%	58	16.8%	13.3%	17.3%
その他	3	3.8%	11.1%	1.6%	11	4.1%	6.1%	2.6%	1	0.3%	2.2%	0.0% *
この 1 年間、普段の生活において経済的なことや生活で困ることがありましたか。												
ない	14	17.5%	44.4%	9.7% *	136	50.7%	56.1%	46.8%	160	46.2%	42.2%	46.8% **
1 回あった	9	11.3%	11.1%	11.3%	33	12.3%	10.5%	13.6%	19	5.5%	17.8%	3.7%
2 回～3 回あった	27	33.8%	27.8%	35.5%	43	16.0%	16.7%	15.6%	130	37.6%	24.4%	39.5%
4 回～5 回あった	14	17.5%	5.6%	21.0%	25	9.3%	4.4%	13.0%	23	6.6%	4.4%	7.0%
6 回以上あった	16	20.0%	11.1%	22.6%	31	11.6%	12.3%	11.0%	14	4.0%	11.1%	3.0%
この 1 年間、医療費の支払いに不安を感じたことがありましたか。												
ない	30	37.5%	77.8%	25.8% **	170	63.4%	75.4%	54.5% **	188	54.3%	73.3%	51.5% *
1 回あった	21	26.3%	0.0%	33.9%	36	13.4%	9.6%	16.2%	37	10.7%	11.1%	10.6%
2 回～3 回あった	24	30.0%	16.7%	33.9%	38	14.2%	7.0%	19.5%	97	28.0%	11.1%	30.6%
4 回～5 回あった	5	6.3%	5.6%	6.5%	7	2.6%	0.0%	4.5%	18	5.2%	0.0%	6.0%
6 回以上あった	0	0.0%			17	6.3%	7.9%	5.2%	6	1.7%	4.4%	1.3%
この 1 年間、給与や年金の支給前に、暮らしに困ることがありましたか。												
ない	22	27.5%	55.6%	19.4% *	163	60.8%	66.7%	56.5%	171	49.4%	60.0%	47.8% *
1 回あった	22	27.5%	5.6%	33.9%	34	12.7%	10.5%	14.3%	28	8.1%	13.3%	7.3%
2 回～3 回あった	17	21.3%	22.2%	21.0%	42	15.7%	12.3%	18.2%	117	33.8%	17.8%	36.2%
4 回～5 回あった	15	18.8%	11.1%	21.0%	13	4.9%	2.6%	6.5%	23	6.6%	2.2%	7.3%
6 回以上あった	4	5.0%	5.6%	4.8%	16	6.0%	7.9%	4.5%	7	2.0%	6.7%	1.3%

次頁へ続く

	名古屋 (rise) n=80					大阪 (dista) n=268					福岡 (HACO) n=346				
			対面		WEB			対面		WEB			対面		WEB
	n	%	n=18	n=62		n	%	n=114	n=154		n	%	n=45	n=301	
この 1 年間、家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったことがありましたか。															
ない	21	26.3%	61.1%	16.1%	**	150	56.0%	65.8%	48.7%		168	48.6%	57.8%	47.2%	
1 回あった	20	25.0%	0.0%	32.3%		45	16.8%	12.3%	20.1%		35	10.1%	13.3%	9.6%	
2 回～3 回あった	24	30.0%	22.2%	32.3%		49	18.3%	14.9%	20.8%		115	33.2%	22.2%	34.9%	
4 回～5 回あった	10	12.5%	11.1%	12.9%		9	3.4%	1.8%	4.5%		19	5.5%	0.0%	6.3%	
6 回以上あった	5	6.3%	5.6%	6.5%		15	5.6%	5.3%	5.8%		9	2.6%	6.7%	2.0%	
この 1 年間、食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かや自分自身が空腹な思いをしたことがありましたか。															
ない	25	31.3%	77.8%	17.7%	**	195	72.8%	85.1%	63.6%	**	201	58.1%	80.0%	54.8%	**
1 回あった	16	20.0%	0.0%	25.8%		20	7.5%	4.4%	9.7%		20	5.8%	8.9%	5.3%	
2 回～3 回あった	21	26.3%	11.1%	30.6%		23	8.6%	2.6%	13.0%		87	25.1%	4.4%	28.2%	
4 回～5 回あった	12	15.0%	5.6%	17.7%		15	5.6%	1.8%	8.4%		27	7.8%	0.0%	9.0%	
6 回以上あった	6	7.5%	5.6%	8.1%		15	5.6%	6.1%	5.2%		11	3.2%	6.7%	2.7%	
この 1 年間、経済的な理由で衣類購入を控えたことがありましたか。															
ない	16	20.0%	61.1%	8.1%	**	139	51.9%	57.9%	47.4%	*	184	53.2%	48.9%	53.8%	*
1 回あった	11	13.8%	0.0%	17.7%		21	7.8%	7.9%	7.8%		17	4.9%	11.1%	4.0%	
2 回～3 回あった	27	33.8%	16.7%	38.7%		56	20.9%	15.8%	24.7%		93	26.9%	22.2%	27.6%	
4 回～5 回あった	16	20.0%	16.7%	21.0%		22	8.2%	3.5%	11.7%		31	9.0%	4.4%	9.6%	
6 回以上あった	10	12.5%	5.6%	14.5%		30	11.2%	14.9%	8.4%		21	6.1%	13.3%	5.0%	
K6(平均 8.0 ± 5.1、0 点 -24 点)															
0 点 -4 点	14	17.5%	55.6%	6.5%	**	99	36.9%	37.7%	36.4%	*	45	13.0%	35.6%	9.6%	**
5 点 -9 点	7	8.8%	16.7%	6.5%		62	23.1%	30.7%	17.5%		222	64.2%	37.8%	68.1%	
10 点 -12 点	17	21.3%	11.1%	24.2%		44	16.4%	16.7%	16.2%		26	7.5%	8.9%	7.3%	
13 点以上	42	52.5%	16.7%	62.9%		63	23.5%	14.9%	29.9%		53	15.3%	17.8%	15.0%	
過去 6 ヶ月間に、以下のゲイ向けの施設やサービスを利用しましたか。															
ゲイバー	33	41.3%	50.0%	38.7%		85	31.7%	36.0%	28.6%		86	24.9%	57.8%	19.9%	**
ゲイイベント	7	8.8%	22.2%	4.8%	*	50	18.7%	27.2%	12.3%	**	38	11.0%	44.4%	6.0%	**
ゲイショップ	14	17.5%	11.1%	19.4%		30	11.2%	9.6%	12.3%		16	4.6%	17.8%	2.7%	**
有料のハッテン場	8	10.0%	16.7%	8.1%		66	24.6%	32.5%	18.8%	*	27	7.8%	40.0%	3.0%	**
野外のハッテン場	4	5.0%	11.1%	3.2%		24	9.0%	9.6%	8.4%		11	3.2%	6.7%	2.7%	
いずれもない	29	36.3%	33.3%	37.1%		122	45.5%	37.7%	51.3%	*	238	68.8%	33.3%	74.1%	**
過去 6 ヶ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下の SNS や掲示板を利用しましたか。															
X (旧 Twitter)	56	70.0%	55.6%	74.2%		86	32.1%	21.9%	39.6%	**	113	32.7%	46.7%	30.6%	*
Instagram	11	13.8%	16.7%	12.9%		39	14.6%	12.3%	16.2%		82	23.7%	22.2%	23.9%	
VERO	3	3.8%	5.6%	3.2%		17	6.3%	7.9%	5.2%		28	8.1%	20.0%	6.3%	**
9monsters	18	22.5%	50.0%	14.5%	**	98	36.6%	46.5%	29.2%	**	56	16.2%	66.7%	8.6%	**
Blued	6	7.5%	0.0%	9.7%		12	4.5%	4.4%	4.5%		19	5.5%	8.9%	5.0%	
Men's Net Japan	9	11.3%	16.7%	9.7%		35	13.1%	17.5%	9.7%		9	2.6%	2.2%	2.7%	
KO - MENS' TV	1	1.3%	0.0%	1.6%		13	4.9%	6.1%	3.9%		3	0.9%	0.0%	1.0%	
爆サイ	10	12.5%	5.6%	14.5%		25	9.3%	7.0%	11.0%		35	10.1%	11.1%	10.0%	
SHIKOKU GAY WALKER	0	0.0%				0	0.0%				0	0.0%			
沖縄ゲイ情報裏掲示板	0	0.0%				0	0.0%				5	1.4%	0.0%	1.7%	
AMBIRD	1	1.3%	5.6%	0.0%		22	8.2%	16.7%	1.9%	**	5	1.4%	8.9%	0.3%	**
その他	4	5.0%	5.6%	4.8%		13	4.9%	7.0%	3.2%		0	0.0%			
SNS や掲示板は利用していない	8	10.0%	33.3%	3.2%	**	87	32.5%	36.0%	29.9%		147	42.5%	24.4%	45.2%	*

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

表 2.2-3 GCQ2023 配布基点別分析 過去 6 ヶ月間の対話経験・U=U の認知・HIV 感染の身近さ、HIV 抗体検査受検経験
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=80					大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346					
	n	%	対面		WEB	n	%	対面		WEB	n	%	対面		WEB
			n=18	n=62	n=114			n=154	n=45	n=301					
過去 6 ヶ月間に、両親や兄弟姉妹と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	1	1.3%	5.6%	0.0%	**	27	10.1%	12.3%	8.4%	*	3	0.9%	6.7%	0.0%	**
ない	68	85.0%	55.6%	93.5%		185	69.0%	60.5%	75.3%		321	92.8%	60.0%	97.7%	
いない	11	13.8%	38.9%	6.5%		56	20.9%	27.2%	16.2%		22	6.4%	33.3%	2.3%	
過去 6 ヶ月間に、恋人や大切な人と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	6	7.5%	16.7%	4.8%		49	18.3%	22.8%	14.9%		21	6.1%	35.6%	1.7%	**
ない	40	50.0%	55.6%	48.4%		126	47.0%	40.4%	51.9%		231	66.8%	31.1%	72.1%	
いない	34	42.5%	27.8%	46.8%		93	34.7%	36.8%	33.1%		94	27.2%	33.3%	26.2%	
過去 6 ヶ月間に、友達や知り合いと HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	16	20.0%	50.0%	11.3%	**	90	33.6%	43.9%	26.0%	**	31	9.0%	51.1%	2.7%	**
ない	59	73.8%	38.9%	83.9%		141	52.6%	40.4%	61.7%		304	87.9%	28.9%	96.7%	
いない	5	6.3%	11.1%	4.8%		37	13.8%	15.8%	12.3%		11	3.2%	20.0%	0.7%	
過去 6 ヶ月間に、過去 6 ヶ月間にセックスした相手と HIV やエイズについて話したことはありますか。															
ある	6	7.5%	16.7%	4.8%		54	20.1%	24.6%	16.9%	*	16	4.6%	22.2%	2.0%	**
ない	51	63.8%	55.6%	66.1%		130	48.5%	38.6%	55.8%		175	50.6%	42.2%	51.8%	
いない	23	28.8%	27.8%	29.0%		84	31.3%	36.8%	27.3%		155	44.8%	35.6%	46.2%	
「U = U」のことを、あなたは知っていましたか。															
よく知っている	14	17.5%	16.7%	17.7%		78	29.1%	43.9%	18.2%	**	24	6.9%	42.2%	1.7%	**
少し知っている	30	37.5%	55.6%	32.3%		89	33.2%	28.9%	36.4%		52	15.0%	28.9%	13.0%	
あまり知らない	18	22.5%	16.7%	24.2%		39	14.6%	9.6%	18.2%		124	35.8%	11.1%	39.5%	
全く知らない	18	22.5%	11.1%	25.8%		62	23.1%	17.5%	27.3%		146	42.2%	17.8%	45.8%	
友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか。															
いる	15	18.8%	50.0%	9.7%	**	80	29.9%	42.1%	20.8%	**	22	6.4%	35.6%	2.0%	**
いると思う	16	20.0%	11.1%	22.6%		58	21.6%	19.3%	23.4%		46	13.3%	31.1%	10.6%	
いないと思う	28	35.0%	16.7%	40.3%		57	21.3%	10.5%	29.2%		125	36.1%	13.3%	39.5%	
いない	10	12.5%	5.6%	14.5%		14	5.2%	0.9%	8.4%		68	19.7%	4.4%	21.9%	
わからない	11	13.8%	16.7%	12.9%		59	22.0%	27.2%	18.2%		85	24.6%	15.6%	25.9%	
これまでに HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。															
ある	38	47.5%	77.8%	38.7%	**	172	64.2%	78.1%	53.9%	**	137	39.6%	75.6%	34.2%	**
ない	42	52.5%	22.2%	61.3%		96	35.8%	21.9%	46.1%		209	60.4%	24.4%	65.8%	
これまでに受けた、HIV 抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。(複数回答) ¹⁾															
保健所の即日検査	10	26.3%	28.6%	25.0%		70	40.7%	40.4%	41.0%		42	30.7%	61.8%	20.4%	**
保健所の夜間検査	3	7.9%	14.3%	4.2%		20	11.6%	11.2%	12.0%		12	8.8%	14.7%	6.8%	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	9	23.7%	28.6%	20.8%		29	16.9%	20.2%	13.3%		8	5.8%	20.6%	1.0%	**
病院	7	18.4%	14.3%	20.8%		35	20.3%	20.2%	20.5%		18	13.1%	17.6%	11.7%	
クリニック・医院・診療所	14	36.8%	14.3%	50.0%	*	53	30.8%	25.8%	36.1%		43	31.4%	17.6%	35.9%	*
郵送検査	9	23.7%	35.7%	16.7%		29	16.9%	12.4%	21.7%		63	46.0%	47.1%	45.6%	
新宿や大阪にある公的な検査機関	1	2.6%	0.0%	4.2%		42	24.4%	29.2%	19.3%		6	4.4%	5.9%	3.9%	
その他	5	13.2%	14.3%	12.5%		8	4.7%	6.7%	2.4%		6	4.4%	11.8%	1.9%	*
過去 1 年間に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。															
ある	18	22.5%	44.4%	16.1%	*	74	27.6%	37.7%	20.1%	**	50	14.5%	64.4%	7.0%	**
ない	62	77.5%	55.6%	83.9%		194	72.4%	62.3%	79.9%		296	85.5%	35.6%	93.0%	

次頁へ続く

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けなかった理由はどれにあてはまりますか。(複数回答) ²⁾												
HIVに感染する行為はしていないから	4	9.5%	75.0%	2.6% **	28	29.2%	32.0%	28.2%	15	7.2%	36.4%	5.6% **
HIVに感染している可能性がないから	3	7.1%	25.0%	5.3%	11	11.5%	20.0%	8.5%	4	1.9%	9.1%	1.5%
結果を知るのが怖いから	7	16.7%	0.0%	18.4%	16	16.7%	4.0%	21.1% *	22	10.5%	18.2%	10.1%
あいまいなままにしておきたいから	4	9.5%	0.0%	10.5%	5	5.2%	0.0%	7.0%	23	11.0%	18.2%	10.6%
感染していることがわかって メリットがないから	5	11.9%	0.0%	13.2%	5	5.2%	0.0%	7.0%	17	8.1%	9.1%	8.1%
新型コロナウイルスの感染のため、 利用を控えたから	0	0.0%			4	4.2%	8.0%	2.8%	3	1.4%	0.0%	1.5%
どこで検査を受けたら良いか 分からないから	3	7.1%	25.0%	5.3%	10	10.4%	16.0%	8.5%	11	5.3%	9.1%	5.1%
保健所や検査場所が休止になったから	0	0.0%			0	0.0%			1	0.5%	0.0%	0.5%
保健所や検査場所の都合で断られたから	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
検査場所で知り合いに会う 可能性があるから	4	9.5%	0.0%	10.5%	6	6.3%	0.0%	8.5%	14	6.7%	0.0%	7.1%
機会(時間や場所など)がなかったから	5	11.9%	0.0%	13.2%	22	22.9%	40.0%	16.9% *	102	48.8%	54.5%	48.5%
HIVに感染しているのではないかと 疑われるから	3	7.1%	0.0%	7.9%	6	6.3%	0.0%	8.5%	36	17.2%	0.0%	18.2%
ゲイ・バイセクシュアルであると 説明するのが面倒だから	3	7.1%	25.0%	5.3%	8	8.3%	4.0%	9.9%	77	36.8%	0.0%	38.9% *
お金がかかるから	7	16.7%	25.0%	15.8%	14	14.6%	16.0%	14.1%	33	15.8%	27.3%	15.2%
その他	0	0.0%			3	3.1%	8.0%	1.4%	0	0.0%		
定期的に、HIV 検査を受けていますか。												
定期的に受けていない	57	71.3%	61.1%	74.2%	148	55.2%	45.6%	62.3% *	285	82.4%	48.9%	87.4% **
3ヵ月に1回以上は受けている	3	3.8%	11.1%	1.6%	24	9.0%	14.9%	4.5%	10	2.9%	20.0%	0.3%
6ヵ月に1回は受けている	1	1.3%	0.0%	1.6%	18	6.7%	7.0%	6.5%	11	3.2%	13.3%	1.7%
1年に1回は受けている	7	8.8%	16.7%	6.5%	30	11.2%	14.0%	9.1%	11	3.2%	15.6%	1.3%
感染リスクのある行為の後に受けている	10	12.5%	5.6%	14.5%	43	16.0%	15.8%	16.2%	29	8.4%	2.2%	9.3%
その他	2	2.5%	5.6%	1.6%	5	1.9%	2.6%	1.3%	0	0.0%		
いずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。(複数回答)												
A 型肝炎	2	2.5%	11.1%	0.0% *	19	7.1%	7.9%	6.5%	11	3.2%	2.2%	3.3%
B 型肝炎	6	7.5%	5.6%	8.1%	30	11.2%	14.0%	9.1%	14	4.0%	11.1%	3.0% *
HPV(ヒトパピローマウイルス)	0	0.0%			11	4.1%	7.9%	1.3% *	1	0.3%	2.2%	0.0% *
いずれもない	73	91.3%	88.9%	91.9%	227	84.7%	81.6%	87.0%	321	92.8%	86.7%	93.7%
これまでに、精神科や心療内科を受診したことはありますか。												
ある	50	62.5%	77.8%	58.1%	141	52.6%	55.3%	50.6%	99	28.6%	60.0%	23.9% **
ない	30	37.5%	22.2%	41.9%	127	47.4%	44.7%	49.4%	247	71.4%	40.0%	76.1%
過去1年間に、精神科や心療内科を受診したことはありますか。												
ある	31	38.8%	55.6%	33.9%	73	27.2%	32.5%	23.4%	54	15.6%	35.6%	12.6% **
ない	49	61.3%	44.4%	66.1%	195	72.8%	67.5%	76.6%	292	84.4%	64.4%	87.4%
これまでに、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。												
ある	7	8.8%	27.8%	3.2% **	24	9.0%	11.4%	7.1%	10	2.9%	11.1%	1.7% **
ない	73	91.3%	72.2%	96.8%	244	91.0%	88.6%	92.9%	336	97.1%	88.9%	98.3%
過去1年間に、医療機関で医療職者から、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。												
ある	2	2.5%	11.1%	0.0% *	9	3.4%	5.3%	1.9%	7	2.0%	6.7%	1.3% *
ない	78	97.5%	88.9%	100%	259	96.6%	94.7%	98.1%	339	98.0%	93.3%	98.7%
過去6ヵ月間に男性とセックスをしたことがありますか。												
ある	53	66.3%	50.0%	71.0%	166	61.9%	60.5%	63.0%	135	39.0%	80.0%	32.9% **
ない	27	33.8%	50.0%	29.0%	102	38.1%	39.5%	37.0%	211	61.0%	20.0%	67.1%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) これまでに HIV 検査を受検したことがある人を対象として集計したため総数は異なる。

2) これまでに HIV 検査を受検していないと回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.2-4 GCQ2023 配布基点別分析 性行動① 過去 6 ヶ月間の予防啓発活動の認知
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=53				大阪 (dista) n=166				福岡 (HACO) n=135			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=9	n=44	n	%	n=69	n=97	n	%	n=36	n=99
過去 6 ヶ月間に、インターネットや SNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。												
ある	39	73.6%	88.9%	70.5%	112	67.5%	66.7%	68.0%	82	60.7%	69.4%	57.6%
ない	14	26.4%	11.1%	29.5%	54	32.5%	33.3%	32.0%	53	39.3%	30.6%	42.4%
過去 6 ヶ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。												
ある	10	18.9%	33.3%	15.9%	62	37.3%	50.7%	27.8% **	30	22.2%	41.7%	15.2% **
ない	43	81.1%	66.7%	84.1%	104	62.7%	49.3%	72.2%	105	77.8%	58.3%	84.8%
過去 6 ヶ月間に、複数人 (3 人以上) で同時にセックスをしたことがありますか。												
ある	14	26.4%	44.4%	22.7%	42	25.3%	26.1%	24.7%	31	23.0%	27.8%	21.2%
ない	39	73.6%	55.6%	77.3%	124	74.7%	73.9%	75.3%	104	77.0%	72.2%	78.8%
過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身の HIV ステータスを話しましたか。												
ほぼ全員に伝えた、あるいはすでに知っていた	5	9.4%	33.3%	4.5%	31	18.7%	18.8%	18.6%	21	15.6%	11.1%	17.2% **
一部に伝えた、あるいはすでに知っていた	3	5.7%	0.0%	6.8%	21	12.7%	18.8%	8.2%	7	5.2%	13.9%	2.0%
誰にも伝えなかった	32	60.4%	44.4%	63.6%	74	44.6%	42.0%	46.4%	51	37.8%	41.7%	36.4%
覚えていない	10	18.9%	11.1%	20.5%	17	10.2%	8.7%	11.3%	37	27.4%	11.1%	33.3%
自分自身の HIV ステータスを知らない	3	5.7%	11.1%	4.5%	23	13.9%	11.6%	15.5%	19	14.1%	22.2%	11.1%
過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手の HIV ステータスを知っていましたか。												
ほぼすべての相手が HIV 陰性であった	9	17.0%	33.3%	13.6%	44	26.5%	27.5%	25.8%	56	41.5%	33.3%	44.4%
一部の相手が HIV 陽性であった	0	0.0%			8	4.8%	7.2%	3.1%	2	1.5%	5.6%	0.0%
ほぼすべての相手が HIV 陽性であった	0	0.0%			3	1.8%	4.3%	0.0%	1	0.7%	0.0%	1.0%
相手が HIV 陽性が陰性がまったかわからない	44	83.0%	66.7%	86.4%	111	66.9%	60.9%	71.1%	76	56.3%	61.1%	54.5%
過去 6 ヶ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。												
ある	10	18.9%	11.1%	20.5%	20	12.0%	13.0%	11.3%	18	13.3%	0.0%	18.2% *
ない	43	81.1%	88.9%	79.5%	146	88.0%	87.0%	88.7%	117	86.7%	100.0%	81.8%
過去 6 ヶ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。												
ある	11	20.8%	0.0%	25.0%	14	8.4%	2.9%	12.4% *	21	15.6%	16.7%	15.2%
ない	42	79.2%	100%	75.0%	152	91.6%	97.1%	87.6%	114	84.4%	83.3%	84.8%
過去 6 ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。												
ある	46	86.8%	66.7%	90.9%	127	76.5%	66.7%	83.5% *	118	87.4%	72.2%	92.9% **
ない	7	13.2%	33.3%	9.1%	39	23.5%	33.3%	16.5%	17	12.6%	27.8%	7.1%
過去 6 ヶ月間に、アナルセックスをした相手 (複数回答) ¹⁾												
彼氏や恋人	13	28.3%	50.0%	25.0%	34	26.8%	21.7%	29.6%	35	29.7%	26.9%	30.4%
友達やセクフレ	23	50.0%	83.3%	45.0%	59	46.5%	52.2%	43.2%	49	41.5%	61.5%	35.9% *
その場限りの相手	17	37.0%	33.3%	37.5%	79	62.2%	71.7%	56.8%	66	55.9%	61.5%	54.3%
その他	0	0.0%			0	0.0%			2	1.7%	7.7%	0.0% *

次頁へ続く

前頁の続き(表 2.2-4)

	名古屋 (rise) n=53				大阪 (dista) n=166				福岡 (HACO) n=135			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=9	n=44	n	%	n=69	n=97	n	%	n=36	n=99
過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ²⁾												
常用	0	0.0%	0.0%	0.0%	4	11.8%	40.0%	0.0% **	8	22.9%	14.3%	25.0%
非常用	13	100.0%	100%	100%	30	88.2%	60.0%	100.0%	27	77.1%	85.7%	75.0%
過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックス時のコンドーム使用状況 ³⁾												
常用	4	17.4%	20.0%	16.7%	10	16.9%	25.0%	11.4%	8	16.3%	18.8%	15.2%
非常用	19	82.6%	80.0%	83.3%	49	83.1%	75.0%	88.6%	41	83.7%	81.3%	84.8%
過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ⁴⁾												
常用	3	17.6%	100%	6.7% **	19	24.1%	27.3%	21.7%	14	21.2%	25.0%	20.0%
非常用	14	82.4%	0.0%	93.3%	60	75.9%	72.7%	78.3%	52	78.8%	75.0%	80.0%
過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況 ¹⁾												
常用	5	10.9%	16.7%	10.0%	26	20.5%	30.4%	14.8% *	18	15.3%	15.4%	15.2%
非常用	41	89.1%	83.3%	90.0%	101	79.5%	69.6%	85.2%	100	84.7%	84.6%	84.8%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) 過去 6 ヶ月間に男性とアナルセックスがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。

2) 過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。

3) 過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。

4) 過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。

表 2.2-5 GCQ2023 配布基点別分析 性行動② PrEP に関する知識・意識・使用経験、性感染症既往
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
過去 6 カ月間に、コンドームを身近に持っていましたか。												
いつも身近に持っていた／すぐ使える場所に置いていた	16	20.0%	27.8%	17.7%	69	25.7%	24.6%	26.6%	85	24.6%	26.7%	24.3% *
時々は身近に持っていた	30	37.5%	22.2%	41.9%	91	34.0%	33.3%	34.4%	99	28.6%	42.2%	26.6%
まったく身近にはなかった	34	42.5%	50.0%	40.3%	108	40.3%	42.1%	39.0%	162	46.8%	31.1%	49.2%
コンドームを使わないあるいは使えないと思う理由はどこにあてはまりますか。(複数回答)												
コンドームの使い方を知らないから	0	0.0%			5	1.9%	2.6%	1.3%	1	0.3%	2.2%	0.0% *
コンドームを使ったことがないから	0	0.0%			14	5.2%	4.4%	5.8%	4	1.2%	4.4%	0.7% *
コンドームを使うのがめんどろうと思うから	7	8.8%	16.7%	6.5%	27	10.1%	13.2%	7.8%	43	12.4%	17.8%	11.6%
コンドームをつけない方が一体感があるから	13	16.3%	22.2%	14.5%	36	13.4%	12.3%	14.3%	24	6.9%	11.1%	6.3%
コンドームをつけない方が気持ちよいから	15	18.8%	22.2%	17.7%	57	21.3%	25.4%	18.2%	39	11.3%	22.2%	9.6% *
コンドームを使うとイケないから	4	5.0%	0.0%	6.5%	14	5.2%	7.0%	3.9%	15	4.3%	4.4%	4.3%
タイプのひととできるならコンドームをつけないのもいいと思う	13	16.3%	11.1%	17.7%	11	4.1%	3.5%	4.5%	27	7.8%	6.7%	8.0%
今まで大丈夫だったから、今後もきっと大丈夫だと思う	5	6.3%	5.6%	6.5%	14	5.2%	1.8%	7.8% *	25	7.2%	4.4%	7.6%
相手につけてって言えないから	10	12.5%	5.6%	14.5%	19	7.1%	4.4%	9.1%	41	11.8%	6.7%	12.6%
相手は特定のひとと決めているから	8	10.0%	16.7%	8.1%	22	8.2%	4.4%	11.0% *	12	3.5%	2.2%	3.7%
PrEP を服用しているから	1	1.3%	0.0%	1.6%	18	6.7%	8.8%	5.2%	5	1.4%	8.9%	0.3% **
定期的に検査しているから	4	5.0%	11.1%	3.2%	17	6.3%	8.8%	4.5%	4	1.2%	6.7%	0.3% **
HIV に感染しても治療方法があるから	0	0.0%			3	1.1%	0.0%	1.9%	1	0.3%	0.0%	0.3%
HIV 陽性で、治療を継続しているから	2	2.5%	0.0%	3.2%	15	5.6%	7.9%	3.9%	1	0.3%	2.2%	0.0% *
相手次第で、どちらでもよい	13	16.3%	11.1%	17.7%	31	11.6%	6.1%	15.6% *	109	31.5%	6.7%	35.2% **
その他	0	0.0%			12	4.5%	6.1%	3.2%	2	0.6%	4.4%	0.0% **
セックス / アナルセックスはしないから	5	6.3%	16.7%	3.2% *	36	13.4%	16.7%	11.0%	33	9.5%	17.8%	8.3% *
必ず使う	8	10.0%	11.1%	9.7%	61	22.8%	30.7%	16.9% *	70	20.2%	26.7%	19.3%
過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするとき同時に使用したものはありますか。(複数回答)												
うがい薬	9	11.3%	22.2%	8.1%	47	17.5%	19.3%	16.2%	34	9.8%	31.1%	6.6% **
水溶性ローション(潤滑剤)	18	22.5%	27.8%	21.0%	102	38.1%	35.1%	40.3%	65	18.8%	42.2%	15.3% **
ぼっき薬(バイアグラなど)	10	12.5%	5.6%	14.5%	40	14.9%	12.3%	16.9%	35	10.1%	20.0%	8.6% *
ラッシュ	1	1.3%	5.6%	0.0%	7	2.6%	4.4%	1.3%	8	2.3%	4.4%	2.0%
5MEO-DIPT	0	0.0%			2	0.7%	0.9%	0.6%	0	0.0%		
MDMA	0	0.0%			1	0.4%	0.9%	0.0%	0	0.0%		
GHB	0	0.0%			3	1.1%	1.8%	0.6%	0	0.0%		
覚せい剤	2	2.5%	11.1%	0.0% *	2	0.7%	1.8%	0.0%	0	0.0%		
大麻	1	1.3%	5.6%	0.0%	0	0.0%			0	0.0%		
ヘロイン	0	0.0%			1	0.4%	0.0%	0.6%	0	0.0%		
コカイン	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
その他のセックスドラッグや危険ドラッグ・合成ドラッグ	0	0.0%			2	0.7%	0.9%	0.6%	0	0.0%		
いずれも使用していない	51	63.8%	55.6%	66.1%	133	49.6%	51.8%	48.1%	255	73.7%	44.4%	78.1% **
(再掲) 過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするときの薬物使用												
使用していない	69	86.3%	88.9%	85.5% *	217	81.0%	81.6%	80.5%	308	89.0%	77.8%	90.7% *
ぼっき薬のみ	9	11.3%	0.0%	14.5%	37	13.8%	11.4%	15.6%	30	8.7%	17.8%	7.3%
薬物併用	2	2.5%	11.1%	0.0%	14	5.2%	7.0%	3.9%	8	2.3%	4.4%	2.0%

次頁へ続く

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) を知っていますか。												
とてもよく知っている	12	15.0%	38.9%	8.1% **	75	28.0%	30.7%	26.0% *	27	7.8%	44.4%	2.3% **
具体的には知らないが、聞いたことはある	26	32.5%	50.0%	27.4%	118	44.0%	49.1%	40.3%	44	12.7%	33.3%	9.6%
まったく知らない	42	52.5%	11.1%	64.5%	75	28.0%	20.2%	33.8%	275	79.5%	22.2%	88.0%
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたいと思いますか。												
服薬したい	5	6.3%	16.7%	3.2% **	55	20.5%	25.4%	16.9% *	34	9.8%	28.9%	7.0% **
どちらかといえば、服薬したい	16	20.0%	44.4%	12.9%	83	31.0%	25.4%	35.1%	62	17.9%	33.3%	15.6%
どちらかといえば、服薬したくない	18	22.5%	5.6%	27.4%	42	15.7%	11.4%	18.8%	75	21.7%	6.7%	23.9%
服薬したくない	36	45.0%	16.7%	53.2%	58	21.6%	20.2%	22.7%	169	48.8%	24.4%	52.5%
現在、治療で抗 HIV 薬の服薬治療を続けている	5	6.3%	16.7%	3.2%	30	11.2%	17.5%	6.5%	6	1.7%	6.7%	1.0%
過去 6 ヶ月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがありますか。												
ある	4	5.0%	5.6%	4.8%	24	9.0%	9.6%	8.4% *	10	2.9%	17.8%	0.7% _**
ない	71	88.8%	77.8%	91.9%	214	79.9%	72.8%	85.1%	330	95.4%	75.6%	98.3%
現在、治療で抗 HIV 薬の服薬治療を続けている	5	6.3%	16.7%	3.2%	30	11.2%	17.5%	6.5%	6	1.7%	6.7%	1.0%
PrEP の薬はどこで入手していますか / していましたか？ 1)												
インターネットで購入	4	100.0%	100%	100%	13	54.2%	63.6%	46.2%	5	50.0%	62.5%	0.0%
友人から譲渡・購入	0	0.0%			1	4.2%	9.1%	0.0%	1	10.0%	12.5%	0.0%
海外の医療機関	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
海外の NGO/NPO	0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
国内の医療機関	0	0.0%			10	41.7%	27.3%	53.8%	4	40.0%	25.0%	100%
PrEP をするさいに、定期的な医師の診察は受けていますか。1)												
定期的に受けている／受けていた	1	25.0%	0.0%	33.3%	11	45.8%	45.5%	46.2%	6	60.0%	62.5%	50.0%
定期的ではないが受けている／受けていた	1	25.0%	0.0%	33.3%	4	16.7%	9.1%	23.1%	0	0.0%		
初回のみ受けている／受けていた	0	0.0%			2	8.3%	0.0%	15.4%	1	10.0%	0.0%	50.0%
まったく受けていない／受けていなかった	1	25.0%	0.0%	33.3%	6	25.0%	36.4%	15.4%	3	30.0%	37.5%	0.0%
場所が見つからない／見つからなかった／わからない	1	25.0%	100%	0.0%	1	4.2%	9.1%	0.0%	0	0.0%		
これまでにかかったことがある性感染症												
梅毒	11	13.8%	22.2%	11.3%	39	14.6%	20.2%	10.4% *	15	4.3%	22.2%	1.7% **
A 型肝炎	2	2.5%	11.1%	0.0% *	3	1.1%	2.6%	0.0% *	0	0.0%		
B 型肝炎	7	8.8%	27.8%	3.2% **	19	7.1%	11.4%	3.9% *	4	1.2%	6.7%	0.3% **
C 型肝炎	1	1.3%	5.6%	0.0%	1	0.4%	0.0%	0.6%	0	0.0%		
クラミジア	8	10.0%	5.6%	11.3%	38	14.2%	14.9%	13.6%	121	35.0%	11.1%	38.5% **
尖圭コンジローマ	6	7.5%	11.1%	6.5%	18	6.7%	8.8%	5.2%	18	5.2%	8.9%	4.7%
淋病	7	8.8%	11.1%	8.1%	24	9.0%	11.4%	7.1%	15	4.3%	4.4%	4.3%
HIV 感染症	5	6.3%	16.7%	3.2% *	30	11.2%	17.5%	6.5% **	6	1.7%	6.7%	1.0% *
赤痢アメーバ	4	5.0%	5.6%	4.8%	7	2.6%	2.6%	2.6%	3	0.9%	2.2%	0.7%
毛じらみ	11	13.8%	5.6%	16.1%	42	15.7%	20.2%	12.3%	19	5.5%	15.6%	4.0% **
性器ヘルペス	8	10.0%	22.2%	6.5% *	11	4.1%	3.5%	4.5%	41	11.8%	0.0%	13.6% *
その他	2	2.5%	5.6%	1.6%	6	2.2%	3.5%	1.3%	0	0.0%		
いずれもない	34	42.5%	50.0%	40.3%	151	56.3%	55.3%	57.1%	176	50.9%	62.2%	49.2%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) 過去 6 ヶ月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.2-6 GCQ2023 配布基点別分析 地域別分析 過去 6 ヶ月間のコミュニティセンター・啓発活動の認知
【名古屋 /rise・大阪 /dista・福岡 /HACO】

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面 WEB				対面 WEB				対面 WEB	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
次の団体を知っていますか。(複数回答)												
にじいろほっかいどう	1	1.3%	0.0%	1.6%	20	7.5%	10.5%	5.2%	13	3.8%	13.3%	2.3% **
やろっこ	0	0.0%			17	6.3%	7.0%	5.8%	6	1.7%	11.1%	0.3% **
NPO 法人 akta	14	17.5%	38.9%	11.3% *	86	32.1%	40.4%	26.0% *	23	6.6%	46.7%	0.7% **
NPO 法人 SHIP	6	7.5%	22.2%	3.2% *	51	19.0%	21.1%	17.5%	17	4.9%	22.2%	2.3% **
ANGEL LIFE NAGOYA	19	23.8%	44.4%	17.7% *	28	10.4%	11.4%	9.7%	8	2.3%	15.6%	0.3% **
MASH 大阪	4	5.0%	16.7%	1.6% *	104	38.8%	62.3%	21.4% **	11	3.2%	17.8%	1.0% **
HaaT えひめ/ BRIDGE プロジェクト	4	5.0%	0.0%	6.5%	31	11.6%	15.8%	8.4%	11	3.2%	13.3%	1.7% **
HACO	3	3.8%	5.6%	3.2%	39	14.6%	19.3%	11.0%	66	19.1%	93.3%	8.0% **
nankr 沖縄	2	2.5%	5.6%	1.6%	21	7.8%	12.3%	4.5% *	20	5.8%	26.7%	2.7% **
いずれも知らない	55	68.8%	38.9%	77.4% **	118	44.0%	28.1%	55.8% **	258	74.6%	6.7%	84.7% **
上記の団体が啓発活動をしていることを知っていますか。(いずれか知っている n=610)												
過去 6 ヶ月間に見たことある	10	40.0%	45.5%	35.7%	83	55.3%	63.4%	45.6%	56	63.6%	88.1%	41.3% **
知っているが、過去 6 ヶ月間には見たことはない	6	24.0%	36.4%	14.3%	42	28.0%	23.2%	33.8%	15	17.0%	4.8%	28.3%
知らない	9	36.0%	18.2%	50.0%	25	16.7%	13.4%	20.6%	17	19.3%	7.1%	30.4%
予防啓発をしている団体が商業施設やイベントで、無料で配布している Condom やローションを知っていますか。												
過去 6 ヶ月間に受け取ったことがある	13	16.3%	50.0%	6.5% **	45	16.8%	29.8%	7.1% **	33	9.5%	55.6%	2.7% **
過去 6 ヶ月より前に受け取ったことがある	7	8.8%	11.1%	8.1%	71	26.5%	35.1%	20.1%	20	5.8%	17.8%	4.0%
知っているが、受け取ったことはない	26	32.5%	22.2%	35.5%	76	28.4%	20.2%	34.4%	49	14.2%	17.8%	13.6%
知らない	34	42.5%	16.7%	50.0%	76	28.4%	14.9%	38.3%	244	70.5%	8.9%	79.7%
コミュニティセンター ZEL (宮城県仙台市)を知っていますか。												
知らない	79	98.8%	94.4%	100%	250	93.3%	90.4%	95.5% *	335	96.8%	80.0%	99.3% **
知っている	1	1.3%	5.6%	0.0%	16	6.0%	9.6%	3.2%	11	3.2%	20.0%	0.7%
過去 6 ヶ月間に行った	0	0.0%			2	0.7%	0.0%	1.3%	0	0.0%		
コミュニティセンター akta (東京都新宿区)を知っていますか。												
知らない	68	85.0%	66.7%	90.3% **	168	62.7%	51.8%	70.8% **	318	91.9%	46.7%	98.7% **
知っている	9	11.3%	16.7%	9.7%	77	28.7%	34.2%	24.7%	22	6.4%	42.2%	1.0%
過去 6 ヶ月間に行った	3	3.8%	16.7%	0.0%	23	8.6%	14.0%	4.5%	6	1.7%	11.1%	0.3%
コミュニティセンター SHIP にじいろキャビン(神奈川県横浜市)を知っていますか。												
知らない	76	95.0%	83.3%	98.4% *	216	80.6%	78.1%	82.5%	329	95.1%	73.3%	98.3% **
知っている	4	5.0%	16.7%	1.6%	48	17.9%	21.1%	15.6%	17	4.9%	26.7%	1.7%
過去 6 ヶ月間に行った	0	0.0%			4	1.5%	0.9%	1.9%	0	0.0%		
コミュニティセンター rise (愛知県名古屋市)を知っていますか。												
知らない	49	61.3%	16.7%	74.2% **	225	84.0%	79.8%	87.0%	325	93.9%	55.6%	99.7% **
知っている	14	17.5%	0.0%	22.6%	34	12.7%	14.0%	11.7%	17	4.9%	35.6%	0.3%
過去 6 ヶ月間に行った	17	21.3%	83.3%	3.2%	9	3.4%	6.1%	1.3%	4	1.2%	8.9%	0.0%
コミュニティセンター dista (大阪府大阪市)を知っていますか。												
知らない	72	90.0%	77.8%	93.5% *	111	41.4%	6.1%	67.5% **	326	94.2%	60.0%	99.3% **
知っている	6	7.5%	11.1%	6.5%	45	16.8%	8.8%	22.7%	16	4.6%	31.1%	0.7%
過去 6 ヶ月間に行った	2	2.5%	11.1%	0.0%	112	41.8%	85.1%	9.7%	4	1.2%	8.9%	0.0%
コミュニティセンター HACO (福岡県福岡市)を知っていますか。												
知らない	75	93.8%	83.3%	96.8%	224	83.6%	77.2%	88.3% *	279	80.6%	4.4%	92.0% **
知っている	4	5.0%	11.1%	3.2%	40	14.9%	21.1%	10.4%	14	4.0%	2.2%	4.3%
過去 6 ヶ月間に行った	1	1.3%	5.6%	0.0%	4	1.5%	1.8%	1.3%	53	15.3%	93.3%	3.7%

次頁へ続く

	名古屋 (rise) n=80				大阪 (dista) n=268				福岡 (HACO) n=346			
			対面				対面				対面	
	n	%	n=18	n=62	n	%	n=114	n=154	n	%	n=45	n=301
コミュニティセンター mabui (沖縄県那覇市)を知っていますか。												
知らない	77	96.3%	88.9%	98.4%	247	92.2%	88.6%	94.8%	325	93.9%	60.0%	99.0% **
知っている	3	3.8%	11.1%	1.6%	20	7.5%	11.4%	4.5%	17	4.9%	35.6%	0.3%
過去6ヵ月間に行った	0	0.0%			1	0.4%	0.0%	0.6%	4	1.2%	4.4%	0.7%
(再掲)コミュニティセンターを知っていますか。												
知らない	47	58.8%	16.7%	71.0% **	83	31.0%	5.3%	50.0% **	272	78.6%	4.4%	89.7% **
知っている	16	20.0%	0.0%	25.8%	61	22.8%	8.8%	33.1%	20	5.8%	2.2%	6.3%
過去6ヵ月間に行った	17	21.3%	83.3%	3.2%	124	46.3%	86.0%	16.9%	54	15.6%	93.3%	4.0%
コミュニティペーパー ZEL Free paperを知っていますか。												
知らない	79	98.8%	94.4%	100%	251	93.7%	92.1%	94.8%	334	96.5%	77.8%	99.3% **
知っている	0	0.0%			13	4.9%	5.3%	4.5%	8	2.3%	15.6%	0.3%
過去6ヵ月間に読んだ	1	1.3%	5.6%	0.0%	4	1.5%	2.6%	0.6%	4	1.2%	6.7%	0.3%
コミュニティペーパー akta community paperを知っていますか。												
知らない	73	91.3%	77.8%	95.2%	215	80.2%	78.1%	81.8%	333	96.2%	75.6%	99.3% **
知っている	5	6.3%	16.7%	3.2%	35	13.1%	14.9%	11.7%	7	2.0%	13.3%	0.3%
過去6ヵ月間に読んだ	2	2.5%	5.6%	1.6%	18	6.7%	7.0%	6.5%	6	1.7%	11.1%	0.3%
コミュニティペーパー YOKOHAMA Gay Community Paper Crewを知っていますか。												
知らない	79	98.8%	94.4%	100%	237	88.4%	89.5%	87.7%	337	97.4%	82.2%	99.7% **
知っている	0	0.0%			24	9.0%	7.9%	9.7%	6	1.7%	11.1%	0.3%
過去6ヵ月間に読んだ	1	1.3%	5.6%	0.0%	7	2.6%	2.6%	2.6%	3	0.9%	6.7%	0.0%
コミュニティペーパー HANAを知っていますか。												
知らない	65	81.3%	44.4%	91.9% **	251	93.7%	93.9%	93.5%	338	97.7%	84.4%	99.7% **
知っている	1	1.3%	5.6%	0.0%	12	4.5%	3.5%	5.2%	3	0.9%	6.7%	0.0%
過去6ヵ月間に読んだ	14	17.5%	50.0%	8.1%	5	1.9%	2.6%	1.3%	5	1.4%	8.9%	0.3%
季刊紙 南界堂通信を知っていますか。												
知らない	77	96.3%	94.4%	96.8%	183	68.3%	43.0%	87.0% **	339	98.0%	86.7%	99.7% **
知っている	2	2.5%	0.0%	3.2%	28	10.4%	14.0%	7.8%	5	1.4%	11.1%	0.0%
過去6ヵ月間に読んだ	1	1.3%	5.6%	0.0%	57	21.3%	43.0%	5.2%	2	0.6%	2.2%	0.3%
ゲイコミュニティペーパー Fight!!を知っていますか。												
知らない	79	98.8%	100%	98.4%	254	94.8%	92.1%	96.8%	340	98.3%	88.9%	99.7% **
知っている	1	1.3%	0.0%	1.6%	11	4.1%	5.3%	3.2%	3	0.9%	6.7%	0.0%
過去6ヵ月間に読んだ	0	0.0%			3	1.1%	2.6%	0.0%	3	0.9%	4.4%	0.3%
コミュニティペーパー NEW SEASONを知っていますか。												
知らない	77	96.3%	83.3%	100% **	254	94.8%	94.7%	94.8%	304	87.9%	24.4%	97.3% **
知っている	1	1.3%	5.6%	0.0%	12	4.5%	3.5%	5.2%	5	1.4%	8.9%	0.3%
過去6ヵ月間に読んだ	2	2.5%	11.1%	0.0%	2	0.7%	1.8%	0.0%	37	10.7%	66.7%	2.3%
コミュニティペーパー nankrを知っていますか。												
知らない	78	97.5%	88.9%	100% *	251	93.7%	90.4%	96.1%	330	95.4%	82.2%	97.3% **
知っている	2	2.5%	11.1%	0.0%	13	4.9%	7.9%	2.6%	10	2.9%	8.9%	2.0%
過去6ヵ月間に読んだ	0	0.0%			4	1.5%	1.8%	1.3%	6	1.7%	8.9%	0.7%
(再掲)コミュニティペーパーを知っていますか。												
知らない	63	78.8%	33.3%	91.9% **	142	53.0%	36.0%	65.6% **	295	85.3%	22.2%	94.7% **
知っている	0	0.0%			49	18.3%	15.8%	20.1%	12	3.5%	11.1%	2.3%
過去6ヵ月間に読んだ	17	21.3%	66.7%	8.1%	77	28.7%	48.2%	14.3%	39	11.3%	66.7%	3.0%

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

表 2.3-1 GCQ2023 配布基点別分析 性別・年齢・居住地・就業形態
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.				地域間比較 Pearson カイ 2 乗	
	n	%	対面 n=44	WEB n=94	n=1,596	対面 n=372	WEB n=1,224	Pearson カイ 2 乗		
回答方法										
対面	44	31.9%			372	23.3%				< 0.01
WEB	94	68.1%			1,224	76.7%				
あなたの性別を教えてください。										
男性	124	89.9%	97.7%	86.2%	1,384	86.7%	302 81.2%	1082 88.4%	< 0.01	< 0.01
女性として生まれたが男性(FtM)	3	2.2%	0.0%	3.2%	57	3.6%	9 2.4%	48 3.9%		
男性として生まれたが女性(MtF)	6	4.3%	0.0%	6.4%	94	5.9%	23 6.2%	71 5.8%		
女性	1	0.7%	0.0%	1.1%	46	2.9%	29 7.8%	17 1.4%		
その他	4	2.9%	2.3%	3.2%	15	0.9%	9 2.4%	6 0.5%		
あなたは以下のどれにあてはまりますか。										
ゲイ(男性同性愛者)	92	66.7%	65.9%	67.0%	1,029	64.5%	235 63.2%	794 64.9%	< 0.01	< 0.01
レズビアン(女性同性愛者)	0	0.0%			11	0.7%	6 1.6%	5 0.4%		
バイセクシュアル(両性愛者)	30	21.7%	22.7%	21.3%	369	23.1%	55 14.8%	314 25.7%		
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	4	2.9%	0.0%	4.3%	74	4.6%	29 7.8%	45 3.7%		
わからない	5	3.6%	4.5%	3.2%	49	3.1%	21 5.6%	28 2.3%		
決めたくない	3	2.2%	4.5%	1.1%	44	2.8%	12 3.2%	32 2.6%		
その他	4	2.9%	2.3%	3.2%	20	1.3%	14 3.8%	6 0.5%		
親にカミングアウトした経験はありますか。 ¹⁾										
両親ともにした	20	14.9%	6.8%	18.9% **	195	12.8%	75 21.9%	120 10.2%	< 0.01	< 0.01
父親のみにした	5	3.7%	0.0%	5.6%	69	4.5%	4 1.2%	65 5.5%		
母親のみにした	31	23.1%	18.2%	25.6%	197	12.9%	63 18.4%	134 11.4%		
両親ともにしていない / しなかった	42	31.3%	34.1%	30.0%	601	39.5%	107 31.2%	494 41.9%		
伝えていないが、父親 / 母親 / 両親は知っている	11	8.2%	4.5%	10.0%	122	8.0%	24 7.0%	98 8.3%		
親はいない	1	0.7%	0.0%	1.1%	46	3.0%	15 4.4%	31 2.6%		
カミングアウトする必要はない	24	17.9%	36.4%	8.9%	292	19.2%	55 16.0%	237 20.1%		
職場や学校でカミングアウトはしていますか。 ¹⁾										
広くしている(隠していない)	23	17.2%	11.4%	20.0%	148	9.7%	60 17.5%	88 7.5%	< 0.01	< 0.01
信頼できる人へのみにしている	48	35.8%	36.4%	35.6%	440	28.9%	128 37.3%	312 26.5%		
全くしていない	38	28.4%	40.9%	22.2%	581	38.2%	109 31.8%	472 40.0%		
カミングアウトする必要はない	25	18.7%	11.4%	22.2%	353	23.2%	46 13.4%	307 26.0%		
年齢層										
平均年齢 ± SD	31.0 ± 11.2				37.6 ± 10.5					
18 歳 - 19 歳	16	11.6%	18.2%	8.5%	62	3.9%	13 3.5%	49 4.0%	< 0.01	< 0.01
20 歳 - 29 歳	60	43.5%	54.5%	38.3%	290	18.2%	100 26.9%	190 15.5%		
30 歳 - 39 歳	33	23.9%	18.2%	26.6%	576	36.1%	127 34.1%	449 36.7%		
40 歳 - 49 歳	17	12.3%	4.5%	16.0%	436	27.3%	59 15.9%	377 30.8%		
50 歳 - 59 歳	10	7.2%	4.5%	8.5%	193	12.1%	52 14.0%	141 11.5%		
60 歳以上	2	1.4%	0.0%	2.1%	39	2.4%	21 5.6%	18 1.5%		
出生年										
1950 年以前	2	1.4%	0.0%	2.1% **	18	1.1%	9 2.4%	9 0.7%	< 0.01	< 0.01
1960 年代	6	4.3%	2.3%	5.3%	99	6.2%	38 10.2%	61 5.0%		
1970 年代	11	8.0%	2.3%	10.6%	311	19.5%	57 15.3%	254 20.8%		
1980 年代	29	21.0%	9.1%	26.6%	605	37.9%	101 27.2%	504 41.2%		
1990 年代	39	28.3%	27.3%	28.7%	395	24.7%	103 27.7%	292 23.9%		
2000 年代	51	37.0%	59.1%	26.6%	168	10.5%	64 17.2%	104 8.5%		

次頁へ続く

前頁の続き(表 2.3-1)

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.							地域間比較 Pearson カイ 2 乗	
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
回答方法													
	対面	44	31.9%			372	23.3%					< 0.01	
	WEB	94	68.1%			1,224	76.7%						
あなたの出身国はどこですか。													
	日本	136	98.6%	100%	97.9%	1,579	98.9%	365	98.1%	1214	99.2%	< 0.01	< 0.01
	海外	2	1.4%	0.0%	2.1%	17	1.1%	7	1.9%	10	0.8%		
居住地域													
	北海道東北	4	2.9%	0.0%	4.3% **	216	13.5%	29	7.8%	187	15.3%	< 0.01	< 0.01
	関東 (東京除く)	11	8.0%	2.3%	10.6%	236	14.8%	59	15.9%	177	14.5%		
	東京都	11	8.0%	0.0%	11.7%	173	10.8%	62	16.7%	111	9.1%		
	甲信越	1	0.7%	0.0%	1.1%	55	3.4%	0	0.0%	55	4.5%		
	北陸	1	0.7%	0.0%	1.1%	39	2.4%	0	0.0%	39	3.2%		
	東海	4	2.9%	2.3%	3.2%	114	7.1%	23	6.2%	91	7.4%		
	近畿	5	3.6%	0.0%	5.3%	315	19.7%	107	28.8%	208	17.0%		
	中国四国	8	5.8%	2.3%	7.4%	164	10.3%	5	1.3%	159	13.0%		
	九州 (沖縄除く)	16	11.6%	2.3%	16.0%	196	12.3%	46	12.4%	150	12.3%		
	沖縄県	77	55.8%	90.9%	39.4%	84	5.3%	40	10.8%	44	3.6%		
	海外	0	0.0%			4	0.3%	1	0.3%	3	0.2%		
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
	中心市街地	63	45.7%	54.5%	41.5%	576	36.1%	190	51.1%	386	31.5%	< 0.01	< 0.01
	郊外住宅地	53	38.4%	34.1%	40.4%	887	55.6%	164	44.1%	723	59.1%		
	農村地域・漁村地域	15	10.9%	9.1%	11.7%	98	6.1%	14	3.8%	84	6.9%		
	山間部	5	3.6%	2.3%	4.3%	32	2.0%	4	1.1%	28	2.3%		
	離島	2	1.4%	0.0%	2.1%	3	0.2%	0	0.0%	3	0.2%		
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか。													
	はい	73	52.9%	59.1%	50.0%	803	50.3%	179	48.1%	624	51.0%	0.22	< 0.01
	いいえ (一人暮らし)	60	43.5%	34.1%	47.9%	784	49.1%	189	50.8%	595	48.6%		
	定住している家はない	5	3.6%	6.8%	2.1%	9	0.6%	4	1.1%	5	0.4%		
あなたの最終学歴を教えてください。													
	中学校	8	5.8%	11.4%	3.2%	38	2.4%	23	6.2%	15	1.2%	< 0.01	< 0.01
	高等学校	36	26.1%	27.3%	25.5%	460	28.8%	67	18.0%	393	32.1%		
	短大・高専	11	8.0%	9.1%	7.4%	96	6.0%	18	4.8%	78	6.4%		
	専門学校	24	17.4%	18.2%	17.0%	351	22.0%	53	14.2%	298	24.3%		
	大学	41	29.7%	27.3%	30.9%	534	33.5%	151	40.6%	383	31.3%		
	大学院	17	12.3%	4.5%	16.0%	113	7.1%	56	15.1%	57	4.7%		
	その他	1	0.7%	2.3%	0.0%	4	0.3%	4	1.1%	0	0.0%		
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか。													
	常勤 (正規雇用)	48	34.8%	27.3%	38.3%	776	48.6%	147	39.5%	629	51.4%	< 0.01	< 0.01
	常勤 (非正規雇用)	15	10.9%	9.1%	11.7%	275	17.2%	39	10.5%	236	19.3%		
	パートタイマー	6	4.3%	4.5%	4.3%	106	6.6%	27	7.3%	79	6.5%		
	アルバイト	41	29.7%	45.5%	22.3%	195	12.2%	65	17.5%	130	10.6%		
	経営者	5	3.6%	0.0%	5.3%	56	3.5%	17	4.6%	39	3.2%		
	その他	11	8.0%	6.8%	8.5%	60	3.8%	33	8.9%	27	2.2%		
	働いていない	12	8.7%	6.8%	9.6%	128	8.0%	44	11.8%	84	6.9%		

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) ヘテロセクシュアルと回答した人を除いて集計したため、総数は異なる。

表 2.3-2 GCQ2023 配布基点別分析 年収・この 1 年間の暮らしの状況・過去 6 ヶ月間の利用施設
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.								地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
この 1 年間の年収(税込みの総額)は、およそどのくらいですか？													
100 万円未満	37	26.8%	40.9%	20.2%	239	15.0%	92	24.7%	147	12.0%	< 0.01	< 0.01	
100 万円 ～ 200 万円未満	31	22.5%	25.0%	21.3%	260	16.3%	79	21.2%	181	14.8%			
200 万円 ～ 300 万円未満	28	20.3%	20.5%	20.2%	331	20.7%	69	18.5%	262	21.4%			
300 万円 ～ 400 万円未満	16	11.6%	6.8%	13.8%	456	28.6%	44	11.8%	412	33.7%			
400 万円 ～ 500 万円未満	9	6.5%	2.3%	8.5%	151	9.5%	30	8.1%	121	9.9%			
500 万円 ～ 600 万円未満	6	4.3%	2.3%	5.3%	73	4.6%	22	5.9%	51	4.2%			
600 万円 ～ 700 万円未満	3	2.2%	2.3%	2.1%	35	2.2%	16	4.3%	19	1.6%			
700 万円 ～ 800 万円未満	2	1.4%	0.0%	2.1%	21	1.3%	9	2.4%	12	1.0%			
800 万円 ～ 900 万円未満	0	0.0%			7	0.4%	2	0.5%	5	0.4%			
900 万円 ～ 1000 万円未満	3	2.2%	0.0%	3.2%	8	0.5%	4	1.1%	4	0.3%			
1000 万円以上	3	2.2%	0.0%	3.2%	15	0.9%	5	1.3%	10	0.8%			
現在、生活費はどのようにまかっていますか。(複数回答)													
就労による収入	110	79.7%	70.5%	84.0%	1,404	88.0%	280	75.3%	1124	91.8%	< 0.01	< 0.01	
生活保護	2	1.4%	2.3%	1.1%	36	2.3%	21	5.6%	15	1.2%	< 0.01	0.04	
児童扶養手当	0	0.0%			3	0.2%	1	0.3%	2	0.2%	0.68	0.82	
失業手当	1	0.7%	0.0%	1.1%	11	0.7%	2	0.5%	9	0.7%	0.69	0.34	
年金	6	4.3%	4.5%	4.3%	67	4.2%	40	10.8%	27	2.2%	< 0.01	< 0.01	
貯蓄の切り崩し	11	8.0%	4.5%	9.6%	176	11.0%	28	7.5%	148	12.1%	0.01	0.29	
子どもの親から送られる養育費	5	3.6%	9.1%	1.1% *	12	0.8%	8	2.2%	4	0.3%	< 0.01	< 0.01	
実家、親族等からの援助	33	23.9%	36.4%	18.1% *	287	18.0%	75	20.2%	212	17.3%	0.21	0.18	
その他	5	3.6%	4.5%	3.2%	30	1.9%	16	4.3%	14	1.1%	< 0.01	< 0.01	
この 1 年間、普段の生活において経済的なことや生活で困ることがありましたか。													
ない	53	38.4%	47.7%	34.0%	741	46.4%	204	54.8%	537	43.9%	< 0.01	< 0.01	
1 回あった	15	10.9%	6.8%	12.8%	133	8.3%	34	9.1%	99	8.1%			
2 回 ～ 3 回あった	33	23.9%	20.5%	25.5%	445	27.9%	60	16.1%	385	31.5%			
4 回 ～ 5 回あった	13	9.4%	9.1%	9.6%	137	8.6%	19	5.1%	118	9.6%			
6 回以上あった	24	17.4%	15.9%	18.1%	140	8.8%	55	14.8%	85	6.9%			
この 1 年間、医療費の支払いに不安を感じたことがありましたか。													
ない	78	56.5%	79.5%	45.7% **	916	57.4%	279	75.0%	637	52.0%	< 0.01	< 0.01	
1 回あった	23	16.7%	2.3%	23.4%	193	12.1%	26	7.0%	167	13.6%			
2 回 ～ 3 回あった	26	18.8%	13.6%	21.3%	363	22.7%	39	10.5%	324	26.5%			
4 回 ～ 5 回あった	7	5.1%	0.0%	7.4%	75	4.7%	2	0.5%	73	6.0%			
6 回以上あった	4	2.9%	4.5%	2.1%	49	3.1%	26	7.0%	23	1.9%			
この 1 年間、給与や年金の支給前に、暮らしに困ることがありましたか。													
ない	69	50.0%	61.4%	44.7% *	834	52.3%	245	65.9%	589	48.1%	< 0.01	< 0.01	
1 回あった	19	13.8%	6.8%	17.0%	174	10.9%	28	7.5%	146	11.9%			
2 回 ～ 3 回あった	21	15.2%	9.1%	18.1%	398	24.9%	48	12.9%	350	28.6%			
4 回 ～ 5 回あった	6	4.3%	0.0%	6.4%	106	6.6%	11	3.0%	95	7.8%			
6 回以上あった	23	16.7%	22.7%	13.8%	84	5.3%	40	10.8%	44	3.6%			

次頁へ続く

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.							地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗		
			n=44	n=94		n=372	n=1,224					
この 1 年間、家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったことがありましたか。												
ない	65	47.1%	61.4%	40.4% *	784	49.1%	239	64.2%	545	44.5%	< 0.01	< 0.01
1 回あった	18	13.0%	6.8%	16.0%	201	12.6%	33	8.9%	168	13.7%		
2 回 ~ 3 回あった	19	13.8%	6.8%	17.0%	415	26.0%	52	14.0%	363	29.7%		
4 回 ~ 5 回あった	17	12.3%	4.5%	16.0%	113	7.1%	13	3.5%	100	8.2%		
6 回以上あった	19	13.8%	20.5%	10.6%	83	5.2%	35	9.4%	48	3.9%		
この 1 年間、食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かや自分自身が空腹な思いをしたことがありましたか。												
ない	92	66.7%	79.5%	60.6% *	984	61.7%	311	83.6%	673	55.0%	< 0.01	< 0.01
1 回あった	11	8.0%	2.3%	10.6%	119	7.5%	12	3.2%	107	8.7%		
2 回 ~ 3 回あった	14	10.1%	2.3%	13.8%	306	19.2%	13	3.5%	293	23.9%		
4 回 ~ 5 回あった	8	5.8%	2.3%	7.4%	115	7.2%	9	2.4%	106	8.7%		
6 回以上あった	13	9.4%	13.6%	7.4%	72	4.5%	27	7.3%	45	3.7%		
この 1 年間、経済的な理由で衣類購入を控えたことがありましたか。												
ない	59	42.8%	56.8%	36.2%	780	48.9%	205	55.1%	575	47.0%	< 0.01	< 0.01
1 回あった	16	11.6%	9.1%	12.8%	117	7.3%	31	8.3%	86	7.0%		
2 回 ~ 3 回あった	25	18.1%	11.4%	21.3%	398	24.9%	66	17.7%	332	27.1%		
4 回 ~ 5 回あった	13	9.4%	4.5%	11.7%	167	10.5%	21	5.6%	146	11.9%		
6 回以上あった	25	18.1%	18.2%	18.1%	134	8.4%	49	13.2%	85	6.9%		
K6(平均 8.0 ± 5.1、0 点 - 24 点)												
0 点 - 4 点	45	32.6%	47.7%	25.5% *	349	21.9%	149	40.1%	200	16.3%	< 0.01	< 0.01
5 点 - 9 点	38	27.5%	15.9%	33.0%	725	45.4%	104	28.0%	621	50.7%		
10 点 - 12 点	17	12.3%	13.6%	11.7%	212	13.3%	51	13.7%	161	13.2%		
13 点以上	38	27.5%	22.7%	29.8%	310	19.4%	68	18.3%	242	19.8%		
過去 6 ヶ月間に、以下のゲイ向けの施設やサービスを利用しましたか。												
ゲイバー	58	42.0%	52.3%	37.2%	474	29.7%	171	46.0%	303	24.8%	< 0.01	< 0.01
ゲイイベント	27	19.6%	31.8%	13.8% *	209	13.1%	108	29.0%	101	8.3%	< 0.01	< 0.01
ゲイショップ	8	5.8%	4.5%	6.4%	143	9.0%	47	12.6%	96	7.8%	< 0.01	< 0.01
有料のハッテン場	21	15.2%	9.1%	18.1%	212	13.3%	107	28.8%	105	8.6%	< 0.01	< 0.01
野外のハッテン場	9	6.5%	2.3%	8.5%	75	4.7%	28	7.5%	47	3.8%	< 0.01	< 0.01
いずれもない	55	39.9%	34.1%	42.6%	901	56.5%	135	36.3%	766	62.6%	< 0.01	< 0.01
過去 6 ヶ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下の SNS や掲示板を利用しましたか。												
X (旧 Twitter)	79	57.2%	65.9%	53.2%	603	37.8%	121	32.5%	482	39.4%	0.02	< 0.01
Instagram	26	18.8%	9.1%	23.4% *	327	20.5%	47	12.6%	280	22.9%	< 0.01	0.01
VERO	8	5.8%	2.3%	7.4%	98	6.1%	27	7.3%	71	5.8%	0.31	0.19
9monsters	65	47.1%	50.0%	45.7%	400	25.1%	187	50.3%	213	17.4%	< 0.01	< 0.01
Blued	6	4.3%	2.3%	5.3%	71	4.4%	12	3.2%	59	4.8%	0.19	0.57
Men's Net Japan	6	4.3%	0.0%	6.4%	99	6.2%	41	11.0%	58	4.7%	< 0.01	< 0.01
KO - MENS' TV	1	0.7%	0.0%	1.1%	36	2.3%	13	3.5%	23	1.9%	0.07	0.02
爆サイ	13	9.4%	4.5%	11.7%	170	10.7%	27	7.3%	143	11.7%	0.02	0.11
SHIKOKU GAY WALKER	3	2.2%	0.0%	3.2%	3	0.2%	0	0.0%	3	0.2%	0.34	< 0.01
沖縄ゲイ情報裏掲示板	13	9.4%	11.4%	8.5%	22	1.4%	5	1.3%	17	1.4%	0.95	< 0.01
AMBIRD	14	10.1%	9.1%	10.6%	74	4.6%	45	12.1%	29	2.4%	< 0.01	< 0.01
その他	0	0.0%			31	1.9%	15	4.0%	16	1.3%	< 0.01	< 0.01
SNS や掲示板は利用していない	16	11.6%	13.6%	10.6%	542	34.0%	120	32.3%	422	34.5%	0.43	< 0.01

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

表 2.3-3 GCQ2023 配布基点別分析 過去 6 ヶ月間の対話経験・U=U の認知・HIV 感染の身近さ、HIV 抗体検査受検経験
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=138					MSM ALL JAPAN.							地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面		WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗		
			n=44	n=94			n=372	n=1,224					
過去 6 ヶ月間に、両親や兄弟姉妹と HIV やエイズについて話したことはありますか。													
ある	9	6.5%	4.5%	7.4%	56	3.5%	30	8.1%	26	2.1%	< 0.01	< 0.01	
ない	100	72.5%	65.9%	75.5%	1,356	85.0%	242	65.1%	1114	91.0%			
いない	29	21.0%	29.5%	17.0%	184	11.5%	100	26.9%	84	6.9%			
過去 6 ヶ月間に、恋人や大切な人と HIV やエイズについて話したことはありますか。													
ある	25	18.1%	20.5%	17.0%	170	10.7%	94	25.3%	76	6.2%	< 0.01	< 0.01	
ない	76	55.1%	47.7%	58.5%	959	60.1%	155	41.7%	804	65.7%			
いない	37	26.8%	31.8%	24.5%	467	29.3%	123	33.1%	344	28.1%			
過去 6 ヶ月間に、友達や知り合いと HIV やエイズについて話したことはありますか。													
ある	46	33.3%	38.6%	30.9%	296	18.5%	166	44.6%	130	10.6%	< 0.01	< 0.01	
ない	71	51.4%	43.2%	55.3%	1,179	73.9%	149	40.1%	1030	84.2%			
いない	21	15.2%	18.2%	13.8%	121	7.6%	57	15.3%	64	5.2%			
過去 6 ヶ月間に、過去 6 ヶ月間にセックスした相手と HIV やエイズについて話したことはありますか。													
ある	24	17.4%	15.9%	18.1%	182	11.4%	95	25.5%	87	7.1%	< 0.01	< 0.01	
ない	70	50.7%	43.2%	54.3%	800	50.1%	155	41.7%	645	52.7%			
いない	44	31.9%	40.9%	27.7%	614	38.5%	122	32.8%	492	40.2%			
「U = U」のことを、あなたは知っていましたか。													
よく知っている	28	20.3%	15.9%	22.3%	238	14.9%	125	33.6%	113	9.2%	< 0.01	< 0.01	
少し知っている	41	29.7%	34.1%	27.7%	367	23.0%	117	31.5%	250	20.4%			
あまり知らない	20	14.5%	20.5%	11.7%	413	25.9%	54	14.5%	359	29.3%			
全く知らない	49	35.5%	29.5%	38.3%	578	36.2%	76	20.4%	502	41.0%			
友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか。													
いる	17	12.3%	4.5%	16.0%	221	13.8%	122	32.8%	99	8.1%	< 0.01	< 0.01	
いると思う	27	19.6%	18.2%	20.2%	280	17.5%	67	18.0%	213	17.4%			
いないと思う	45	32.6%	31.8%	33.0%	482	30.2%	57	15.3%	425	34.7%			
いない	6	4.3%	9.1%	2.1%	212	13.3%	22	5.9%	190	15.5%			
わからない	43	31.2%	36.4%	28.7%	401	25.1%	104	28.0%	297	24.3%			
これまでに HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。													
ある	70	50.7%	38.6%	56.4%	762	47.7%	239	64.2%	523	42.7%	< 0.01	< 0.01	
ない	68	49.3%	61.4%	43.6%	834	52.3%	133	35.8%	701	57.3%			
これまでに受けた、HIV 抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。(複数回答) ¹⁾													
保健所の即日検査	27	38.6%	29.4%	41.5%	283	37.1%	111	46.4%	172	32.9%	< 0.01	0.02	
保健所の夜間検査	3	4.3%	0.0%	5.7%	73	9.6%	22	9.2%	51	9.8%	0.81	0.02	
保健所の即日・夜間検査以外の検査	4	5.7%	0.0%	7.5%	77	10.1%	42	17.6%	35	6.7%	< 0.01	< 0.01	
病院	16	22.9%	11.8%	26.4%	136	17.8%	45	18.8%	91	17.4%	0.63	0.26	
クリニック・医院・診療所	13	18.6%	17.6%	18.9%	230	30.2%	58	24.3%	172	32.9%	0.02	0.47	
郵送検査	26	37.1%	64.7%	28.3% *	219	28.7%	58	24.3%	161	30.8%	0.07	< 0.01	
新宿や大阪にある公的な検査機関	6	8.6%	0.0%	11.3%	105	13.8%	44	18.4%	61	11.7%	0.01	< 0.01	
その他	3	4.3%	5.9%	3.8%	27	3.5%	15	6.3%	12	2.3%	0.01	0.01	
過去 1 年間に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。													
ある	34	24.6%	20.5%	26.6%	305	19.1%	145	39.0%	160	13.1%	< 0.01	< 0.01	
ない	104	75.4%	79.5%	73.4%	1,291	80.9%	227	61.0%	1064	86.9%			

次頁へ続く

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.								地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けなかった理由はどれにあてはまりますか。(複数回答) ²⁾													
HIVに感染する行為はしていないから	25	36.8%	44.4%	31.7%	139	16.7%	55	41.4%	84	12.0%	< 0.01	< 0.01	
HIVに感染している可能性がないから	6	8.8%	3.7%	12.2%	67	8.0%	23	17.3%	44	6.3%	< 0.01	< 0.01	
結果を知るのが怖いから	8	11.8%	14.8%	9.8%	94	11.3%	12	9.0%	82	11.7%	0.37	0.40	
あいまいなままにしておきたいから	2	2.9%	3.7%	2.4%	57	6.8%	5	3.8%	52	7.4%	0.13	0.11	
感染していることがわかって メリットがないから	5	7.4%	0.0%	12.2%	66	7.9%	2	1.5%	64	9.1%	< 0.01	0.52	
新型コロナウイルスの感染のため、 利用を控えたから	0	0.0%			20	2.4%	4	3.0%	16	2.3%	0.62	0.12	
どこで検査を受けたら良いか 分からないから	9	13.2%	22.2%	7.3%	69	8.3%	20	15.0%	49	7.0%	< 0.01	0.48	
保健所や検査場所が休止になったから	0	0.0%			2	0.2%	0	0.0%	2	0.3%	0.54	0.65	
保健所や検査場所の都合で断られたから	0	0.0%			0	0.0%							
検査場所で知り合いに会う 可能性があるから	3	4.4%	0.0%	7.3%	42	5.0%	0	0.0%	42	6.0%	< 0.01	0.34	
機会(時間や場所など)がなかったから	15	22.1%	29.6%	17.1%	290	34.8%	32	24.1%	258	36.8%	< 0.01	< 0.01	
HIVに感染しているのでは ないかと疑われるから	0	0.0%			97	11.6%	0	0.0%	97	13.8%	< 0.01	< 0.01	
ゲイ・バイセクシュアルであると 説明するのが面倒だから	7	10.3%	11.1%	9.8%	204	24.5%	7	5.3%	197	28.1%	< 0.01	< 0.01	
お金がかかるから	11	16.2%	11.1%	19.5%	124	14.9%	17	12.8%	107	15.3%	0.46	0.96	
その他	1	1.5%	3.7%	0.0%	6	0.7%	5	3.8%	1	0.1%	< 0.01	0.05	
定期的に、HIV 検査を受けていますか。													
定期的に受けていない	98	71.0%	75.0%	69.1%	1,142	71.6%	192	51.6%	950	77.6%	< 0.01	< 0.01	
3 ヶ月に 1 回以上は受けている	4	2.9%	2.3%	3.2%	66	4.1%	43	11.6%	23	1.9%			
6 ヶ月に 1 回は受けている	7	5.1%	4.5%	5.3%	56	3.5%	26	7.0%	30	2.5%			
1 年に 1 回は受けている	10	7.2%	4.5%	8.5%	110	6.9%	55	14.8%	55	4.5%			
感染リスクのある行為の後に受けている	15	10.9%	13.6%	9.6%	199	12.5%	46	12.4%	153	12.5%			
その他	4	2.9%	0.0%	4.3%	23	1.4%	10	2.7%	13	1.1%			
いずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。(複数回答)													
A 型肝炎	5	3.6%	2.3%	4.3%	73	4.6%	24	6.5%	49	4.0%	0.05	0.14	
B 型肝炎	14	10.1%	4.5%	12.8%	128	8.0%	43	11.6%	85	6.9%	< 0.01	< 0.01	
HPV (ヒトパピローマウィルス)	3	2.2%	2.3%	2.1%	33	2.1%	21	5.6%	12	1.0%	< 0.01	< 0.01	
いずれもない	120	87.0%	95.5%	83.0% *	1,414	88.6%	315	84.7%	1099	89.8%	0.01	< 0.01	
これまでに、精神科や心療内科を受診したことはありますか。													
ある	49	35.5%	25.0%	40.4%	613	38.4%	203	54.6%	410	33.5%	< 0.01	< 0.01	
ない	89	64.5%	75.0%	59.6%	983	61.6%	169	45.4%	814	66.5%			
過去 1 年間に、精神科や心療内科を受診したことはありますか。													
ある	31	22.5%	18.2%	24.5%	347	21.7%	129	34.7%	218	17.8%	< 0.01	< 0.01	
ない	107	77.5%	81.8%	75.5%	1,249	78.3%	243	65.3%	1006	82.2%			
これまでに、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。													
ある	10	7.2%	4.5%	8.5%	87	5.5%	42	11.3%	45	3.7%	< 0.01	0.01	
ない	128	92.8%	95.5%	91.5%	1,509	94.5%	330	88.7%	1179	96.3%			
過去 1 年間に、医療機関で医療職者から、HIV 抗体検査(エイズ検査)をすすめられたことはありますか。													
ある	4	2.9%	2.3%	3.2%	33	2.1%	17	4.6%	16	1.3%	< 0.01	0.53	
ない	134	97.1%	97.7%	96.8%	1,563	97.9%	355	95.4%	1208	98.7%			
過去 6 ヶ月間に男性とセックスをしたことがありますか。													
ある	95	68.8%	68.2%	69.1%	795	49.8%	231	62.1%	564	46.1%	< 0.01	< 0.01	
ない	43	31.2%	31.8%	30.9%	801	50.2%	141	37.9%	660	53.9%			

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) これまでに HIV 検査を受検したことがある人を対象として集計したため総数は異なる。

2) これまでに HIV 検査を受検したことがないと回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.3-4 GCQ2023 配布基点別分析 性行動① 過去 6 ヶ月間の予防啓発活動の認知
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=95					MSM ALL JAPAN.					Pearson カイ 2 乗	地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面 n=30	WEB n=65	n=795	対面 n=231	WEB n=564					
過去 6 ヶ月間に、インターネットや SNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。												
ある	65	68.4%	56.7%	73.8%	507	63.8%	157	68.0%	350	62.1%	0.12	0.01
ない	30	31.6%	43.3%	26.2%	288	36.2%	74	32.0%	214	37.9%		
過去 6 ヶ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。												
ある	23	24.2%	13.3%	29.2%	229	28.8%	105	45.5%	124	22.0%	< 0.01	< 0.01
ない	72	75.8%	86.7%	70.8%	566	71.2%	126	54.5%	440	78.0%		
過去 6 ヶ月間に、複数人(3 人以上)で同時にセックスをしたことがありますか。												
ある	17	17.9%	16.7%	18.5%	186	23.4%	66	28.6%	120	21.3%	0.03	0.03
ない	78	82.1%	83.3%	81.5%	609	76.6%	165	71.4%	444	78.7%		
過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手にあなた自身の HIV ステータスを話しましたか。												
ほぼ全員に伝えた、あるいは すでに知っていた	14	14.7%	16.7%	13.8% *	133	16.7%	46	19.9%	87	15.4%	< 0.01	< 0.01
一部に伝えた、あるいは すでに知っていた	4	4.2%	3.3%	4.6%	64	8.1%	34	14.7%	30	5.3%		
誰にも伝えなかった	37	38.9%	16.7%	49.2%	330	41.5%	78	33.8%	252	44.7%		
覚えていない	17	17.9%	20.0%	16.9%	148	18.6%	24	10.4%	124	22.0%		
自分自身の HIV ステータスを知らない	23	24.2%	43.3%	15.4%	120	15.1%	49	21.2%	71	12.6%		
過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたとき、その相手の HIV ステータスを知っていましたか。												
ほぼすべての相手が HIV 陰性であった	23	24.2%	20.0%	26.2%	258	32.5%	73	31.6%	185	32.8%	0.08	< 0.01
一部の相手が HIV 陽性であった	2	2.1%	0.0%	3.1%	20	2.5%	10	4.3%	10	1.8%		
ほぼすべての相手が HIV 陽性であった	0	0.0%			5	0.6%	3	1.3%	2	0.4%		
相手が HIV 陽性か陰性か まったくわからない	70	73.7%	80.0%	70.8%	512	64.4%	145	62.8%	367	65.1%		
過去 6 ヶ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。												
ある	14	14.7%	3.3%	20.0% *	103	13.0%	16	6.9%	87	15.4%	< 0.01	0.31
ない	81	85.3%	96.7%	80.0%	692	87.0%	215	93.1%	477	84.6%		
過去 6 ヶ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。												
ある	10	10.5%	6.7%	12.3%	94	11.8%	14	6.1%	80	14.2%	< 0.01	0.20
ない	85	89.5%	93.3%	87.7%	701	88.2%	217	93.9%	484	85.8%		
過去 6 ヶ月間に、男性とアナルセックスをしたことがありますか。												
ある	78	82.1%	73.3%	86.2%	646	81.3%	155	67.1%	491	87.1%	< 0.01	0.06
ない	17	17.9%	26.7%	13.8%	149	18.7%	76	32.9%	73	12.9%		
過去 6 ヶ月間に、アナルセックスをした相手(複数回答) ¹⁾												
彼氏や恋人	21	26.9%	27.3%	26.8%	181	28.0%	40	25.8%	141	28.7%	0.48	0.99
友達やセクフレ	32	41.0%	50.0%	37.5%	293	45.4%	91	58.7%	202	41.1%	< 0.01	0.72
その場限りの相手	39	50.0%	36.4%	55.4%	346	53.6%	94	60.6%	252	51.3%	0.04	0.01
その他	2	2.6%	0.0%	3.6%	5	0.8%	2	1.3%	3	0.6%	0.40	0.28

次頁へ続く

沖縄 (mabui) n=95							MSM ALL JAPAN.					地域間比較 Pearson カイ 2 乗	
		対面		WEB	n=795		対面		WEB		Pearson カイ 2 乗		
n	%	n=30	n=65	n=231			n=564						
過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ²⁾													
常用	4	19.0%	33.3%	13.3%	28	15.5%	10	25.0%	18	12.8%	0.06	0.43	
非常用	17	81.0%	66.7%	86.7%	153	84.5%	30	75.0%	123	87.2%			
過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックス時のコンドーム使用状況 ³⁾													
常用	7	21.9%	18.2%	23.8%	55	18.8%	21	23.1%	34	16.8%	0.21	0.98	
非常用	25	78.1%	81.8%	76.2%	238	81.2%	70	76.9%	168	83.2%			
過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックス時のコンドーム使用状況 ⁴⁾													
常用	8	20.5%	12.5%	22.6%	74	21.4%	24	25.5%	50	19.8%	0.25	0.02	
非常用	31	79.5%	87.5%	77.4%	272	78.6%	70	74.5%	202	80.2%			
過去 6 ヶ月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況 ¹⁾													
常用	16	20.5%	22.7%	19.6%	114	17.6%	37	23.9%	77	15.7%	0.02	0.43	
非常用	62	79.5%	77.3%	80.4%	532	82.4%	118	76.1%	414	84.3%			

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

- 1) 過去 6 ヶ月間に男性とアナルセックスがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。
2) 過去 6 ヶ月間に彼氏や恋人とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。
3) 過去 6 ヶ月間に友達やセクフレとアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。
4) 過去 6 ヶ月間にその場限りの相手とアナルセックスがあると回答した人を分析の対象とした。

表 2.3-5 GCQ2023 配布基点別分析 性行動② PrEP に関する知識・意識・使用経験、性感染症既往
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.								地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
過去 6 ヶ月間に、コンドームを身近に持っていましたか。													
いつも身近に持っていた／すぐ 使える場所に置いていた	40	29.0%	20.5%	33.0%	394	24.7%	105	28.2%	289	23.6%	0.05	0.10	
時々は身近に持っていた	42	30.4%	29.5%	30.9%	462	28.9%	114	30.6%	348	28.4%			
まったく身近にはなかった	56	40.6%	50.0%	36.2%	740	46.4%	153	41.1%	587	48.0%			
コンドームを使わないあるいは使えないと思う理由はどれにあてはまりますか。(複数回答)													
コンドームの使い方を知らないから	5	3.6%	4.5%	3.2%	20	1.3%	13	3.5%	7	0.6%	< 0.01	0.03	
コンドームを使ったことがないから	8	5.8%	11.4%	3.2%	39	2.4%	23	6.2%	16	1.3%	< 0.01	< 0.01	
コンドームを使うのがめんどうだと思うから	18	13.0%	15.9%	11.7%	181	11.3%	53	14.2%	128	10.5%	0.04	0.28	
コンドームをつけない方が一体感があるから	11	8.0%	4.5%	9.6%	156	9.8%	41	11.0%	115	9.4%	0.36	0.03	
コンドームをつけない方が気持ちよいから	29	21.0%	18.2%	22.3%	256	16.0%	84	22.6%	172	14.1%	< 0.01	< 0.01	
コンドームを使うとイケないから	8	5.8%	0.0%	8.5% *	79	4.9%	21	5.6%	58	4.7%	0.48	0.86	
タイプの人とできるならコンドームを つけなくてもいいと思う	14	10.1%	6.8%	11.7%	116	7.3%	19	5.1%	97	7.9%	0.07	< 0.01	
今まで大丈夫だったから、今後も きっと大丈夫だと思う	10	7.2%	6.8%	7.4%	107	6.7%	11	3.0%	96	7.8%	< 0.01	0.91	
相手につけてって言えないから	11	8.0%	11.4%	6.4%	148	9.3%	21	5.6%	127	10.4%	0.01	0.41	
相手は特定の一人と決めているから	9	6.5%	6.8%	6.4%	100	6.3%	17	4.6%	83	6.8%	0.12	0.04	
PrEP を服用しているから	4	2.9%	0.0%	4.3%	52	3.3%	29	7.8%	23	1.9%	< 0.01	< 0.01	
定期的に検査しているから	4	2.9%	0.0%	4.3%	61	3.8%	31	8.3%	30	2.5%	< 0.01	< 0.01	
HIV に感染しても治療方法があるから	3	2.2%	2.3%	2.1%	11	0.7%	3	0.8%	8	0.7%	0.75	0.26	
HIV 陽性で、治療を継続しているから	3	2.2%	2.3%	2.1%	33	2.1%	16	4.3%	17	1.4%	< 0.01	< 0.01	
相手次第で、どちらでもよい	18	13.0%	9.1%	14.9%	368	23.1%	29	7.8%	339	27.7%	< 0.01	< 0.01	
その他	3	2.2%	0.0%	3.2%	35	2.2%	20	5.4%	15	1.2%	< 0.01	< 0.01	
セックス / アナルセックスはしないから	18	13.0%	13.6%	12.8%	189	11.8%	68	18.3%	121	9.9%	< 0.01	0.38	
必ず使う	26	18.8%	25.0%	16.0%	310	19.4%	101	27.2%	209	17.1%	< 0.01	0.33	
過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするとき同時に使用したものはありますか。(複数回答)													
うがい薬	30	21.7%	13.6%	25.5%	232	14.5%	86	23.1%	146	11.9%	< 0.01	< 0.01	
水溶性ローション(潤滑剤)	53	38.4%	36.4%	39.4%	411	25.8%	131	35.2%	280	22.9%	< 0.01	< 0.01	
ぼっき薬(バイアグラなど)	11	8.0%	0.0%	11.7% *	196	12.3%	48	12.9%	148	12.1%	0.68	0.30	
ラッシュ	1	0.7%	0.0%	1.1%	24	1.5%	11	3.0%	13	1.1%	0.01	0.21	
5MEO-DIPT	0	0.0%			2	0.1%	1	0.3%	1	0.1%	0.37	0.13	
MDMA	1	0.7%	0.0%	1.1%	2	0.1%	1	0.3%	1	0.1%	0.37	0.34	
GHB	0	0.0%			3	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	0.08	0.02	
覚せい剤	0	0.0%			6	0.4%	5	1.3%	1	0.1%	< 0.01	0.04	
大麻	0	0.0%			1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%	0.07	< 0.01	
ヘロイン	0	0.0%			1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	0.58	0.55	
コカイン	0	0.0%			0	0.0%							
その他のセックスドラッグや 危険ドラッグ・合成ドラッグ	0	0.0%			2	0.1%	1	0.3%	1	0.1%	0.37	0.13	
いずれも使用していない	70	50.7%	61.4%	45.7%	1,013	63.5%	196	52.7%	817	66.7%	< 0.01	< 0.01	
(再掲)過去 6 ヶ月間に、セックスする前や、セックスするときの薬物使用													
使用していない	126	91.3%	100.0%	87.2% *	1,378	86.3%	312	83.9%	1066	87.1%	< 0.01	0.01	
ぼっき薬のみ	11	8.0%	0.0%	11.7%	184	11.5%	44	11.8%	140	11.4%			
薬物併用	1	0.7%	0.0%	1.1%	34	2.1%	16	4.3%	18	1.5%			

次頁へ続く

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.								地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) を知っていますか。													
とてもよく知っている	33	23.9%	22.7%	24.5%	240	15.0%	115	30.9%	125	10.2%	< 0.01	< 0.01	
具体的には知らないが、 聞いたことはある	59	42.8%	36.4%	45.7%	432	27.1%	160	43.0%	272	22.2%			
まったく知らない	46	33.3%	40.9%	29.8%	924	57.9%	97	26.1%	827	67.6%			
セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたいと思いますか。													
服薬したい	28	20.3%	20.5%	20.2%	197	12.3%	82	22.0%	115	9.4%	< 0.01	< 0.01	
どちらかといえば、服薬したい	44	31.9%	27.3%	34.0%	371	23.2%	112	30.1%	259	21.2%			
どちらかといえば、服薬したくない	31	22.5%	25.0%	21.3%	335	21.0%	55	14.8%	280	22.9%			
服薬したくない	27	19.6%	20.5%	19.1%	620	38.8%	84	22.6%	536	43.8%			
現在、治療で抗 HIV 薬の 服薬治療を続けている	8	5.8%	6.8%	5.3%	73	4.6%	39	10.5%	34	2.8%			
過去 6 ヶ月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがありますか。													
ある	7	5.1%	0.0%	7.4%	74	4.6%	34	9.1%	40	3.3%	< 0.01	< 0.01	
ない	123	89.1%	93.2%	87.2%	1,449	90.8%	299	80.4%	1150	94.0%			
現在、治療で抗 HIV 薬の 服薬治療を続けている	8	5.8%	6.8%	5.3%	73	4.6%	39	10.5%	34	2.8%			
PrEP の薬はどこで入手していますか / していましたか？ ¹⁾													
インターネットで購入	5	71.4%		71.4%	42	56.8%	21	61.8%	21	52.5%	0.64	0.32	
友人から譲渡・購入	0	0.0%		14.3%	6	8.1%	3	8.8%	3	7.5%			
海外の医療機関	0	0.0%			3	4.1%	2	5.9%	1	2.5%			
海外の NGO/NPO	1	14.3%			1	1.4%	0	0.0%	1	2.5%			
国内の医療機関	1	14.3%		14.3%	22	29.7%	8	23.5%	14	35.0%			
PrEP をするさいに、定期的な医師の診察は受けていますか。 ¹⁾													
定期的に受けている／受けていた	2	28.6%		28.6%	33	44.6%	16	47.1%	17	42.5%	0.05	0.83	
定期的ではないが受けている／受けていた	3	42.9%		42.9%	13	17.6%	2	5.9%	11	27.5%			
初回のみ受けている／受けていた	1	14.3%		14.3%	7	9.5%	2	5.9%	5	12.5%			
まったく受けていない／受けていなかった	1	14.3%		14.3%	18	24.3%	12	35.3%	6	15.0%			
場所が見つからない／ 見つからなかった／わからない	0	0.0%			3	4.1%	2	5.9%	1	2.5%			
これまでに かかったことがある性感染症													
梅毒	11	8.0%	4.5%	9.6%	116	7.3%	62	16.7%	54	4.4%	< 0.01	< 0.01	
A 型肝炎	0	0.0%			7	0.4%	7	1.9%	0	0.0%	< 0.01	0.03	
B 型肝炎	4	2.9%	0.0%	4.3%	50	3.1%	29	7.8%	21	1.7%	< 0.01	< 0.01	
C 型肝炎	0	0.0%			4	0.3%	3	0.8%	1	0.1%	0.01	0.26	
クラミジア	8	5.8%	0.0%	8.5% *	384	24.1%	42	11.3%	342	27.9%	< 0.01	< 0.01	
尖圭コンジローマ	4	2.9%	0.0%	4.3%	90	5.6%	31	8.3%	59	4.8%	0.01	0.69	
淋病	6	4.3%	0.0%	6.4%	106	6.6%	31	8.3%	75	6.1%	0.13	0.15	
HIV 感染症	8	5.8%	6.8%	5.3%	73	4.6%	39	10.5%	34	2.8%	< 0.01	< 0.01	
赤痢アメーバ	1	0.7%	0.0%	1.1%	20	1.3%	6	1.6%	14	1.1%	0.48	< 0.01	
毛じらみ	11	8.0%	2.3%	10.6%	183	11.5%	63	16.9%	120	9.8%	< 0.01	< 0.01	
性器ヘルペス	6	4.3%	2.3%	5.3%	142	8.9%	13	3.5%	129	10.5%	< 0.01	< 0.01	
その他	2	1.4%	0.0%	2.1%	14	0.9%	8	2.2%	6	0.5%	< 0.01	0.04	
いずれもない	101	73.2%	88.6%	66.0% *	853	53.4%	235	63.2%	618	50.5%	< 0.01	< 0.01	

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

1) 過去 6 ヶ月間に、セックス前から HIV 薬を内服する予防方法 (PrEP) をしたことがあると回答した人を対象としたため総数は異なる。

表 2.3-6 GCQ2023 配布基点別分析 地域別分析 過去 6 ヶ月間のコミュニティセンター・啓発活動の認知
【沖縄 /mabui・全体】

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.								地域間比較 Pearson カイ 2 乗
	n	%	対面	WEB	n=1,596	対面		WEB		Pearson カイ 2 乗			
			n=44	n=94		n=372	n=1,224						
次の団体を知っていますか。(複数回答)													
にじいろほっかいどう	4	2.9%	2.3%	3.2%	77	4.8%	32	8.6%	45	3.7%	< 0.01	0.02	
やろっこ	3	2.2%	0.0%	3.2%	89	5.6%	48	12.9%	41	3.3%	< 0.01	< 0.01	
NPO 法人 akta	22	15.9%	11.4%	18.1%	311	19.5%	170	45.7%	141	11.5%	< 0.01	< 0.01	
NPO 法人 SHIP	11	8.0%	4.5%	9.6%	182	11.4%	93	25.0%	89	7.3%	< 0.01	< 0.01	
ANGEL LIFE NAGOYA	6	4.3%	2.3%	5.3%	81	5.1%	38	10.2%	43	3.5%	< 0.01	< 0.01	
MASH 大阪	9	6.5%	0.0%	9.6% *	179	11.2%	101	27.2%	78	6.4%	< 0.01	< 0.01	
HaaT えひめ／BRIDGE プロジェクト	8	5.8%	4.5%	6.4%	82	5.1%	39	10.5%	43	3.5%	< 0.01	< 0.01	
HACO	17	12.3%	15.9%	10.6%	170	10.7%	86	23.1%	84	6.9%	< 0.01	< 0.01	
nankr 沖縄	52	37.7%	52.3%	30.9% *	129	8.1%	63	16.9%	66	5.4%	< 0.01	< 0.01	
いずれも知らない	72	52.2%	45.5%	55.3%	986	61.8%	92	24.7%	894	73.0%	< 0.01	< 0.01	
上記の団体が啓発活動をしていることを知っていますか。(いずれか知っている n=610)													
過去6ヵ月間に見たことある	39	59.1%	66.7%	54.8%	339	55.6%	187	66.8%	152	46.1%	< 0.01	0.51	
知っているが、過去6ヵ月間には 見たことはない	13	19.7%	20.8%	19.0%	148	24.3%	49	17.5%	99	30.0%			
知らない	14	21.2%	12.5%	26.2%	123	20.2%	44	15.7%	79	23.9%			
予防啓発をしている団体が商業施設やイベントで、無料で配布しているコンドームやローションを知っていますか。													
過去6ヵ月間に受け取ったことがある	24	17.4%	34.1%	9.6% **	197	12.3%	144	38.7%	53	4.3%	< 0.01	< 0.01	
過去6ヵ月より前に受け取ったことがある	24	17.4%	18.2%	17.0%	192	12.0%	80	21.5%	112	9.2%			
知っているが、受け取ったことはない	40	29.0%	31.8%	27.7%	367	23.0%	90	24.2%	277	22.6%			
知らない	50	36.2%	15.9%	45.7%	840	52.6%	58	15.6%	782	63.9%			
コミュニティセンター ZEL (宮城県仙台市)を知っていますか。													
知らない	130	94.2%	95.5%	93.6%	1,481	92.8%	308	82.8%	1173	95.8%	< 0.01	< 0.01	
知っている	8	5.8%	4.5%	6.4%	75	4.7%	36	9.7%	39	3.2%			
過去6ヵ月間に行った	0	0.0%			40	2.5%	28	7.5%	12	1.0%			
コミュニティセンター akta (東京都新宿区)を知っていますか。													
知らない	109	79.0%	86.4%	75.5%	1,235	77.4%	171	46.0%	1064	86.9%	< 0.01	< 0.01	
知っている	26	18.8%	13.6%	21.3%	222	13.9%	98	26.3%	124	10.1%			
過去6ヵ月間に行った	3	2.2%	0.0%	3.2%	139	8.7%	103	27.7%	36	2.9%			
コミュニティセンター SHIP にじいろキャビン(神奈川県横浜市)を知っていますか。													
知らない	128	92.8%	95.5%	91.5%	1,400	87.7%	262	70.4%	1138	93.0%	< 0.01	< 0.01	
知っている	9	6.5%	4.5%	7.4%	139	8.7%	68	18.3%	71	5.8%			
過去6ヵ月間に行った	1	0.7%	0.0%	1.1%	57	3.6%	42	11.3%	15	1.2%			
コミュニティセンター rise (愛知県名古屋市)を知っていますか。													
知らない	125	90.6%	88.6%	91.5%	1,455	91.2%	287	77.2%	1168	95.4%	< 0.01	< 0.01	
知っている	10	7.2%	9.1%	6.4%	104	6.5%	55	14.8%	49	4.0%			
過去6ヵ月間に行った	3	2.2%	2.3%	2.1%	37	2.3%	30	8.1%	7	0.6%			
コミュニティセンター dista (大阪府大阪市)を知っていますか。													
知らない	126	91.3%	93.2%	90.4%	1,329	83.3%	203	54.6%	1126	92.0%	< 0.01	< 0.01	
知っている	10	7.2%	6.8%	7.4%	139	8.7%	61	16.4%	78	6.4%			
過去6ヵ月間に行った	2	1.4%	0.0%	2.1%	128	8.0%	108	29.0%	20	1.6%			
コミュニティセンター HACO (福岡県福岡市)を知っていますか。													
知らない	117	84.8%	81.8%	86.2%	1,408	88.2%	274	73.7%	1134	92.6%	< 0.01	< 0.01	
知っている	18	13.0%	15.9%	11.7%	120	7.5%	50	13.4%	70	5.7%			
過去6ヵ月間に行った	3	2.2%	2.3%	2.1%	68	4.3%	48	12.9%	20	1.6%			

次頁へ続く

	沖縄 (mabui) n=138				MSM ALL JAPAN.				地域間比較	
	n	%	対面 n=44	WEB n=94	n=1,596	対面 n=372	WEB n=1,224	Pearson カイ 2 乗	Pearson カイ 2 乗	
コミュニティセンター mabui (沖縄県那覇市)を知っていますか。										
知らない	63	45.7%	11.4%	61.7% **	1,450	90.9%	283 76.1%	1167 95.3%	< 0.01	< 0.01
知っている	19	13.8%	4.5%	18.1%	83	5.2%	49 13.2%	34 2.8%		
過去 6 ヶ月間に行った	56	40.6%	84.1%	20.2%	63	3.9%	40 10.8%	23 1.9%		
(再掲)コミュニティセンターを知っていますか。										
知らない	47	34.1%	11.4%	44.7% **	933	58.5%	21 5.6%	912 74.5%	< 0.01	< 0.01
知っている	31	22.5%	4.5%	30.9%	225	14.1%	21 5.6%	204 16.7%		
過去 6 ヶ月間に行った	60	43.5%	84.1%	24.5%	438	27.4%	330 88.7%	108 8.8%		
コミュニティペーパー ZEL Free paperを知っていますか。										
知らない	130	94.2%	88.6%	96.8%	1,499	93.9%	311 83.6%	1188 97.1%	< 0.01	< 0.01
知っている	6	4.3%	9.1%	2.1%	53	3.3%	28 7.5%	25 2.0%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	2	1.4%	2.3%	1.1%	44	2.8%	33 8.9%	11 0.9%		
コミュニティペーパー akta community paperを知っていますか。										
知らない	126	91.3%	90.9%	91.5%	1,395	87.4%	261 70.2%	1134 92.6%	< 0.01	< 0.01
知っている	11	8.0%	6.8%	8.5%	114	7.1%	53 14.2%	61 5.0%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	1	0.7%	2.3%	0.0%	87	5.5%	58 15.6%	29 2.4%		
コミュニティペーパー YOKOHAMA Gay Community Paper Crewを知っていますか。										
知らない	129	93.5%	88.6%	95.7%	1,494	93.6%	311 83.6%	1183 96.7%	< 0.01	< 0.01
知っている	7	5.1%	9.1%	3.2%	71	4.4%	40 10.8%	31 2.5%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	2	1.4%	2.3%	1.1%	31	1.9%	21 5.6%	10 0.8%		
コミュニティペーパー HANAを知っていますか。										
知らない	132	95.7%	93.2%	96.8%	1,524	95.5%	327 87.9%	1197 97.8%	< 0.01	< 0.01
知っている	6	4.3%	6.8%	3.2%	35	2.2%	20 5.4%	15 1.2%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	0	0.0%			37	2.3%	25 6.7%	12 1.0%		
季刊紙 南界堂通信を知っていますか。										
知らない	132	95.7%	97.7%	94.7%	1,465	91.8%	281 75.5%	1184 96.7%	< 0.01	< 0.01
知っている	5	3.6%	2.3%	4.3%	58	3.6%	33 8.9%	25 2.0%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	1	0.7%	0.0%	1.1%	73	4.6%	58 15.6%	15 1.2%		
ゲイコミュニティペーパー Fight!!を知っていますか。										
知らない	133	96.4%	95.5%	96.8%	1,553	97.3%	347 93.3%	1206 98.5%	< 0.01	0.25
知っている	4	2.9%	4.5%	2.1%	31	1.9%	18 4.8%	13 1.1%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	1	0.7%	0.0%	1.1%	12	0.8%	7 1.9%	5 0.4%		
コミュニティペーパー NEW SEASONを知っていますか。										
知らない	132	95.7%	93.2%	96.8%	1,519	95.2%	317 85.2%	1202 98.2%	< 0.01	< 0.01
知っている	4	2.9%	2.3%	3.2%	28	1.8%	15 4.0%	13 1.1%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	2	1.4%	4.5%	0.0%	49	3.1%	40 10.8%	9 0.7%		
コミュニティペーパー nankrを知っていますか。										
知らない	97	70.3%	61.4%	74.5% **	1,500	94.0%	321 86.3%	1179 96.3%	< 0.01	< 0.01
知っている	19	13.8%	6.8%	17.0%	55	3.4%	27 7.3%	28 2.3%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	22	15.9%	31.8%	8.5%	41	2.6%	24 6.5%	17 1.4%		
(再掲)コミュニティペーパーを知っていますか。										
知らない	86	62.3%	54.5%	66.0% **	1,163	72.9%	130 34.9%	1033 84.4%	< 0.01	< 0.01
知っている	26	18.8%	9.1%	23.4%	162	10.2%	52 14.0%	110 9.0%		
過去 6 ヶ月間に読んだ	26	18.8%	36.4%	10.6%	271	17.0%	190 51.1%	81 6.6%		

各地域の対面と WEB での回答者間における Pearson のカイ 2 乗による検定 *p<0.05 **p<0.01

(3)MSMを対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価

- 研究分担者：野坂 祐子(大阪大学大学院人間科学研究科)
■研究協力者：生島 嗣(特定非営利活動法人ぷれいす東京)
山口 正純(博慈会長寿リハビリセンター病院)
三輪 岳史(特定非営利活動法人ぷれいす東京)
吉田 博美(駒澤大学)

研究要旨

MSMのHIV感染と薬物使用を予防するうえで、リスク行動を避け健康に生活するためのコミュニケーションスキルの向上が求められる。とくにトラウマや逆境体験の影響により感情の表出や調整、安定した対人関係構築が困難なMSMに考慮した支援が必要と考えられ、文献調査をふまえて作成したセルフスタディ用の支援ツール(動画は一部修正、ワークブック)を活用した3タイプの研修を実施した。継続的なオンライン研修のほか、コミュニティセンターでのMSMを含む多様な参加者を対象としたワークショップとHIV臨床に携わる支援者向けの研修会を開催した。MSM参加のワークショップでは、性的場面に先立つ「交渉・言語化」の方略や非性的場面での同意のラインへの「自覚化」の必要性があげられた。トラウマインフォームドケア(TIC)をテーマとした支援者向け研修では、臨床場面でトラウマの影響を理解する必要性と支援者の安全を高めるための対話の有用性を挙げた受講者が多かった。

A 研究目的

MSMのHIV感染と薬物使用を予防する上で、リスク行動を避け健康に生活するためのコミュニケーションスキルの向上が求められるが、とくにトラウマや逆境体験の影響により、感情の表出や調整、安定した対人関係構築が困難な若年MSMに考慮した支援を行う必要がある。そこで、安全で健康的な関係性に必要な内容を含むセルフスタディ用の支援ツールを開発し、評価を行う。

これにより、若年のMSM、とくにコミュニケーションスキルの課題によってHIV感染や薬物使用の予防行動がとりづらい集団に、スキル向上のセルフスタディの機会を提供することで、健康な生活を支援することが期待できる。また、トラウマや逆境体験のあるHIV陽性者と関わる医療従事者等にとっても、支援対象者の理解を深めるとともに再トラウマを防ぎ、支援関係におけるコミュニケーションスキルの向上につな

がりうる。

B 研究方法

文献調査によって把握されたMSMのHIV感染と薬物使用の関連性や行動傾向をふまえて、コミュニケーションスキルをテーマとしたセルフスタディツールの構成要素を検討し、コミュニケーションタイプの自覚(self-awareness)を高めるための自己学習ツールを開発した(1年目)。全4本の動画教材(【1】コミュニケーションのタイプ、【2】感情の理解、【3】境界線、【4】アサーション)への反応や課題を明らかにするために、本動画を教材としたMSM対象のオンライン講座とコミュニティ支援者へのフォーカスグループインタビューから、セルフスタディに限らず、グループでの使用や支援者のスキルアップのための活用案が示された(2年目)。

この結果をふまえ、最終年には本動画を用いたグ

ループプログラムの施行と支援者向け研修の企画・実施を行ない、プログラム中の発話とアンケート結果から、現場のニーズと課題を把握した。

(倫理面への配慮)

本研究は、大阪大学大学院人間科学研究科教育学系の倫理審査を受けて行われた。方法および結果において、調査対象者の個人情報に触れることはない。

C 研究結果

1. コミュニケーション支援ツールの開発

1年目から2年目にかけて作成した『ひげおとひげじのおしゃべりしま SHOW』と題する各15分程度の動画について、コミュニティ支援者へのフォーカスグループインタビューの結果から、一部修正を行なった(<https://stayhealthy.tokyo/>)。

主な修正点は、「よりよいコミュニケーション」としてアサーション(自己主張)を挙げているのに加えて、DV(ドメスティックバイオレンス)や支配的な関係性においてはコミュニケーション自体が成り立たないため、安全性が優先されると明示したこと、さらにストーリーを明瞭にし、視聴時の集中力を維持させるための短縮化である。

同性間のカップルでもデートDV(交際関係におけるDV)は起こるが、異性間のDVと比べて啓発は十分といえず、対等なやりとりができない関係性の問題を指摘することは性的健康のみならず、心身の保全において重要な点である。DV関係ではコミュニケーションを取り続けることでかえって被害のリスクが高まる可能性も懸念されるため、関係の改善よりも、まずDVに気づき、相手から離れたり、第三者に相談したりする必要がある。

2. HIV 陽性者を対象としたオンライン講座

調査協力団体であるNPOにおいて「ストレス・マネジメント講座」と題するオンライン講座を開催し、上記1.で作成した動画4本を教材にした。

講座は計4回、各回90分(19:30～21:00)で講師は教材の開発者(臨床心理士)、運営はNPO団体職員計2名で行った。日程と参加者は、①2023年12月15日(4名)、②2024年1月19日(2名)、③2

月9日(2名)、④3月22日(2名)、のべ10名であった。

動画の視聴後、参加者同士がペアで課題について話し合ったり、全体で意見や感想の共有を行なったりした。前年度と比べて今年度は少人数での実施となった一方、継続的な参加が得られたため、匿名での参加でありながら参加者同士の関係性は深まったように見受けられた。セルフワークとして使用できる教材であるが、お互いの話が聞けることが参加動機となっており、対話による学びへの評価が高かった。

3. MSMを含む多様な対象へのグループワーク

コミュニティセンターaktaにおいて、「性的な同意」と「境界線」をテーマとしたワークショップを開催した(2023年12月23日)。週末の夜間2時間(18時～20時)であり、参加者は「テーマに関心のある人」と広く設定した。11名の参加者は、女性3名(うち「ヘテロセクシュアル」1名、「わからない」1名、「その他」1名)、男性8名(うち「ゲイ」が5人、「わからない」1名、「決めたくない」1名、「答えたくない」1名)であり、年齢は、30代から50代であった。

プログラムでは、最初に守秘義務やお互いの尊重といったグラドルールを提示したあと、自己紹介とアイスブレイクを行ない、①「コミュニケーションあるある」：自分の関係性の特徴、②「身近な境界線を探ろう」、③「日常生活にあるYES/NOのやりとり」、④「性的同意」の4つの課題について話し合いと共有を行なった。とくに、同意については、性的同意の前に日常生活における依頼や拒否のやりとりについて取り上げることで、段階的に性的場面でのコミュニケーションを考えられるようにした。

事前アンケートから「境界線」と「同意」についての関心は高く、話し合いでは「自分の境界線を自覚することが必要」といった意見が多く出た。また、性的同意を成立させるために、性的場面に先立って具体的に自分が望む/望まない性行為についてメッセージやアプリで伝えるといった「交渉・言語化」の方略を用いている人もあり、さらに非性的場面での同意のラインを自覚する必要性が挙げられた。

事後アンケートでは、多様な参加者同士が話せたことへの評価が高く、安全な場で安心して話す体験の有用性が強調されていた。

4. 支援者を対象とした研修

HIV 臨床に携わる医療従事者を対象とした研修プログラムを立案し実施した。研修は、関西 HIV 臨床カンファレンスの協力により、大阪医療センターで行われた(2024 年 2 月 23 日)。申込者 40 名、出席者 36 名であった。心理職(公認心理師・臨床心理士等)、保健師、社会福祉職(社会福祉士・精神保健福祉士等)、看護師(准看護師・助産師を含む)、薬剤師、医師、コミュニティワーカー、弁護士、医療通訳者など、幅広い職種の参加があった。所属は、拠点病院、保健所、行政の感染症所管課、HIV 検査所、NPO 団体などであった。

4 時間の研修会のうち、導入(60 分)では分担研究者による「トラウマインフォームドケア(TIC)」の講義を行い、トラウマや逆境体験による性行動や健康面への長期的影響に関する知見と研究班による LASH 調査の結果概要を説明した。

後半のワークでは、「身近な境界線を探ろう」というグループワークで、ワークブックを使った境界線の話し合いと全体での共有を行ない、「同意」に関しては「一問一答サークル」という対話の手法を用いて多様な声を聴くという体験型学習を行なった。

事後アンケート(22 部)では、研修への満足度が高く、研修動画については「支援者の自己学習用に勧めたい」(71.4%)、「個人(患者・クライアント・利用者)に勧めたい」(61.9%)、「支援者の集団(研修など)で使いたい」(57.1%)、「グループや集団(プログラムなど)で使いたい」(52.4%)と、半数以上が活用への意欲があり、「いずれも活用できない」は 0 件であった。

D 考察

MSM を主な対象とした動画教材と冊子の作成とその評価を行い、ツールの活用法について検討した。MSM の自己学習だけでなく、支援者の自己学習用にも使用可能であること、また支援者や MSM のいずれも集団(グループやプログラム等)で活用できる可能性が示唆された。

E 結論

HIV と薬物使用のある MSM への支援のために、MSM のコミュニケーションの特徴とニーズをトラウマインフォームドケアの観点から理解し、ニーズに即した教材や機会の提供を行う必要がある。

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(4)薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための 精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討

■ 研究分担者：大木 幸子(杏林大学保健学部)

■ 研究協力者：樽井 正義(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

生島 嗣(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

研究要旨

本調査は、先行調査で明らかにした①精神保健福祉センターの MSM あるいは HIV 陽性の相談者に対して提供されている支援方法や配慮点、②精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験のある HIV 陽性者にとっての精神保健福祉センターの利用動機、利点、課題を踏まえ、エイズ診療拠点病院の専任看護師と精神保健福祉センターの薬物相談担当者を対象に、薬物問題に対する支援についてのフォーカスグループディスカッションを行い、両機関の連携の可能性やそのために必要な要件を明らかにすることを目的とした。

その結果、エイズ診療拠点病院の専任看護師は、薬物使用により生活や健康の問題が顕在化する前の段階から、薬物問題に着目し、相談行動への動機づけ支援を行っており、その支援方法として5つのカテゴリーが抽出された。精神保健福祉センターは、エイズ診療拠点病院の専任看護師による動機づけ支援の過程での対象者へのリファー先として連携の可能性が示唆された。

また両者の連携のためのポイントとして、①回復におけた多様な支援メニューの一つとして精神保健福祉センターの提示、②薬物相談の動機づけ支援と連続した精神保健福祉センターの利用、③担当者同士での紹介方法を含めた事前相談、④家族やパートナー等への早期の相談支援としての活用、が見出された。これらの連携のためには、都道府県および政令指定都市単位で、エイズ診療拠点病院および精神保健福祉センターの実情に応じて両者の顔の見える関係づくりが重要であると考えられた。

A 研究目的

我が国の新規 HIV/AIDS 報告の8割は、MSM(men who have sex with men)が占めている。加えて近年、MSM の薬物使用 / 依存の問題が注目されている。MSM の薬物使用は、いわゆる chemsex といわれる性行為での使用が中心であることが、国内外で報告されている¹⁾²⁾。国内の調査においては HIV 陽性者の74.5%が薬物使用の経験があると回答している³⁾。こうした背景から「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」(2018改定)では、個別施策層に薬物乱用者を指定し、薬物関係施策との連携強化を謳っている。

一方、薬物相談の専門機関には、精神保健福祉センターが位置づけられ、個別の薬物相談や「依存症対策総合支援事業」として SMARPP (薬物依存症者に

対する集団認知行動療法プログラム)等の実施が推進されている。2021年度現在、全国69精神保健福祉センターのうち42か所(全精神保健福祉センターの61%)が SMARPP を実施している。薬物依存症の回復のための専門機関は全国的にも少なく、47都道府県及び22政令指定都市に設置されている精神保健福祉センターが、薬物依存専門相談機関として果たす役割への期待は大きい。

2021年度の HIV 陽性者への薬物相談の経験のある精神保健福祉センター担当者へのインタビュー調査では、異性愛者の薬物相談への支援と共通する支援方法並びに特徴的な支援方法を析出した。さらに2021年度から2022年度に実施した精神保健福祉センターの薬物相談を利用した経験のある HIV 陽性者へのインタビュー調査では、利用者が精神保健福祉センターを利用し始めた理由、利用の継続理由が抽出された。

そこで、これらの調査結果である①精神保健福祉センターの MSM あるいは HIV 陽性の相談者に対して提供されている支援方法や配慮点、②精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験のある HIV 陽性者にとっての精神保健福祉センターの利用動機、利点、課題を踏まえ、本研究は、エイズ診療拠点病院の専任看護師と精神保健福祉センターの薬物相談担当者を対象に、薬物問題に対する支援についてのフォーカスグループディスカッションを行い、エイズ診療拠点病院の専任看護師と精神保健福祉センターの連携の可能性やそのために必要な要件を明らかにすることを目的とした。

B 研究方法

1. 調査対象者

調査対象者は、初年度の精神保健福祉センター薬物相談担当者およびエイズ診療拠点病院の専任看護師とした。精神保健福祉センター薬物相談担当者は 2 機関合計 6 名、エイズ診療拠点病院専任看護師は、2 機関 3 名を対象とした。

2. データ収集方法

精神保健福祉センター 1 機関ごとにと 2 機関のエイズ診療拠点病院専任看護師とのオンラインによるフォーカスグループディスカッションを行った。ディスカッションの内容は対象者の了解を得て、ビデオ会議ツール機能によって音声録音を行った。

3. ディスカッション内容

ディスカッション内容は、以下のとおりである。

- ① 薬物使用の問題をもつ HIV 陽性者への相談支援の過程で困難さを感じる点はどのような点か。
- ② 支援過程での精神保健福祉センターおよびエイズ診療拠点病院の役割はどのような点か。
- ③ 精神保健福祉センターと HIV 診療機関との連携で大切なことはどのようなことがあるか。
- ④ 支援の中で大切にしたこと、していることはどのようなことか。
- ⑤ セクシュアリティや HIV 陽性であること薬物使用の問題は支援過程(相談過程)で、どのような関連があったか。それはどのようなことか。その点について、

どのように対処したか。

4. 分析方法

音声データの逐語録を作成し、質的に分析を行った。分析にあたってのリサーチクエッションは、「HIV 陽性者の薬物相談支援にあたって、エイズ診療拠点病院の看護職はどのような困難さを捉え支援を行っているか。」「精神保健福祉センターにおける薬物相談はどのような強みを持っているか。」「薬物問題への支援にあたって、精神保健福祉センターとエイズ診療拠点病院はどのような点で連携が求められるか。どのような連携方法が支援に効果的か。」である。

C 研究結果

1. エイズ診療拠点病院の専任看護師による HIV 陽性者の薬物問題への支援方法

フォーカス・グループ・ディスカッションのデータから、エイズ診療拠点病院の専任看護師による HIV 陽性者の薬物依存への支援方法について、質的に分析を行った。その結果、エイズ診療拠点病院の専任看護師は、薬物使用により生活や健康の問題が顕在化する前の段階から、薬物問題に着目し、薬物相談行動への動機づけ支援を行っており、「Ⅰ生涯にわたって HIV 治療が中断しないことを第一とする」、「Ⅱ薬物使用について話のできる関係をつくる」、「Ⅲ薬物使用を健康問題として扱う」、「Ⅳ薬物相談の動機づけを支援する」、「Ⅴ薬物問題の相談支援機関に確実にリファーする」の 5 つのカテゴリー、12 のサブカテゴリーが抽出された。HIV 陽性者の薬物問題への支援方法に関するカテゴリー、サブカテゴリーは、表 4.1 のとおりであった。

2. 精神保健福祉センターにおける薬物相談機能の強み

フォーカス・グループ・ディスカッションから抽出された精神保健福祉センターにおける薬物相談体制として示された内容を表 4.2 に示す。

3. 精神保健福祉センターとエイズ診療拠点病院の連携ポイント

薬物問題への支援にあたって、精神保健福祉セン

ターとエイズ診療拠点病院の連携が効果的と考えられる点、また連携方法について、フォーカス・グループ・ディカッションのデータより、以下の点が抽出された(図 4.1)。

(1)回復にむけた多様な支援メニューとして精神保健福祉センターの相談の提示

従来、薬物使用による問題に対して、薬物依存の専門医療機関や自助グループなどの紹介が中心である。それに加えて、公的機関である精神保健福祉センターの薬物相談担当を紹介先として提示することで、当事者の選択肢を広げることにつながりうる。

精神保健福祉センターの薬物相談の特徴は、公的機関のサービスであり無料である、個別の相談が前提となっており、薬物依存に関する当事者のグループプロ

グラム実施している場合は、個別相談に並行してプログラム利用ができる体制である、セクシュアルマイノリティに限定されていない分 LGBT コミュニティとの距離がある、などがある。エイズ診療機関から、薬物相談のための専門機関の紹介にあたって、医療機関や自助グループに加えて、紹介機関の一つとして相談体制の特徴を説明しながら精神保健福祉センターを提示することは、回復のための支援機関の利用を複数から選択しうる意義がある。

(2)薬物相談の動機づけ支援と連続した精神保健福祉センターの利用

薬物使用に関する問題を認識し、相談行動への動機づけは、エイズ診療拠点病院の看護職が担っている。薬物相談への動機づけに連続した専門支援機関での薬

表 4.1 エイズ診療拠点病院の専任看護師によるHIV陽性者の薬物問題への支援方法に関する
カテゴリー、サブカテゴリー

カテゴリー		サブカテゴリー	
Ⅰ	生涯にわたってHIV治療が中断しないことを第一とする	①	薬物の話題も受けとめることで居場所であり続ける
		②	セクシュアリティ、性行動、薬物使用などを生活や健康問題として踏み込んで扱う
		③	薬物問題への支援で起こる看護師の葛藤をチームで支える
Ⅱ	薬物使用について話のできる関係をつくる	④	診療の初期に薬物使用の経験を尋ね、薬物の相談準備があることを伝える
		⑤	薬物使用状況を尋ね薬物について話をしている場であることを伝える
Ⅲ	薬物使用を健康問題として扱う	⑥	カルチャーとしての薬物使用を健康問題として意味づける
		⑦	薬物について話の出来る場であることと健康支援の場であることのバランスをとる
Ⅳ	薬物相談の動機づけを支援する	⑧	肝炎や蜂窩織炎の診断を薬物使用を話題とする機会とする
		⑨	予約日の未受診など受診行動の変化を薬物の生活への影響を振り返る契機と捉える
Ⅴ	薬物問題の相談支援機関に確実にリファーする	⑩	リファー機関の担当者とのネットワークを作る
		⑪	担当者と直接つながっていることを伝えてリファー機関を紹介する
		⑫	多様な支援メニューを提示できる準備をする

表 4.2 精神保健福祉センターにおける薬物相談体制の強み

要因	強み
相談アクセスのしやすさの要因	薬物使用では通報しないことを前提とした相談
	行政による無料サービス
	回復にむけた治療の動機づけが明確でない段階からの相談支援による薬物相談への導入としての機能
継続相談を支える要因	個別相談を基盤とした当事者プログラムの併用
	LGBT コミュニティとの距離の遠さ
	参加者同士の関係性における安全が守られることを考慮したルールや職員による関与
家族支援の要因	家族単独の相談支援
	家族への教育支援

物相談として、精神保健福祉センターの薬物相談につながっていくことが、回復支援の導入にあたっての連携のポイントであった。

エイズ診療拠点病院の看護職のかかわりは、当然ながらH I V /AIDS の診断、治療によってスタートする。治療開始の時点においては、薬物使用経験の有無にかかわらず、問題が顕在化していない時期である。

そのため、継続的薬物使用から薬物依存による生活問題が顕在化した段階で、前項の結果で示したように、薬物問題に関する相談への動機づけを高める支援が行われる。すなわち、エイズ診療拠点病院では、薬物使用を健康問題と認識し、回復に向けた相談行動を支えることが重要な支援ポイントとなる。

精神保健福祉センターにおける薬物相談は、治療動

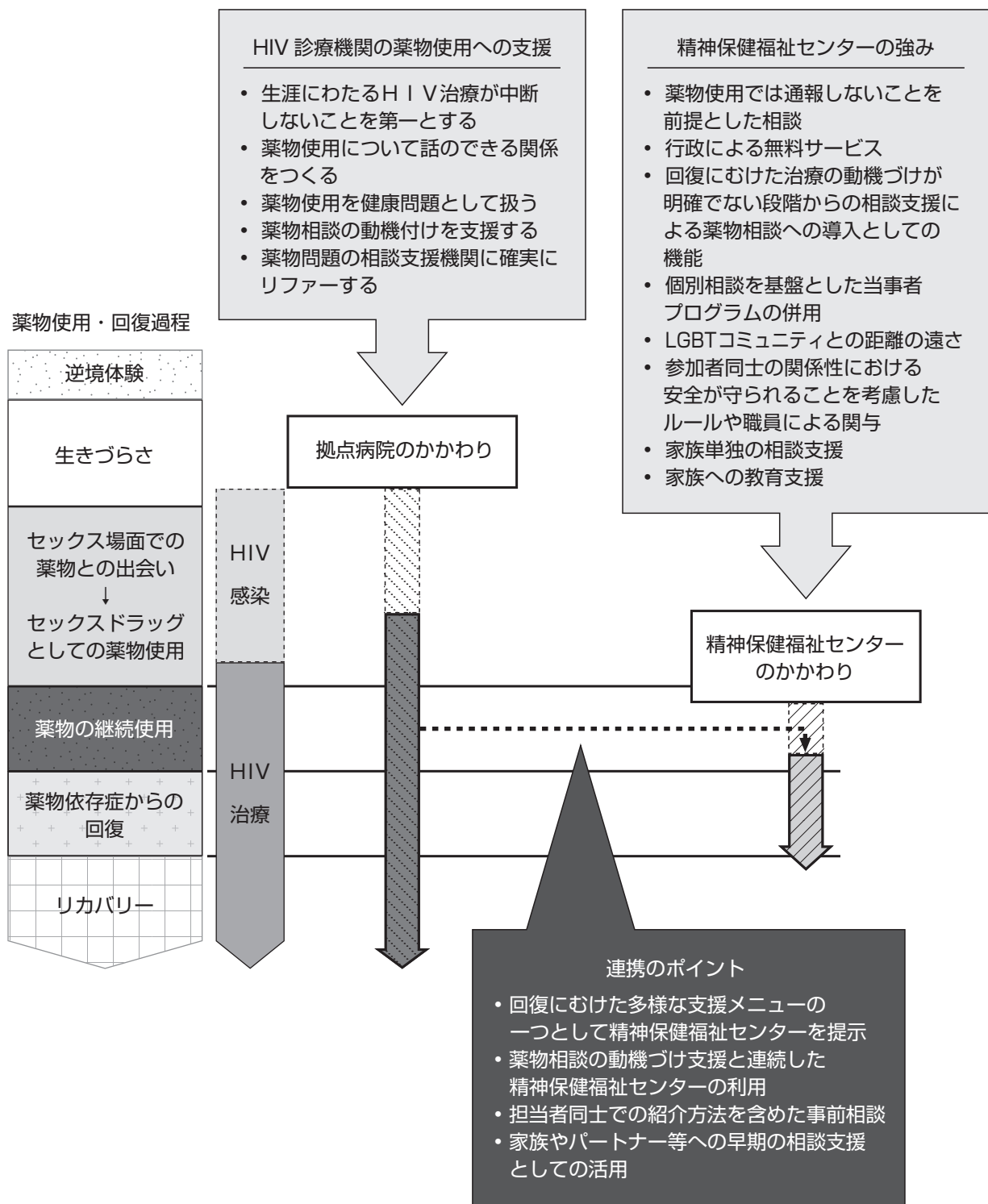


図 4.1 精神保健福祉センターとエイズ診療拠点病院の連携ポイント

機が明確ではない段階においても相談機関として紹介ができる。その点では、医療機関に比して相談行動をとりやすく、薬物相談への敷居が低いといえる。そのため、相談行動への動機づけ支援と並行して、あるいは動機づけ支援の一部として、薬物使用問題に関する相談支援機関である精神保健福祉センターを紹介することができる。このようにエイズ診療拠点病院での薬物相談への動機づけ支援と連動して、精神保健福祉センターにおいて、対象者の動機づけの段階に応じた薬物相談専門相談支援を行うことで、両者の連携による回復の導入支援となりうる。

(3) 担当者同士での紹介方法を含めた事前相談

精神保健福祉センターの薬物相談の確実な紹介にあたっては、まずは担当者同士での連絡をとおして、対象者への介入方法についてアセスメント・プランを行う。このような顔の見える関係を、対象者に伝えることが、安心感につながる。

また、エイズ診療機関はそれまでの支援をとおして、対象者の HIV ステータスのみならず、生活背景やセクシュアリティ、セ薬物使用状況など、対象者の情報をより深く得ている。対象者の了解を得ながら、精神保健福祉センターに背景情報を伝えることで、精神保健福祉センターの担当者が対象理解を深めることができる。

(4) 家族やパートナー等への早期の相談支援としての活用

精神保健福祉センターの機能に、当事者の相談支援のみならず、当事者が相談支援につながっていない場合の家族単独の相談支援がある。また相談支援には、薬物依存に関する教育支援としての機能もある。このような家族を対象とした支援機能は、薬物使用の問題によって混乱している家族やパートナーなど周囲の人への支援のための重要な社会資源といえる。

当事者自身が、薬物使用に関する問題への相談の動機づけがなされていない段階において、家族やパートナーなど周囲の人に対する相談支援の場は少ない。その点でも家族やパートナー等の周囲の人にとって、全都道府県、政令指定都市に設置されている精神保健福祉センターの提供する家族への相談支援は、いずれの地域でも活用可能な社会資源といえる。エイズ診療機

関の看護師は、早い段階から薬物使用の問題をキャッチしていることが少なくない。その中には家族やパートナー等とのかかわりがある事例もある。当事者が薬物使用に関する問題への相談の動機づけがなされていない段階において、エイズ診療機関の看護師等と精神保健福祉センターとの連携によって、家族への早期の相談支援へとつながりうるといえる。

D 考察

1. MSMであるHIV陽性者の薬物相談支援にあたってエイズ診療拠点病院看護師と精神保健福祉センターのかかわりの時期の相違と重層性

先行研究において、MSM 集団の薬物使用経験は一般集団に比して高いことが報告されている³⁾。その点について、エイズ診療拠点病院の看護師が通院している HIV 陽性者が、ファッションとしてのセックスドラッグを使用しているという印象が語られた。エイズ診療拠点病院の看護師は、そうした薬物使用による問題が顕在化していない段階から、HIV 治療支援をとおしてかかわりをもつことになる。一方で、精神保健福祉センターは、薬物使用についての問題への相談支援機関であり、HIV 陽性者との出会いも「薬物相談」が前提となっている。

このように HIV 陽性者の薬物使用段階からの回復の過程で考えると、エイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターでは、薬物使用の問題にかかわる時期と役割が異なっているといえる。エイズ診療拠点病院でのかかわりは、薬物使用の問題が健康や生活の問題であるという認識がない段階から、問題化していくタイミングを逃さず捉える努力がなされており、そうしたタイミングをとらえて薬物問題の回復にむけた相談行動に対する動機づけの支援という役割を話していた。この相談行動への動機づけのプロセスでは、当薬物使用の場面、方法、頻度、きっかけを把握しながら、生活や健康への影響を丁寧にアセスメントすることが重要である。その段階では、薬物使用のリスクのみを強調するのではなく、当事者が薬物使用の話を安心して語れる場であることをまず大切にしたかかわりが行われていた。HIV ステータスやセクシュアリティ、薬物使用など多くの「秘密」を抱えている当事者にとって、それらを開示して話ができる場があることは、薬物使用

を必要としている自分と向き合うための準備性を高める重要な場であると考えられる。そうした関係性の上で、相談行動への動機づけへの支援を経て、相談先として薬物依存症の専門医療感や自助グループの紹介がなされてきた。2021～2022年度に実施した HIV 陽性者の精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験に関する調査結果⁴⁾では、精神保健福祉センターを利用する理由では<「ゲイ・コミュニティ」のネットワーク外であることの安心感>が、継続利用理由では AA スタイルではない<プログラムの参加しやすさや楽しさ>が抽出された。これらは精神保健福祉センターが意図したものではないが、利用者にとっては重要な選択肢となっていた。ゲイ・コミュニティの社会関係の狭さへの不安やフリーな語りを中心としたミーティングへの苦手意識を持つ場合などは少なくなく、地域においては多様な薬物依存症の回復プログラムや場が求められていると考えられた。それらの結果を踏まえると、リファー先の一つとして精神保健福祉センターを加えることは、メニューの多様性という点で意味がある。

また、2021 年度に実施した本研究班の精神保健福祉センターの相談担当者への調査結果⁵⁾では、精神保健福祉センターの機能は、次の 3 点が示された。すなわち、①回復支援への入り口としての機能、②安心して相談できる場としての機能、③いつでも戻ってくるのできる場としての機能である。これらのうち、①回復支援への入り口としての機能、②安心して相談できる場としての機能は、HIV 陽性者の精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験に関する調査結果においても、見出された精神保健福祉センターの要素であった。また、今回のフォーカスグループディスカッションにおいても、精神保健福祉センターの相談は、専門治療につながっていることを前提としておらず、薬物相談の導入の役割を担っていることが話された。そうした点を考えると、薬物使用についての生活や健康についての問題を意識し始めた比較的早い段階でのリファー先として、エイズ診療機関が連携できる可能性が高いといえる。そのような比較的早期の段階では、エイズ診療拠点病院での看護師のかかわりを基盤にしながらも、当事者の準備性や動機づけの段階に応じ、安心して話ができる場として、精神保健福祉センターの薬物相談の場の活用は大きいと考えら

れる。

このような薬物問題への相談行動の初期にエイズ診療拠点病院看護師と精神保健福祉が重なって回復の糸口を見いだしていく重層的な支援体制の検討は意義があると考えられる。

2. 薬物相談に関する連携のための顔の見える関係づくり

前項に述べたように、エイズ診療拠点病院から精神保健福祉センターへのリファーにあたっては、対象者の準備性に応じたリファータイミングや活用方法についてのアセスメントの上、紹介できることが望ましい。またその際も丁寧な紹介が求められる。

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法第 6 条に基づき全国の都道府県および政令指定都市に必置とされており、精神保健福祉に関する技術的中核機関であることが規定され、薬物問題を含めた精神保健及び精神障害者福祉に関する相談等に対応している。2019 年度の調査⁶⁾では、薬物使用・依存に関する当事者および家族からの個別相談は全ての施設で実施していた。しかし、そうした位置づけや業務内容について一般に知られていない面は否めない。そのため、リファー先として提示した場合も、専門医療機関ほどには、イメージがわからない場合が多いと考えられる。また行政機関であるということで、通報への不安がぬぐえない場合も考えられる。リファーにあたっては、精神保健福祉センターについての具体的情報とあわせた提案が求められる。

前述した 2019 年度の調査では、精神保健福祉センターの薬物相談事業のメニューについては、当事者の回復プログラムの実施で 64.0%、家族の教育プログラムの実施で 72.0% と差異がみられた。さらに職員体制も正規職員数が平均 18.2 人 (SD ± 13.6)、最小値 6 人、最大値 91 人と大きなばらつきがあった。そのため、各地域の精神保健福祉センターとエイズ診療拠点病院の実情に応じた連携体制の構築が望まれる。

今回の調査は、エイズ診療拠点病院と同一都道府県内の精神保健福祉センターとのフォーカスグループディスカッションであった。意見交換にあたって、最初にそれぞれの機関の現状を紹介しあった。エイズ診療拠点病院からはどのように HIV 陽性者の療養支援の中で薬物使用の問題と出会っているか、どのような

支援を行っているかについて情報提供を行った。一方、精神保健福祉センターからは、薬物相談の体制や事業内容、参加者の状況等についての現状の情報提供を行った。こうした情報共有をとおして、それぞれの対象者とのかわりの時期の相違や相互の役割を擦り合わせながら、リファーの方法やリファー時の留意点について意見交換が行うことができた。このようなエイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターの顔の見える関係があることで、当事者や家族に安心して紹介ができると考えられる。

精神保健福祉センターは都道府県および政令指定都市に必置であることを踏まえると、同一都道府県内(政令指定都市内)におけるエイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターが、薬物使用の問題をもつ HIV 陽性者の現状やエイズ診療拠点病院での関わり、精神保健福祉センターの事業や体制を共有し、それぞれの状況に応じた連携の持ち方が検討できる機会が持たれ、顔の見えるネットワークがつくられることは、エイズ診療拠点病院と精神保健福祉センターの効果的な連携体制の構築につながると考えられる。

本調査の限界と今後の課題

本調査は限定した地域内の精神保健福祉センターとエイズ診療拠点病院の担当者のフォーカスグループインタビューであった。そのため、それぞれの機関の体制が異なっている地域では、そのまま活用できないと考えられる。精神保健福祉センターは都道府県および政令指定都市による設置されており、今後、地域ごとに連携の在り方の検討が必要である。

E 結論

エイズ診療拠点病院の専任看護師は、薬物使用により生活や健康の問題が顕在化する前の段階から、薬物問題に着目し、薬物相談行動への動機づけ支援を行っていた。その支援方法として5つのカテゴリー、12のサブカテゴリーが抽出された。一方、精神保健福祉センターは薬物相談に関する導入支援の役割を担っており、エイズ診療拠点病院の専任看護師による動機づけ支援の過程での対象者へのリファー先として連携の可能性が示唆された。両者が連携しうるポイントとして、①回復にむけた多様な支援メニューの1つとし

て精神保健福祉センターを提示、②薬物相談の動機づけ支援と連続した精神保健福祉センターの利用、③担当者同士での紹介方法を含めた事前相談、④家族やパートナー等への早期の相談支援としての活用、の4点が見出された。これらの連携のためには、都道府県および政令指定都市単位で、エイズ診療拠点病院および精神保健福祉センターの実情に応じて両者の顔の見える関係づくりが重要であると考えられた。

<引用文献>

- 1) Maxwell S., Shahmanesh M., Gafos M. : Chemsex behaviours among men who have sex with men: A systematic review of the literature. Int. J. Drug Policy 63, 74-89, 2019.
- 2) 戸ヶ里 泰典, 井上 洋士, 細川 陸也, 他 : HIV 陽性男性における薬物使用状況と抗 HIV 薬内服状況およびハイリスク性行動との関連. 日本エイズ会誌 17, 407, 2015.
- 3) 生島嗣, 岡本学, 池田和子, 渡部恵子, 遠藤知之, 伊藤ひとみ, 若林チヒロブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」 薬物使用の状況. 日本エイズ学会誌, 16(4), 580, 2014.
- 4) 大木幸子 : 薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討, 令和4年度 総括・分担研究報告書 域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究, p87-93, 2023. 3
- 5) 大木幸子 : 薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討, 令和3年度 総括・分担研究報告書 地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究, p59-66, 2022. 3.
- 6) 大木幸子 : 精神保健福祉センターにおける MSM および HIV 陽性者への相談対応の現状と課題に関する調査, 令和元年度 総括・分担研究報告書 地域において MSM の HIV 感染・薬物使用を予防する支援策の研究, p25-43, 2022. 3.

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(5) HIV陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討

■ 研究分担者：樽井 正義(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

■ 研究協力者：生島 嗣(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

徐 淑子(新潟県立看護大学)

田中 五八生(新潟ダルク)

林 神奈(サイモン・フレーザー大学)

山本 大(特定非営利活動法人アパリ、藤岡ダルク)

松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター)

金子 裕亮(新潟刑務所処遇部企画部門)

研究要旨

「健康問題」としての薬物使用に対応するためにどのような情報提供が必要か。本研究では、健康危害である感染を予防する情報の提供は、ハームリダクションとして必要であるという方針の下、前年度に情報提供資材の作成等を行った。今年度は、研究班で作成した情報提供資材の配布経路開拓に着手した。より直接的に、対象とする人たちに資材を届けるため、追跡研究『声の架け橋プロジェクト』の協力を求めた。同プロジェクトを通して、保護観察処分となった薬物事犯者宛てに、資材を配布する経路の一つを得たが、実際に、対象とする人に資材が届くのは、来年度からになる見込みである。今回開拓の経路の他、どのような経路が考えられるか等、継続して検討する必要がある課題が残された。その他、援助者ヒアリングから、対象に届きやすい言語表現のあり方、援助者に向けた継続的な情報アップデートの必要性等が示された。

A 研究目的

「健康問題」としての薬物使用に対応するために、どのような情報提供が必要か。本分担研究では、研究活動の枠組みを「薬物使用にかかわる情報提供：だれに、なにを、どう伝えるのか」と定め、各年度の活動に取り組んできた。

最終年度である2023年度は「薬物使用の可能性のある人」へ、情報を届けるための経路について検討し、研究班の成果物である情報提供資材『知っていただきたい感染症があります』の配布経路開拓に着手した。また、援助者／当事者を対象に意見聴取し、作成した資材について評価を行った。

B 研究方法

(1) 前年度までの研究結果を再検討・統合し、本研究で行う情報提供の方針を定めた。

(2) 目標とする対象(「薬物使用の可能性のある人」)に、より直接的に情報提供資材を届けるために『声の架け橋プロジェクト(Voice Bridges Project: VBP)』¹⁾(研究代表者・松本俊彦)と協議・調整を行い、配布に向けて準備を整えた。

(3) 薬物使用者を対象とする支援を行う団体・専門機関を訪問し、情報収集およびヒアリングを行った。

C 研究結果

(1) 情報提供の方針

① 情報提供の対象

2021 年の研究成果²⁾より、薬物使用者(薬物を使用したことのある人)の中には、薬物を「使い続けたい人」「減らしたい人」「止めたい人」の三つが含まれるとした。また、薬物使用と感染症リスクとの関係では、覚せい剤使用経験者において、注射器使用、性交場面での使用、HCV の既往というリスク要因との関連が確認された。

同じく、2021 年の研究成果より、情報提供の対象を「薬物使用の可能性がある人」と定めた。また、対象人口を 20 万人と見積もった。

② 位置づけおよび方向性について

IEC (情報提供・教育・相談、Information, Education, Counseling) は、公衆衛生における基本の働きかけである。前年度までの研究成果より、健康危害である感染を予防する情報の提供は、ハームリダクションとして必要であると判断した^{3), 4)}。

③ 提供する情報の内容について

「薬物使用の可能性がある人」に必要な健康情報として以下の 2 つを定める。

- ・「安心してつながれる場所」の情報
- ・薬物使用に関わる感染症の情報・予防の情報

(2) 情報提供資材の配布経路について

① 2021 年度、2022 年度の研究成果から、薬物使用者への直接的アプローチ(アウトリーチ)の方法は限られており、情報提供の経路を開拓する際には、刑務所や保護観察所と協力関係にある回復施設(ダルク等)職員、薬物使用を健康問題と捉えている医療者(拠点病院医療者等)との連携が必要と判断した。

② 2022 年度に、配布の具体的方法として「声の架け橋プロジェクト(Voice Bridges Project: VBP)」との連携・協力を候補とした。「声の架け橋プロジェクト」は保護観察処分となった薬物事犯者(規制薬物の使用または所持で有罪となった者)を対象とする追跡調査として、2017 年 3 月より実施されている研究プロ

ジェクトである。

2023 年度は、同プロジェクト研究代表者と協議し、調査対象候補者全員に配布される資料一式(封筒に、調査協力依頼書や研究説明書、各種案内や啓発資材を取りまとめたもの)の中に、本研究作成の資材を同封させてもらうことを決定した。

ただし、同封は、次回補充時より行うため、実際に、対象とする人に資材が届くのは、来年度からになる見込みである。

したがって、今年度は同プロジェクトを通じた配布経路を確保したところまでが、活動の成果となる。今年度研究で確保した経路により、どの程度の人に情報が行き渡るのかについては、継続検討する。

また、本研究では、情報提供の対象を「薬物使用の可能性がある人」とし、その規模を 20 万人と見積もっている。今回の経路以外にも継続して開拓する必要がある。

③ その他、間接的な配布経路として、薬物使用者の回復支援・治療を提供する団体・諸機関の求めに応じて資材を提供した。また、特に対象を定めない配布経路として、研究班のウェブサイト上に、資材のファイルを掲載し⁵⁾、オンラインであるいはダウンロードして、だれでも利用できるようにした。

(3) 情報提供資材『知っていただきたい感染症があります』に対する評価

援助者／当事者(ダルク職員、刑務所教育専門官他)にヒアリングを行い、本研究班作成の情報提供資材について評価してもらった。また、薬物事犯者を対象とした刑務所研究授業の参観・所内テキストの閲覧を行い、それらから得られた情報を参照した。その結果、以下のようなことが示唆された。

① 言語表現への配慮

漢字にふりがなを付して読みやすくすること。外来語やアルファベットを用いた表現については、わかりやすい言い換えや説明があった方が好ましい場合もある。

② スマートフォン等への対応

紙媒体は処分も容易で、手元に残りにくい。特に、刑務所出所時など、手渡される資料が多い時に処分されやすい。スマートフォンを活用することが勧められ

る。たとえば、最初は紙媒体手渡しでも、研究班ウェブサイト上の pdf ファイルに誘導する QR コードを付して、そこから、各情報源の URL を踏めるようにするなど。

(4) 援助者に向けた継続的な情報アップデートについて

2021 年から 2023 年度にかけて実施した援助者ヒアリングから、援助者の側も、HIV に関わる最新の情報や、感染予防情報が不足していることが示された。援助者に向けた情報提供については、2019・2020 年度にも検討し、情報提供資材の制作と配布を行ったが(『医師、看護師、心理職、ソーシャルワーカーが身近な人から薬物使用について相談されたら 3』)⁶⁾、継続的な情報アップデートの機会創出が、課題として示唆された。

D 考察

過去を振り返ると、2004 年「個別施策層に対する固有の対策に関する研究」研究班(研究代表者・樽井正義)が、ハームミニマイゼーション(ハームリダクション)という用語を用いて、薬物使用者に向けて HIV 予防の方法を説明する情報提供資材を作成した⁷⁾。だが、資材作成後の内容評価調査から「ニーズがない」とされ、実際の配布には至らなかった。ところが、2018-2020 年度「地域において MSM の HIV 感染・薬物使用を予防する支援策の研究」(研究代表者・樽井正義)が行ったダルク(薬物依存症回復支援施設)の調査では、HIV 陽性者受入経験のある施設が、回答施設の 73.5% を数え、施設によっては研修等を行っていた。また、刑務所や保護観察所でも、独自に作成する所内教育テキスト等で、薬物使用と感染症を取り扱う例がすでにある。このように、薬物使用者の直接支援を行う場面では、2004 年当時から 10 年程度の間で、HIV/AIDS 予防が課題として前景化している。それに合わせて薬物使用と感染症予防にかかわる情報ニーズも変化していると思われる。状況変化を踏まえた IEC (情報提供・教育・相談)を、より積極的に展開する段階に来ていると推察する。

E 結論

本研究は「薬物使用の可能性のある人たち」を対象に、HIV やその他の感染症についての情報提供を、ハームリダクションとして必要と位置づけ、その方途を画策した。今年度は、対象に直接配布することのできる経路を一つを確保し、配布準備を整えたところまでを行った。効果や、配布経路のさらなる開拓は継続検討とする。また、本研究の援助者ヒアリングからも示されるとおり、薬物使用者に加え、援助者の側にも最新の医療状況を踏まえた情報アップデートのニーズがあると示唆された。

<引用文献>

1. 松本俊彦, 保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発とその転帰に関する研究, 令和 4 年度厚生労働省依存症調査研究事業「保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発とその転帰に関する研究」(研究代表者 松本俊彦) 研究報告書, 1-43, 2023.
https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/R4_matumoto.pdf
2. 樽井正義, 生島嗣, 徐淑子, 林神奈, 山本大, HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討, 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「地域において MSM の HIV 感染・薬物使用を予防する支援策の研究」(研究代表者・樽井正義) 令和 3 年度総括・分担報告書, 67-72, 2022.
https://chiiki-shien.jp/admin/wp-content/uploads/R03hokoku_05.pdf
3. 樽井正義, 生島嗣, 徐淑子, 田中五八生, 林神奈, 山本大, HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討, 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究」(研究代表者・樽井正義) 令和 4 年度総括・分担報告書, 95-99, 2023.
https://chiiki-shien.jp/admin/wp-content/uploads/R04hokoku_05.pdf
4. Hayashi K, Wakabayashi C, Ikushima Y,

Tarui M. Characterizing changes in drug use behaviour following supply shortages of 5-MeO-DIPT, alkyl nitrites and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan. Int J Drug Policy. 2023 Aug;118:104080. <https://doi.org/10.1016/j.drugpo.2023.104080>

5. 令和3～5年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)

「地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究班」, 知っていただきたい感染症があります, 地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト <https://chiiki-shien.jp/tool/doc/yakubutsushiyousoudan4> (2024年3月1日確認)

6. 令和3～5年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)

「地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究班」, 医師、看護師、心理職、ソーシャルワーカーが身近な人から薬物使用について相談されたら3, 地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト, <https://chiiki-shien.jp/tool/doc/yakubutsushiyousoudan3> (2024年3月1日確認)

7. 山野尚美, 榎本てる子, 西田淳志, Sandra Kimball, 薬物使用者に関する対策の研究, 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「個別施策層に対する固有の対策に関する研究」(研究代表者・樽井正義)平成16年度総括・分担報告書, 117-151, 2004.

F 研究発表

Hayashi K, Wakabayashi C, Ikushima Y, Tarui M. Characterizing changes in drug use behaviour following supply shortages of 5-MeO-DIPT, alkyl nitrites and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan. Int J Drug Policy. 2023 Aug;118:104080. <https://doi.org/10.1016/j.drugpo.2023.104080>

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

(資料)知っていただきたい感染症があります。

知っていただきたい 感染症があります。

薬物使用に関連してとくに気をつけたいのは、HIV感染症とB型肝炎、C型肝炎です。
感染して重症化すれば、HIVは肺炎などの感染症や悪性腫瘍などを起こし、
肝炎は肝硬変から肝がんに進み、ともに生命に関わることもあります。

どのように 感染するのか

- ① 薬物を注射で使用する時、他の人が使った注射器・注射針を使うと、
- ② 薬物を使用してセックスするとき、コンドームの着用がおろそかになると、他の人の血液・体液に含まれる原因ウイルス（HIV、HBV、HCV）が自分の体のなかに入り、感染することがあります。

どうしたら 感染を防げるのか

- ① 他の人が使った注射器・注射針を使わない、注射をしない、
- ② 必ずコンドームを使う、これをお勧めします。

治療の進歩

B型肝炎ではウイルスが増えるのを抑えることができます。
C型肝炎ではウイルスを体内からほとんどなくすることができます。
HIV感染症ではウイルスが増えて発症するのを抑え、きちんと治療を続けていればセックスで感染させることはありません。

感染しているかいないか、 どうしたらわかるのか

感染しても気づかないことがあるので、検査を受けることをお勧めします。早期に感染が分かれば、治療を受けることができます。感染してないと分かれば安心し、気をつけることができます。

HIV検査は、全国の保健所や自治体の特設検査施設で、無料・匿名で受けられます。
HIV検査・相談マップ
<https://www.hivkensa.com>
「B型肝炎」「C型肝炎」、また「梅毒」の検査施設も、キーワード検索できます。

感染症と治療の情報

HIVマップ <https://hiv-map.net>
HIV／エイズガイド
HIVポジティブを支える社会制度
なるほどB型肝炎 <https://hiv-pt.jp>
B型肝炎とは 医療費助成について
C型肝炎サポートネット
<https://cgatakanen-support.net>
C型肝炎とは 医療費助成が受けられます

制作：令和3～5年度厚生労働科学研究費補助金
（エイズ対策政策研究事業）
地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究
（代表：樽井正義）
地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト
<https://www.chiiki-shien.jp>
問い合わせ先：特定非営利活動法人ふれいす東京 研究・研修部門
research-office@ptokyo.org
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403
発行：2023年2月

(資料)知っていただきたい感染症があります。

安心して話せるところ、 困りごとを相談できるところがあります。

薬物に関わることは一人の手には余るのに、なによりも人には話にくい、
また、人はそれぞれですから、あうこと、あわないこともあるでしょう。
しかし、とじこもらず、話をしてみることをお勧めします。

NPOによる相談

OKチャット <https://hrtokyo.net/okchat>
クスリ・ドラッグ・薬物を使うことがある、と安心して
話せるチャットです。
LINE・ツイッター・テレグラムで対応
月・火・木・金 14:00~18:00

ぶれいす東京 <https://ptokyo.org>
HIVとセクシュアルヘルスに取り組むNGOです。
HIV陽性者専用 ☎ 0120-02-8341
月~土 13:00~19:00
事務所 ☎ 03-3361-8964 月~土 12:00~19:00

自助グループ

ナルコティクスアノニマス日本
地域に根ざした当事者によるミーティングを、全国で
200以上のグループが毎週行っています。メンバーに求
められるのは、使うのを止めたいという願望だけです。
全国NAミーティングリスト
http://najapan.org/pdf/NALIST_J.pdf

回復支援施設

ダルク
薬物からの回復を支援するプログラム（入所・通所）を、
全国約70の施設が独自に行っています。
日本全国のマック/ダルク所在地 日本ダルク
<http://darc-ic.com/darc-list>
施設一覧 日本カトリック依存症者のための会
<http://jcca-catholic.jp/shisetsu.html>

ダルクマッチングサポート アパリ
6つのダルクの中から最適の受け入れ先を紹介します。
<https://apari.or.jp/matching>
☎ 03-5925-8848 月~土 9:30~17:00
info@apari.or.jp

ダルク女性ハウス

女性専用施設です。
<http://womensdarc.org>
☎ 03-3822-7658 月~金 10:30~16:00

行政による相談

都道府県と指定都市の精神保健福祉センターで、薬物
使用について相談できます。
全国の精神保健福祉センター一覧
<https://www.zmhwc.jp/centerlist.html>

情報サイト

ASK
アルコール、依存性薬物、様々な依存関連問題の予防
<https://www.ask.or.jp>

HIVマップ
こころのケア・薬物・アルコール
<https://www.hiv-map.net/navi/mental-care>

Futures JAPAN
ドラッグ（薬物）を使用している人へ
<https://futures-japan.jp/pickup/>ドラッグ（薬物）を
使用している人へ

Stay Healthy and be Happy
身近な人から薬物使用について相談されたら
<https://stayhealthy.tokyo>

PrEP in JAPAN
プレップ（HIV予防内服）について
<https://prep.ptokyo.org>

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻頭	ページ	出版年
Hayashi, K., Wakabayashi, C., Ikushima, Y., and Tarui, M.	Characterizing changes in drug use behaviour following supply shortages of 5-MeO-DIPT, alkyl nitrites and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan	International Journal of Drug Policy	118	—	2023
Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Oshima, G., Wakabayashi, C., Nosaka, S., Hayashi, K., Ikushima, Y., and Tarui, M.	Associations between drug use and sexual risk behaviours among men who have sex with men in Japan: Results from the cross-sectional LASH Study	International Journal of Environmental Research and Public Health	20(13)	6725	2023
塩野徳史	コロナ禍を経た MSM・ゲイコミュニティにおける HIV 感染症の予防—その影響と有効な対策—	保健医療科学	72(2)	110-118	2023

ウェブサイト

「地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト」

地域でHIV陽性者やその周囲の人の相談・支援業務に従事する人たちのために役立つ情報をまとめたポータルサイト。職場での研修に役立つ情報やリンク集のほか、当研究班の成果物のデジタル版がダウンロード、閲覧できる。

<https://www.chiiki-shien.jp/>



ウェブサイト

「STAY HEALTHY and be HAPPY!」

～ 身近な人から薬物について相談されたら ～

友だちや恋人が、カラダとココロに悩みを抱えないために。このウェブサイトはあなたの大切な人と相談先をつなぎます。

<https://stayhealthy.tokyo/>



厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業） 地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究

令和5年度 総括・分担研究報告書

発行日 令和6(2024)年3月31日

発行者 研究代表者 樽井 正義 生島 嗣

特定非営利活動法人ぶれいす東京 研究・研修部門

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5-403

TEL.03-3361-8964 FAX.03-3361-8835

<https://www.chiiki-shien.jp/>

research-office@ptokyo.org

表紙写真 GAKU

令和6年3月31日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名 特定非営利活動法人ぷれいす東京

所属研究機関長 職 名 代表

氏 名 生島 嗣

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業

2. 研究課題名 地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究

3. 研究者名 （所属部署・職名） 研究・研修部門・理事

（氏名・フリガナ） 樽井正義・タルイマサヨシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐	☒	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 特定非営利活動法人ぷれいす東京

所属研究機関長 職 名 代表

氏 名 生島 嗣

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
2. 研究課題名 地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 特定非営利活動法人ぷれいす東京・代表
(氏名・フリガナ) 生島 嗣 (イクシマ ユズル)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ 有 ☒ 無	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	☐ 有 ☒ 無	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

- (※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。
- (※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。
5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 杏林大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 渡邊 卓

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 令和5年度厚生労働科学研究費補助金

2. 研究課題名 地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 保健学部 教授

(氏名・フリガナ) 大木幸子 (オオキサチコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☒	☐	☒	杏林大学保健学部	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年4月12日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 大阪大学大学院人間科学研究科

所属研究機関長 職 名 研究科長・教授

氏 名 西森 年寿

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 エイズ対策政策研究事業

2. 研究課題名 地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大阪大学大学院人間科学研究科・教授

(氏名・フリガナ) 野坂 祐子 (ノサカ サチコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	☐	☒	☐		☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐	☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐	☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	☐	☒	☐		☐

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名 大阪青山大学
所属研究機関長 職 名 学長
氏 名 篠原 厚

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
2. 研究課題名 地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究
3. 研究者名 （所属部署・職名）健康科学部看護学科・教授
- （氏名・フリガナ）塩野 徳史・シオノ サトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	☒ ☐	☒	大阪青山大学	☐
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	☐ ☒	☐		☐
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	☐ ☒	☐		☐
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	☐ ☒	☐		☐

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☒ 未受講 ☐
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ☒ 無 ☐ （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 ☐ 無 ☒ （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。